

昭和四十五年三月刊

史料館所藏史料目錄

第十六集

文部省史料館

史料館所藏史料目錄

第十六集

羽州最上寶幢寺緣起
 出羽州最上郡五光山在山
 形城西去治二十里而近奇
 巖積峻幽遠秀靈嘗有正光
 顯現之瑞天平中行基菩薩開
 山規畫始創伽藍號曰五光
 山寶幢寺殿堂門廡宏敞輪
 奘坊舍庫庖備具其徒侶之
 衆及三萬指而寶幢之饒收
 數千石教苑興隆蓋冠半一方
 也皇霜已久治亂異時海難
 興變化為烏有延文丁酉之
 年最上城主偕理大夫兼賴
 遷之于山形城外潔淨之地新
 造寺宇佛殿十八間造立
佛伽各長八尺置田給種
 以供其僧徒為今稱鎮國安民

羽州最上寶幢寺緣起（部分） [3701]

出羽國村山形寶幢寺儀入後
 當院家跡勝俱勝院弟常主夏永
 不齊相違之有
 座主之寶院御前跡御許倉修然主
 弥勵 御法流之依豐身才合府和
 寺門與隆老之
 佛眼院僧正 奉
 寬政二年月日 定隆
 寶幢寺意藏

醍醐三寶院門跡令旨 [3730]

玉書村四宅山寶幢寺內山
 田秋内清水山田村内那長山寶幢
 之內山和山石人山山内給家
 介内山林行本之寄附金令主
 寺納小國家金之精利之寺
 意藏の心作
 寛政二年
 十月二日
 寶幢寺
 山田家
 天書
 大外寺

寺領五箇所山林絵図面（愛宕山絵図及寄進狀部分） [3724]

傳法許可灌頂印信

昔大日如來開大悲胎藏金剛秘藏
眾會授金剛薩埵數百歲之後授龍猛菩薩
如是金剛秘密之道達再祖師根本大阿闍梨
弘法大師既八葉今至愚身第幾代傳授
師資血脉相承明鏡也小僧數年之間盡
求法之誠幸隨先師傳法蒙灌頂印可爰
法印權大僧都元雅深信三密奧旨久學
大法已拔緣相作重再授許可灌頂之密印也
能洗五塵之染可期八葉之運是則酬佛恩
答師德吾願如此不可餘念耳

元和三年

歲次戊午

三月十八日

元宿月曜

傳授阿闍梨權大僧都法眼高僧亮濟

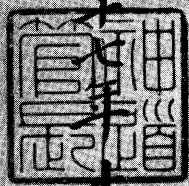
亮濟授元雅印信 [4672]

伝法許可灌頂印信(1)

補權中教正

佐伯管雄

明治十七年十月廿七日



管長延四君子爵稻葉心邦

補權中教正辭令 [3819 (1)]

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第十六集として、出羽国村山郡山形宝幢寺文書追加目録を収めた。本目録所収史料は、『史料館所蔵史料目録』第九集所収宝幢寺文書の追加収集分であるから、利用者は同目録と併せて参照されたい。
- 一 史料は宝幢寺文書だけでなく、明治三年廃寺復飾後の佐伯家文書を多く含む故に、史料の成立と性格を考慮して、まず第一部宝幢寺、第二部佐伯家に大別し、ついで利用上の便宜に従って、その内容・体裁・様式等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一〇ポイント・ゴチック活字、中項目は九ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示した。また必要に応じて〇印で細項目を示した。但し、内容が多岐にわたり他の項目中にも掲げることを妥当と考えたものは*印を付して重出した。
- 一 史料目録の記載欄はほぼ、(一)表題 (二)作成者または差出人、(三)宛名 (四)作成年月 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題(史料名称)は原則として原表題を採ったが、適宜改変を加えたものもある。原表題の無いものおよび原表題を改変したものは仮りに命名して掲げ、(一)を付して前者と区別した。また原表題の別名称および内容摘記は「」を付して併記した。
- 一 作成者または差出人および宛名は、表題から推知しうるもの、項目によって判明しうるものは適宜省略した。また△▽を付したものは写本等の原作成者を示すのに用いた。なお官名・所属名・地名・寺社名などは必要に応じて付した。
- 一 写・控・下書等の区別は、原表題のあるものはその下に(一)を付して、また仮表題のときは(一)内に表題に続けて八ポイント活字で示した。
- 一 作成年次は、年月日・干支を採ったが、項目によっては月日または日を省略した。(一)内は推定年次、△▽内は写本における原文の作成年次を示すためにのみ用いた。簿冊類で数年にわたるものは、始年―終年で示した。
- 一 史料の形態は、簿冊類では半(半紙判)、美(美濃判)、美大(美濃大判)、半半(半紙半截判)、美半(美濃半截判)、横長半(半紙横長判)、横長美(美濃横長判)、横半半(半紙半截横長判)、横美半(美濃半截横長判)などによって原書の大きさの大概を示すにとどめ、近代の書籍は四六、菊などの版型表示に従った。また卷子本は軸と記し、折本はその旨記したが、一紙書付類は印信類を除いて大概は通をもって数量を示し、紙形

の大小・寸法は省略した。絵図類は縦横の寸法をセンチメートル単位で示したが、美濃紙・半紙大寸法の場合は、数量の単位を枚として寸法を省略した。

一 数量の上部に示した板は木版物、刊は公刊活字印刷物、版はとくに公刊を目的としない活字印刷物である。また仮は仮綴本、合は合綴物、継は継文書を示した。

一 最下欄の数字は、各史料の整理番号を示す。本集所収分史料は前記第九集所収分と区別するために三〇〇一以後の番号を使用した。なおそのうち第九集所収史料と同一の史料（写・控等にかかわらず。一括史料も含む。）は、その整理番号の左に「↓番号」をもって相当する第九集の整理番号を併記した。照会・閲覧・引用の場合に利用されたい。また小番号のあるものは、表題欄に算用数字で順序を示し、下欄には整理番号を重記しなかった。

一 巻末に簡単な解題を付した。

目次

口 絵

凡 例

出羽国村山郡山形宝幢寺文書追加目録

目 次

目 録

解 題

頁

一

二

五

101

出羽国村山郡
宝幢寺文書追加目録

出羽国村山郡宝幢寺文書追加目録目次

第一部 宝幢寺

寺家・寺僧	五
由緒・縁起	五
宝幢寺由緒、末寺門徒由緒	五
寺格	五
住職	六
事歴、相統、僧位・僧官、色衣、院家兼帶	六
所化	七
伝法	七
礼式	三
年礼、御代替御礼、当城御礼	三
末門	三
復飾廃寺	三
仏事	三
仏事	三
法事、祈禱、諷誦願文、請定・廻状、勸化、寺中奉加	三
祭礼	三
法令・支配	三

法令	三
勅書、幕法、本山条目、寺定、布令	三
領主	三
戸口	三
寺領支配	三
社僧	三
修験	三
譜代家来	三
寺領百姓	三
給料	三
土地	三
朱印状	三
朱印状写、朱印状受領・改	三
高書上	三
境内・宅地	三
田畑	三
名客帳、売買、出作、小作、出入用水	三
林野	三
山林	三
山論	三
愛宕山論、水晶山（大和神山）論、	三

山口村山論	三
貢租	三
収納	三
徴収、検見	三
納入	三
納入	三
經營	三
入用	三
貸借	三
金融	三
造営・普請	三
日記・雜記	三
書状	三
住職書状、本山書状、触頭書状、醍醐三寺院門跡役人書状、末寺書状、役僧役人書状、その他書状	三
繪図	三
宝幢寺繪図	三
愛宕社・末寺繪図	三
寺領山林繪図	三
五箇所山林繪図、愛宕山繪図、水晶山繪図	三
雜繪図	三

出羽国 山形 宝幢寺文書追加目錄

(文書記号 43A)

第一部 宝 幢 寺

寺 家・寺 僧

由 緒・縁 起

宝幢寺由緒

山形宝幢寺永代寛之状 有俊 寛永一四年四月二三日

出羽国村山郡最上山形金井之庄宝幢寺開基書上 宝幢寺有俊 奉行所宛 寛永一四年五月

宝幢寺開基之事 宝幢寺 慶安元年七月一九日

羽州最上宝幢寺縁起 安楽寿院専戒 延宝七年五月

出羽国最上郡山形城東大黒山宝幢寺新彫刻本尊及弘法大師像記(写共) 瑞応山運敵(智積院能化) 貞享五年七月

羽州村山郡最上宝幢寺起立

(愛宕勝軍地蔵建立・宝幢寺開基由緒草稿)

(天竜愛宕山養恩院地中興寛) 亮辯 元禄五年七月

本尊并宝幢寺因由記写 (下書) 文化二年三月

天童愛宕権現由緒記 宝幢寺 慶応四年四月

宝幢寺境内諸起立記扣之写 撰集当山路記

六供之寛 亮辯

○

(天童合戦ニ付申伝寛)

(天童落城・愛宕灌頂等ニ付書上下書)

末寺門徒由緒

新山寺常什物由来書 円光竜眼 慶長五年二月(偽)

金宝山熊野記 高仙寺 亮長 元禄八年三月

寺 格

(寺格書上) 宝幢寺 弥勒寺宛 元禄九年二月一〇日

寺柄書上 宝幢寺 弥勒寺役者宛 天保八年

寺柄書上(雛形)

葵御紋附品取調書上之寛(雛形)

○

(向後独礼被仰下度願書扣・写) 宝幢寺 社奉行所・本多弾正少弼役人宛 宝永二年二月・(宝永五年) 閏一月

半 一冊 三〇六
横長半 一冊 四七七
一通 四七〇

一通 四二五
一通 四二五

一通 四二五
一通 四二五

一通 四二五

半 一冊 三六六
美 一冊 三六五
一通 三六〇

三通 四二六

○

(武州越生法恩寺独礼願ニ付寛書)

一通 四〇

住 職

事 歴

当山権興以降世代略集 天保一二年

美・半 二冊 三〇四

道助大僧都并中興已往記

美 一冊 四七三

(日空以降歷代事歴)

一綴 四七四

当山先師元雅大和尚因由

二通 四七五

*佐伯家譜・宝幢寺興廢録 佐伯當雄 明治二五年五月

半 二冊 三〇五

相 統

宝幢寺亮弁遺書覚 元禄八年一月六日

二通 四九五

宝幢寺亮弁遺書之追加 末寺門中遺弟宛 元禄八年一月六日

一通 四九六

(宝幢寺後住安養寺春善ニ申付度末寺門中江申談書并請書) 弁応・末寺門徒連判 享保一二年二月

一通 四九七

(有喜法印病氣隠居後住威徳院智田房被仰付ニ付請書) 徳性院等九人 有喜宛 元文三年一月

一通 四九八

*一切経金御願望金請取証文) 智弁 有喜宛 元文五年二月三日

一通 四九三

御住職願書控 宮城利久治外 院代宛 嘉永二年五月

半 仮一冊 四七〇

老師来由自記〔鈍如海眼来由〕

半 一冊 三五六

僧位・僧官

大覚寺役僧奉書〔権大僧都免状〕 弁格宛 元文四年二月二日

一通 三七七

御礼式〔代金書付〕

一通 四七九

色 衣

(細微黄衣免許執達状) 有雄宛 四月五日

一通 四二〇

亮怒奉書〔追副共〕〔色衣免許状〕 智積院集議席 鈍如照洲宛 文政六年四月一八日

二通 三七六

有雅奉書〔追副共〕〔色衣免許状〕 宝幢寺朝海宛 嘉永二年八月二日

二通 三七九

(色衣免許願ニ付寺格等口上覚書) 亮弁 四箇寺役者中 一月一三日

一通 四二二

*弥勒寺書状〔三色衣免許ニ付〕 宝幢寺宛 卯二月六日

一通 四〇八

(色衣之儀御尋ニ付御答申上候控) 明和四年二月・安永一〇年三月

一通 四〇五

○

(威徳院香衣御免状願書写) 弥勒寺 僧録大僧正宛 元禄一〇年一月二〇日

一通 四二一

色衣御改ニ付御届書、正法寺以下 本山役者中 安政三年

半 一冊 三六六

四季色目之更〔僧侶衣鉢〕 世尊寺融慧 文化九年三月

折本 一帖 三三四

院家兼帯

醍醐三宝院門跡令旨〔醍醐山院家勝俱胝院永兼帯許状〕 仏眼院定隆 宝幢寺喬岳宛 寛政六年六月二〇日

一通 三七〇

三宝院門跡家司連署添狀〔院家勝俱胝院兼帶免許添狀〕 大溪日守・山田治部卿定言勝俱胝院喬岳宛 寛政六年六月二〇日	一通 三〇四
三宝院門跡家司連署奉書〔赤網代乘與許狀〕 大溪豪方・山田定言 喬岳宛 寛政六年六月二〇日	一通 三〇三
三宝院門跡家司連署添狀〔赤網代乘與許狀添狀〕 大溪豪方・山田定信 喬岳宛 寛政六年六月二〇日	一通 三〇三
三宝院門跡家司連署添狀〔菊桐金紋挾箱并挑灯拝領許狀〕 大溪豪方・山田定言 喬岳宛 寛政六年六月二〇日	一通 三〇四
三宝院門跡家司連署奉書〔衣鉢之式緋紫之外許狀〕 大溪豪方・山田定言 喬岳宛 寛政六年六月二〇日	一通 三〇三
醍醐三宝院門跡令旨〔宝幢寺院家勝俱胝院兼帶住職相統許狀〕 仏眼院定隆 榮殿宛 寛政七年五月二二日	一通 三〇三
三宝院門跡家司連署奉書〔衣鉢緋紫之外隨意許狀〕 大溪豪方・山田定言 勝俱胝院榮殿宛 寛政七年五月二二日	一通 三〇三
三宝院門跡家司連署添狀〔御簾并御紋附紫幕拝領許狀〕 大溪豪方・山田定言 榮殿宛 寛政七年五月	一通 三〇七
醍醐三宝院門跡令旨〔宝幢寺院家勝俱胝院兼帶住職相統許狀〕 密乘院淳寛 有慶宛 文政四年九月一二日	一通 三〇三
三宝院門跡家司連署奉書〔衣鉢式緋紫之外隨意許狀〕 山田駿河守・大溪刑部卿・平田治部卿 勝俱胝院有慶宛 文政四年九月一二日	一通 三〇三
〔繼目ニ付献上受取披露〕 醍醐山執達當番 左古田近江介 宝幢寺代僧法隆宛 文政四年九月	一通 四九二

〔院跡永兼帶許狀大切ニ可守覺〕 菊桐紋由緒記 宝幢寺 慶応四年	一通 三〇三
1 菊桐紋之由緒記	美大 一冊
2 縁起由来記	美大 一冊
3 神祇有無言上	美大 一冊
4 御朱印愛宕権現社領	美大 一冊
所 化	
新入衆引之目錄 掛屋所 淳亮宛 嘉永四年一月・五年一月	二通 四〇六
往来手形〔所化清悦分〕 徳性院 関所役人宛 万延元年六月	一通 四〇七
奉請許対両親出家表〔下書〕	一通 四〇九
〔早下り案文并願等雛形〕 文化五年	半 一冊 四〇二
伝 法	
什海授有照印信―中院流心南院方―〔天文一〇年八月〕	四〇六宛 〔下書〕
1 多聞天大事〔第八裏〕	一通
2 唯授一人大事御影堂〔第一〇裏カ〕	一通
3 高野大事	一通
4 大師口決	一通
三宝院僧正御房御記〔印信〕 興禪写 天文一〇年二月	一通 五二七

宝幢寺先師有雄上人書物〔有雄印信〕（天正二〇年カ）

〔下七〕 五三六

1 愛染王汀印

一通

2 火焰大事

一通

3 不動尊形大事

一通

伝法汀重授ノ者ニ出ス紹書ノ案文事〔紹文〕（天正年間）

一通 五三九

（忠実授尊快カ）印信（写）―意教方 文禄四年七月

〔下七〕 四六〇

1 伝法灌頂印信 忠実 尊快宛 文禄四年七月

一通

2 唯授一人阿闍梨位印事

一通

3 三宝院唯授一人大事 心文方
サンハサミ

一通

有雄印信〔紹文〕（写）（有雄宛カ）ハ文禄四年七月

一通 四六一

源瑜授俊堂印信―道教方カ

〔下七〕 五三〇

1 目錄〔印信目錄〕（写カ）性盛 源瑜宛
天正九年四月

一通

2 印信 源瑜 俊堂宛 元和三年二月

一通

3 雙円海大事 源瑜 俊堂宛 元和三年二月

一通

4 即身成仏義言

一通

5 当寺鎮守清滝権現習事

一通

6 臨終用心秘口決

一通

7 許可略支度・許可略作法

一通

8 阿闍梨位 源瑜 俊堂宛 元和八年七月

一通

御法流〔亮濟授元雅印信〕―地藏院流房玄方

四六三

1 伝法許可灌頂印信〔紹文〕 元和四年三月

一通

2 秘密灌頂印明〔初二三重〕 元和四年五月

一通

3 印信 元和四年七月

一通

4 紹文 元和四年七月

一通

5 真言宗伝法灌頂相承〔血脉〕

一通

6 御法流〔紹文写〕 元和四年七月

一通

法流印信御大事折紙〔宝幢寺印信ニ付御大事〕（亮濟カ）（元和四年カ）

四六三

1 无印无明大事（写共）

二通

2 瑜祇大事（写共）

二通

3 蘇悉地灌頂〔妙成就許可〕（写共）

二通

4 座主相承大事（写共）

二通

5 四海領掌印明（写共）

二通

元雅授祐貞印信―房玄方カ

四六四

1 伝法灌頂印信（第一裏） 元和六年九月

一通

2 〔伝法灌頂紹文〕（第二裏） 元和六年九月

二通

3 秘密灌頂印明〔初二三重〕 元和七年一月

一通

4 座主相承大事〔靈灌頂〕

一通

5	瑜祇大事	一通	哭六
6	蘇悉地灌頂〔妙成就許可〕	一通	哭六
	有純授有仙大許可印信 元和九年一月	一通	哭六
	伝授目錄 有俊	一通	哭六
	俊海授証義印信―三寶院流〔地藏院流房玄方カ〕 慶安四年二月	哭六	
1	三寶院成―賢〔印信・伝法灌頂阿闍梨位紹文・伝法許可灌頂血脈〕〔第一通〕	三通	
2	初二三重〔秘密灌頂印明〕〔第二通〕	一通	
3	瑜祇大事〔第三通〕	一通	
4	蘇悉地大事〔妙成就許可〕〔第四通〕	二通	
5	靈灌頂大事〔座主相承大事〕〔第五通〕	一通	
6	伝法灌頂許可血脈〔第六通〕	一通	
7	附法狀	一通	
8	三号之記幹	一通	
	十字之大事 俊海 慶安五年九月	一通	哭三
	十八道加行日記 亮弁 智善房〔有喜〕宛 延宝五年三月	一通	哭三
	定禪授亮弁印信并条々―房玄方 元禄六年八月	哭七	
1	伝法許可灌頂印信〔紹文〕	一通	
2	地藏院流血脈	一通	
3	〔法流相統二付条々〕 元禄六年八月	一通	
4	印信	一通	哭六
5	紹文	一通	哭六
	〔愛染王法〕 亮長享 元禄四年	一枚	哭三
	亮長授惠道印信―地藏院流道教方〔房玄方カ〕 享保二年二月	哭六	
1	伝法許可灌頂印信〔紹文〕	一通	
2	印信	一通	
3	紹文	一通	
4	秘密灌頂印明〔初二三重〕	一通	
5	瑜祇大事	一通	
6	蘇悉地灌頂〔妙成就許可〕	一通	
7	座主相承大事〔靈灌頂〕	一通	
8	三箇血脈	一通	
9	附法狀	一通	
	慧興授有喜印信―広沢方三輪流 享保二年九月	哭六	
1	印可三輪〔第一通〕	一通	
2	血脈三輪〔第二通〕	一通	
3	三輪最極〔最極秘密灌頂印信〕〔第三通〕	一通	
4	光明汀三輪〔阿字灌頂・金色泥塔〕〔第五通〕	一通	
5	三輪流大事 三身印言淺略〔第六通〕	一通	

6	三輪流大事 三身印言深秘 (第七通)	一通	四六二
7	三輪流即身成仏大事 (第一〇通)	一通	
8	一心灌頂三輪 (第二二通) 付口伝	二通	
9	即身成仏義言 (紙背) 三輪流血脈	一通	四六三
慧興授有印信―高野山中院流大衆院方 享保二二年一〇月			
1	秘密灌頂 小野 (第三通)	一通	
2	阿闍梨位 (第七通)	一通	四六三
3	大毘沙門唯授一人大事 (第八通)	一通	
4	唯引智〔唯授一人大事〕 (第九通)	一通	
5	南山八葉峰 (第一〇通)	一通	四六三
6	御僧正御房大事 (第一一通)	一通	
7	臨終印明 (第二二通)	一通	
慧興授有喜印信―伝法院流之内常喜院流 享保一七年八月			四六三
1	印信	一通	
2	伝法院流相承血脈	一通	
3	乳字不斷秘觀 秘 上人流 (第二通)	一通	四六三
4	灌頂印	一通	
5	多聞天灌頂	一通	
6	求聞持大事	一通	四六三
7	秘密伝法灌頂秘印 (第二二通)	一通	
慧興授海 底 印信―伝法院院流常喜院流			

1	両部伝法血脈 享保一七年八月	一通	四六四
2	乳字不斷秘觀 秘 上人流 (第二通) 享保一七年八月	一通	
3	伝法灌頂印信 享保一七年八月	一通	
4	多聞天灌頂 享保一七年八月	一通	四六四
5	秘密伝法灌頂秘印 (第二二通) 享保一七七年八月	一通	
6	伝法院流相承血脈	一通	
7	求聞持大事 (後欠)	一通	四六四
8	惣許可 享保一八年二月	一通	
慧興授海 底 印信―広沢方三輪流 享保一九年二月			
1	印可〔初二三重〕 (第一通)	一通	四六四
2	血脈三輪 (第二通)	一通	
3	最極秘密灌頂印信 (第三通)	一通	
4	光明灌頂印信〔阿字灌頂・金色泥塔〕 (第五通)	一通	四六四
5	璽印信 (第九通)	一通	
6	八幡灌頂 (第一一通)	一通	
7	一心灌頂 (第二二通)	一通	四六四
8	璽印信相承記	一通	
9	(三輪山蓮道上人口伝)〔或附法状カ〕	一通	
10	即身成仏義言〔瑜祇切文〕 (紙背)血脈	一通	四六五
慧興授雄賢印信〔灌頂印信〕 延享四年四月			
		一通	

護身法 高弁 宝曆九年三月

鑾慧授秀慶印信 | 意教流願行方 明和二年二月

1 許可〔印信・紹文〕(第一通)

2 血脈(第三通)

3 蘇悉地灌頂(第四通)

4 第三重(第六通)

5 醍醐座主相伝定賢口決(第七通)

6 三宝院〔三地烏力〕(第八通力)

7 印信醍醐三宝院〔師資不二唯授一人〕
最極秘密灌頂印信(第九通)

8 第三重極秘〔三宝院第三重事〕(第一〇通)

9 三十七尊建立密印〔瑜祇〕(第一一通)

10 十五尊布字在処〔瑜祇〕(第二一通)

11 瑜祇灌頂印信
塔図〔率都婆印力〕(第三通)

12 可後内作業汀
問答〔祇瑜三重〕(第四通)

13 即身成仏頌曰〔瑜祇切文〕(第五通)

14 口伝幕中大事
見消印信(第六通)

15 阿闍梨位天長(第八通)

16 最後耳語大事(第二〇通)

17 十五金剛各別印明

18 直達血脈〔三箇血脈の内〕(第三〇通)

一通 五三七

四六六

19 秘密

20 瑜祇經序品卅七尊一字咒

21 (四所加持口決)

22 勸修時流瑜祇灌頂口決(写)△舜菩▽

23 識大灌頂(写)△舜菩▽

24 (伝授目錄)

25 受明灌頂

26 伝法許可〔印信〕

27 阿闍梨位口決

28 瑜祇灌頂印信

29 可後三重大事

30 靈汀

31 靈口

32 (散念誦大事)

33 当寺鎮守青竜権現事

34 (念珠大事)

35 三部經大事(第三一通)

36 持宝金剛王院

37 (持宝金剛力)

38 (最極十二重灌頂)

39 別秘私口決〔并第三大事〕

40 意教上人方目安三宝院

一通

一通

一通

一通

一通

二通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

一通

41	(附法状)	六通
42	孔字法	一通
43	一心灌頂	一通
44	(印信)	一通
45	兩部塔印	一通
46	金剛界伝法灌頂密印天長	一通
47	(最極秘印明) 〈教岳〉	一通
48	最後臨終大事	一通
49	識大印信	一通
50	授与印信許可文	一通
51	真言宗伝法灌頂血脈 意教流善通寺有範方	一通
52	大日經總大事 (第三通)	一通
53	東寺 (十六重)	一通
54	(唯授一人大事)	一通

月 鑲慧授秀慶三寶院通用ノ諸大事 明和二年二二

四六七

7	大般若大事 (第七通)	一通
8	仁王經大事 (第八通)	一通
9	妙法蓮華經 (第九通)	一通
10	受明汀 (第一〇通)	一通
11	大師拜見印明秘事 (第一一通)	一通
12	唱礼導師大事 (第二通)	一通
13	散杖事 (第三通)	一通
14	早々念誦 (曳念誦) (第一四通)	一通
等空授秀慶印信 中性院流		
1	許可灌頂 (印信・紹文) (堅第一通) 明和三年十一月	二通
2	伝法印信 (紹文・兩部灌頂血脈) (堅第二通) 明和四年十一月	二通
3	第二重 (深秘重) (堅第三通) 明和六年十一月	二通
4	第三重 (堅第四通) 明和七年十一月	一通
5	瑜祇灌頂 (堅第五通) 明和八年十一月	一通
6	阿闍梨位大事 (天長大事或唯授一人大事) (橫第六通)	一通
7	靈灌頂 (橫第七通) 明和八年十一月	一通
8	座主相承 (三寶院唯授付法樣) (橫第八通) 明和八年十一月	一通
9	惣許可 (越三昧耶大事) (橫第九通) 明和八年十一月	一通
10	菩提心論灌頂 (印信) (橫第一〇通)	一通

四六八

11	理趣經〔理趣經灌頂・理趣經・理趣經大事・理趣經最極秘密灌頂〕(横第一一通)	四通	
12	中性院血脈	一通	
13	兩部大法乃至密印支	一通	
14	靈灌頂異樣	一通	
15	(印信許可記錄)	一通	
16	等空授秀慶印信目錄	一通	五三六
	授秀慶最極秘印明		
1	荒神供(人性善)	一帖	
2	水天供	一帖	
3	御遷座次第	一帙	
	誦經導師作法(秀慶写カ)	一帖	五三〇
	不灌鈴等記(真寂親王記) 秀慶写	一帖	五三元
	授岳弁秘印明―報恩院流 岳弁写		五三二
	明和二年		
1	阿弥陀九品往生印明	一通	
2	決定往生印明	一通	
3	終焉印明	一通	
4	印仏作法当流	一通	
5	浴像作法	一帖	
	後七日御修法御請来道具圖并道場圖〔後七日指図〕 乘降岳弁写 明和七年一〇日	一冊	五三三

	悉曇十二通切紙大事―壺坂流カ 岳弁写 (安永四年)		五三三
1	初三相通大事(初通)	一通	
2	三内空点仮名口伝(第二通)	一通	
3	三内炎点大事(第三通)	一通	
4	三内各別相通事(第四通)	一通	
5	秘決(第五通)	一通	
6	題号秘決(第六通)	一通	
7	連声相通事(第七通)	一通	
8	五韻大事(第八通)	一通	
9	中南兩天口決(第九通)	一通	
10	四種相承事(第一〇通)	一通	
11	十不可事(第一一通)	一通	
12	異形字事(第二二通)	一通	
13	(岳弁附記) 安永四年四月	一通	
	八祖梵名―悉曇灌頂用 岳弁 安永四年四月	一通	五三三
	伝授目錄 智積院遍照院鑲明 岳弁宛 安永五年二月	一通	五三三
	授岳弁極秘切紙 岳弁写 安永五年二月		五三六
1	持戒清浄印言 (苾芻性善)	一通	
2	阿弥陀頂印明	一通	
3	施餓鬼一印法	一通	

4	不動湏印明	一通	招魂作法 <small>〔性善〕</small>	一帖
5	後夜念誦 <small>〔幸心〕</small> 同口決	二通	理趣法 <small>〔性善〕</small> <small>〔自明〕</small> 明和三年五月	一帖
6	得自性如來大事	一通	一法界 <small>〔性善〕</small> 永五年一月 <small>〔同口決・鈴杵義〕</small> 安	二帖
7	五重結護 <small>〔降三世五重結護口伝〕</small>	一通	ㄥ 秘口 <small>〔駄都秘口〕</small> 報恩院	一通
8	招魂禁五路大事	一通	如法愛染法	一帖
9	九徹 <small>〔尊觀〕</small>	一通	如法尊勝定	一帖
10	不二口 <small>〔金界供養法合行作法・不二口・印可道場觀如來拳印〕</small>	三通	如宝尊勝法惠	一帖
11	斷末魔 <small>〔苾芻性善〕</small>	一通	如意輪秘印明	一通
12	俱梨迦羅秘法 <small>〔苾芻性善〕</small>	一通	七支五支附 <small>〔七支念誦法・五支念誦法〕</small>	一帖
13	拳符之大事 <small>〔苾芻性善〕</small>	一通	茅竜供	一帖
授岳弁最極秘印明 岳弁写 安永五年四月			内護摩略次第	一帖
1	荒神供次第 <small>〔性善〕</small>	一帖	駄都法尊法口決	一通
2	土公供 <small>〔土公供作法・土公供貞觀寺・地天表白〕</small>	三帖	大勝金剛一字心法田夫 <small>〔性善〕</small>	一帖
3	水天供 <small>〔水天供・水天表白〕</small> <small>〔性善〕</small>	二帖	如法愛染	一帖
4	文殊菩薩五十万遍略作法	一帖	如法尊勝定 <small>〔性善〕</small>	一帖
5	土砂加持作法 <small>〔榎尾山略〕</small> <small>〔性善〕</small>	二帖	如法尊勝惠 <small>〔性善〕</small>	一帖
6	觀作法并口決 <small>〔孔字觀作法・阿字觀口決〕</small>	二帖	許可作法 <small>〔許可作法・合法作法私〕</small>	二帖
7	御遷座作法 明和三年六月	一帖	朝暮護身・每朝護身・臥起作法	三帖
8	宇賀神王法 <small>〔性善〕</small>	一帖	兩部秘次第口説	一冊
9	求聞持行法次第	一帖		

三三

二包之切紙口説聞書 岳弁 安永五年二月・五月

横長美
横長半

二冊 五三六

諷誦文書樣 (授岳弁力) 安永五年二月

一通 五三九

灌頂対楊文 八動潮岳弁写 安永五年二月

一通 五四〇

供養法法則 八憲深岳弁写 安永六年二月

一帙 五四一

大日經乱脱幸心流 岳弁記 安永六年六月

一帙 五四三

厚變紙口決 乘隆岳弁写 安永六年八月

美半

一冊 五四三

十八道加行日記〔作法〕 地蔵院流 義円 岳弁宛 安永七年三月

一通 五四四

神分金剛界 地蔵院流 岳弁写 安永七年三月

一帙 五四五

初重伝授次第 地蔵院流 岳弁記 安永七年九月

第二重以後伝授事〔二三重伝授次第〕 義円 岳弁宛 安永七年九月

三帙 五四六
〔一八三〕

灌頂私記地蔵院正流 岳弁 安永七年九月

一帙 五四七

伝授目錄〔伝授次第〕 地蔵院流 義円 岳弁宛 安永七年十一月

一帙 五四八
〔一八三〕

地蔵院流血脈写 義円

一通 五四九

印可次第之内 義円 天明元年八月

一通 五五〇

諸加持 道教方 岳弁写・義円校

一通 五五五

1 五色加持金

一枚 五五五

2 可憶持条々

一枚 五五五

3 五色加持胎通円

一枚 五五五

4 關伽水加持

一枚 五五五

5 五瓶加持

一枚

6 大阿闍梨 受者加持
高座加持作法

一枚

7 關伽水加持事・受者加持作法

一枚

8 金剛線加持・五色糸加持略作法

一枚

地蔵院流關伽水事 岳弁写

一帙 五五五

前行表白 地蔵院流 (岳弁宛力)

一通 五五五

愛染明王表白・結願作法 岳弁

一通 五五五

五部召請・撥遣・結界 岳弁

一帙 五五五

小野広沢流開祖 岳弁

一帖 五五五

誦經導師作法・嘆徳師作法 岳弁

一帖 五五五

教誡詞・受者嘆徳返答 (岳弁力)

一通 五五五

四智讀四段作法・地蔵院流加持供物

二通 五五五

讚頭法則・散花師作法并対揚文・堂達法則并咒願文・被物引様 岳弁

一帙 五五五

誦經物尺寸并鳥口図・中媒図・散花机花苞覆并座具尺寸・散花机莊嚴様図・八葉尺寸・吉慶讃秘曲 岳弁

六枚 五五五

灌頂還列図・系縫会場之図 岳弁

二枚 五五五

灌頂系縫等之夏・中間護摩等之夏

二通 五五五

地流五宝并名香包形 義円

一包 五五五

五宝包・名香包・含香包 (岳弁力)

八包 五五五

綵帛・香藥包 (岳弁力)

三結 五五五

仏布施包形二色 (岳弁力)	二包 五六	如法尊勝―地流	軸	一卷 三三
秘密箱結形	一包 五九	4 祕決	軸	一卷 三五
誦經物結様 (岳弁力)	二結 五七〇	駄都祕口	軸	一卷 三六
(紐結様力) (岳弁力)	一結 五七	工戸第十四	軸	一卷 三七
金剛線 (岳弁力)	五結 五七三	北斗供当年星供―地藏院流 (憲深)	軸	一卷 三七
金剛線結方 (岳弁力)	一通 五七三	十八道加行日記 岳弁 榮言宛 安永一〇年三月	軸	一通 五七六
灌頂部折形品々 岳弁折 明和四年	四九折 五七四	有玄授宥実印信 享和元年八月	軸	一通 五八六
幸心四度土代 乗隆房岳弁	一帙 五五	1 印信	軸	一通 五八六
戒場天蓋幡之三形并天蓋釣紐之図幸心 岳弁	一結 五三	2 伝法許可灌頂印信 (紹文)	軸	一通 五八六
付天蓋幡之掛様一説	二枚 五三	台曼陀羅尊号 喬岳	軸	三枚 五七七
伝法灌頂三摩耶戒儀式―地藏院流 岳弁	一卷 五〇四	亮岳授尊弁印信 享和三年七月	軸	一通 五九〇
伝法灌頂三摩耶戒作法 (堯辰) 岳弁	一卷 五〇五	光明七種印 有慶 文政二年	軸	一通 五九〇
伝法灌頂胎藏界式―地藏院流 岳弁	一卷 五〇七	(諸加持) 昭洲亨 文政九年一二月	軸	一通 五九〇
結縁灌頂三摩耶戒作法金剛界・胎藏界―地藏院流 岳弁	二卷 五〇六	1 五色糸加持台	軸	二枚 五九〇
秘鈔第三 (二)・五・七・一一一二〇 (守寛撰) (岳弁力)	一四卷 五〇八	2 關伽水加持	軸	一枚 五九〇
異尊第三・四 作法上・下 (守寛撰) (岳弁力)	四卷 五〇九	3 五瓶加持	軸	二枚 五九〇
遺尊法上・中・下 岳弁亨 安永七年二月	一卷 五〇六	4 受者并高座加持 (受者加持作法・高座加持・受者暗誦次第)	軸	二枚 五九〇
遺尊中・下 (岳弁力)	二卷 五〇〇	初重印可并壇場莊嚴等之事 昭洲亨 天保一〇年五月	軸	一冊 五八一
表白上・下 地流	一卷 五〇二	土公供・施餓鬼 淨円 (授朝海力)	軸	四通 五八二
如宝愛染王	一卷 五〇三	神供法 (浄円) 浄春朝海亨 天保五年	軸	二通 五八三

神供私記 〈浄円〉

神供私記

浄円授朝海印信―報恩院実深方日秀玄有相承
嘉永四年

1	許可印信〔印信・紹文〕（第二通）	五月	二通	五八
2	伝法印信〔印信・紹文〕（第二通）	五月	二通	五八
3	第二重（第三通）	五月	一通	五九
4	第三重（第四通）	九月	二通	五九
5	瑜祇印信（第五通）	九月	一通	五九
6	瑜祇切文（第六通）	九月	一通	五九
7	阿闍梨位（第七通）	九月	一通	五九
8	座主灌頂相承〔靈灌頂・夢灌頂〕（第八通）	九月	一通	五九
9	妙拳土手〔妙成就〕（第九通）	九月	一通	五九
10	阿弥陀灌頂并不動灌頂（第一〇通）	九月	一通	五九
11	雙円性海口伝（第一一通）	九月	一通	五九
12	不動大事（第二二通）	九月	一通	五九
13	幸心血脈（第三三通）		一通	五九
14	三宝院流血脈（第一四通）		一通	五九
15	三部経大事（第十五通）	九月	一通	五九
1	（浄円授朝海小印信）或〔切紙大事〕―実深方（嘉永四年） 古仏撿遣〔撿遣略作法〕		一通	五九

2	開眼作法〔開眼略作法・五眼加持作法〕	二通
3	終焉印明	一通
4	秘密引導作法	一通
5	施餓鬼一印法	一通
6	禅觀略作法〔乳字觀略作法・阿字觀略作法〕	二通
7	月輪觀	一通
8	得自性清淨如来大事	一通
9	九品往生印信〔阿弥陀九品往生印明〕	一通
10	文殊五十万遍作法〔五十万遍略作法〕	一通
11	五重結護〔降三世五重結護口伝〕 真言添	二通
12	後夜念誦	三通
13	大竜秘法〔俱梨迦羅大竜秘法〕	一通
14	拳符大事	一通
15	断末魔印言	一通
16	工口〔愛染王三十七章〕	二通
17	不動灌頂印明	一通
18	九微印明	一通
19	阿弥陀灌頂印明〔理智不二ノ大事〕	一通
20	持戒清浄印言	一通
21	略念誦台・金	二通
22	不二口不具〔金界供養法合行作法・不二口・印可道場觀如来拳印〕	三通

23	三部經大事	一通	
24	瑜祇大事〔瑜祇序品・即身成仏義言・手結塔印口々明〕	四通	
	授朝海印信三寶院座主相承大事	一通	四六四
	結緣灌頂表白台 朝海 安政四年九月	一通	五六六
	四度加行日數之事 悅瞳海旭 嘉永二年五月	三枚	五九六
	印仏作法 海旭写 嘉永二年	二枚	五九二
	印可加行作法〔海旭写カ〕	一枚	五九〇
	印可加行表白〔海旭写カ〕	一枚	五九二
	沐像法〔海旭カ〕	一枚	五九三
	諸符形 海旭 嘉永四年八月	一通	五九四
	〔諸加持〕〔海旭写〕		五九四
1	五色糸加持金	一枚	
2	五色糸加持胎・關伽水加持	一枚	
3	五瓶加持	一枚	
	範惠授海旭印信―報恩院流実深方日秀玄宥相承〔智山相承〕 嘉永二年		四九二
1	第二重〔第三通〕 六月	一通	
2	第三重〔第四通〕 六月	二通	
3	瑜祇大事〔瑜祇切文添〕〔第五・六通〕 六月	二通	
4	阿闍梨位〔閉眼大事・最極大事〕〔第七通〕 七月	一通	

5	座主灌頂相承〔座主相承大事・靈灌頂・夢灌頂〕〔第八通〕 七月	一通	
6	妙拳土手〔第九通〕 七月	一通	
7	阿弥陀灌頂〔第一〇通〕 七月	一通	
8	雙円性海口伝〔第一一通〕 七月	一通	
9	不動大事〔第二二通〕 七月	一通	
10	幸心血脈〔血脈幸心方・三寶院流血脈〕〔第二三・一四通〕	二通	
11	三部經大事〔第一五通〕	一通	
12	幸心法流目錄 七月	一通	
	淨円授淨珊印信―報恩院流実深方日秀玄宥相承〔智山相承〕 嘉永四年		四六五
1	許可印信〔印信・紹文〕〔第一通〕 五月	二通	
2	伝法印信〔印信・紹文〕〔第二通〕 五月	二通	
3	第二重〔第三通〕 五月	一通	
4	第三重〔第四通〕 九月	一通	
5	瑜祇印信〔第五通〕 九月	一通	
6	瑜祇切文〔第六通〕 九月	一通	
7	阿闍梨位〔第七通〕 九月	一通	
8	座主灌頂相承〔第八通〕 九月	一通	
9	妙拳土手〔第九通〕 九月	一通	
10	阿弥陀灌頂并不動灌頂〔第一〇通〕 九月	一通	
11	雙円性海口伝〔第一一通〕 九月	一通	

12	不動大事(第二通) 九月	一通
13	幸心血脈(第三通)	一通
14	三寶院流血脈(第一四通)	一通
15	三部經大事(第一五通) 九月	一通
(淨円淨珊小印信)——報恩院流 (嘉永四年)		
1	古仏撓遣	一通
2	開眼作法	二通
3	終焉印明	一通
4	秘密引導作法	一通
5	施餓鬼一印法	一通
6	禪觀略作法	二通
7	月輪觀	一通
8	得自性淨如來大事	一通
9	九品往生印言	一通
10	五重結護 真言添	二通
11	後夜念誦	三通
12	大竜秘法	一通
13	拳符大事	一通
14	断末魔印言	一通
15	工記	二通
16	不動湏印明	一通
17	九微印明	一通

哭六

18	持戒清淨印言	一通
19	不二口不具	三通
20	三部經大事	一通
21	瑜祇大事	四通
受明灌頂印信 朝海 安政五年三月		
朝海授琳堂血脈——報恩院流実深方智山相承(受明灌頂力)		
○		
神道栢手払 有深 慶長九年十一月		
御判形之事 元固 慶安二年五月		
随洞泉性善大和上奉授受標目(写) 宝曆一〇年 横長平		
每日所作(写) 〈寛応〉		
十八道加行作法	一枚	五九五
本尊三種真言	一枚	五九六
十八道加行作法(異本共)	一枚	五九七
如意輪三種真言	一枚	五九八
十八道加行作法(異本共)	一枚	五九九
本尊三種真言	一枚	六〇〇
印可加行表白	一枚	六〇一
求聞持次第大師(後欠)	一通	六〇二
求聞持日記并壇団在	一通	六〇三
	一通	六〇四
	板二通	五八七
	一通	五八八
	一通	五八九
	一通	五九〇
	一通	五九一
	一通	五九二
	一通	五九三
	一通	五九四
	一通	五九五
	一通	五九六
	一通	五九七
	一通	五九八
	一通	五九九
	一通	六〇〇
	一通	六〇一
	一通	六〇二
	一通	六〇三
	一通	六〇四

(七本率都婆)

引導略作法

大師拝見作法極秘

表白神分祈願

金剛宝蔵・初重

地流前行表白

朝夕念誦軌

二十八宿之事・七曜之事

(幣繩引始大事カ)

団道具之目録〔聖天供旨記〕西西流内

(秘鈔卷数支度書拔)〔祈禱修法〕

(諸尊像秘決)(前欠)

塔図

(結縁灌頂図)

1 敷万タラ図金

2 結縁水丁旦図

3 結縁灌頂夜儀図

4 卅七尊印言

5 記録書様

6 私書

結縁汀図

結縁湊図

覚ノ糸塚水丁ノ図

(真言宗系図)或(東密事相根本両流血脈)

寛政四年極月十三日大曼荼羅供修行之図(興教大師六百五十遠忌) 勇幢房信成享 天保二年六月

弘安六年五月廿一日於高野山中性院行法灌頂之次図(写)

三摩耶戒図并庭儀行列図〔弘安六年六月廿六日以覚洞院一卷式面并報恩院指図私図〕

(灌頂壇図)

悉曇曼荼羅東西

悉曇灌頂道場図一壇構

悉曇灌頂道場図兩壇構

悉曇印可道場図子島

悉曇印可大壇図

(大日結集金剛薩埵伝持伝来八祖相承)

密宗三国伝来血脉相承次第(後欠)

瑜祇塔図相承

諷誦文雛形 嘉永五年二月

○

(伝授掌中)

1 秘鈔伝授掌中本・末

2 薄伝授掌中上・中・下

3 灌頂部伝授掌中

一枚 五三三

一枚 五三四

一枚 五三五

一枚 五三六

一枚 五三七

一枚 五三八

一枚 五三九

一枚 五四〇

一枚 五四一

一枚 五四二

一枚 五四三

一枚 五四四

一枚 五四五

一枚 五五六

一枚 五五七

一枚 五五八

一枚 五五九

一枚 五六〇

一枚 五六一

一枚 五六二

一枚 五六三

一枚 五六四

一枚 五六五

4	金剛界	一卷	一
5	台蔵界	一卷	一
6	十八道切紙并如意輪	一卷	一
7	不動護摩并神供	一卷	一
	地水火風空（伝授掌中カ）	八卷	五三六
	○		
	（有雄上人灌頂ニ付書留）	一通	五三三
	（光台院權僧正定鎌御下国ニ付法流印可覚）	三通	四〇七
	（法流相統ニ付意見） 亮弁 元禄六年八月	一通	四七九
	（受戒奉行割書出） （元禄頃）	一通	四七九
	本寺光台院定隆僧正御代御法流印信并折紙大事 写指出之節由緒書上控 文化七年四月 添宝幢寺亮岳書狀 地蔵院宛	一冊	五三六
	隱居朝海存慮書 兩寺（真福寺・円福寺）役 者宛 慶応二年	一冊	五七九
	○		
	狂歌（法流相承登山印可ニ付）	一通	五三三
	受者灌頂人数覚帳 元禄四年九月	一冊	四七九
	結縁灌頂人数わり帳 元禄一〇年七月	一冊	四七九
	（結縁灌頂人数割帳）（元禄年間）	一冊	四七九

礼 式

年 礼

	（年頭并御祝儀等之参府ニ付触書） 慶安五年 一月	一通	四〇八
	御年頭之御礼申上候覚（写・下書共） 宝幢寺 （亮弁） 天和三年一月	四通	四〇九 （下書）
	（江戸御城年頭御礼諸事留書）（天和頃） 一月	一卷	五〇八
	寺社奉行所差紙 宝幢寺宛（享保二年） 一月	一通	四二〇
	御年礼相勤候覚 宝幢寺 元文四年	一通	四二二
	御代替御礼		
	（江戸御城御代替御礼諸事留書）（延宝九年） 九月	一卷	五〇七
	御代替御礼書（控）（下書） 宝幢寺 四箇寺役者中 ・弥勒寺役者中 辰年（宝曆一三年カ） 八月	二通	四二三
	（御代替御礼願書控） 宝幢寺 寺社奉行宛 辰八月	一通	四二四
	当城御礼		
	（当城御礼式ニ付覚書）	一通	四二五
	（宝幢寺如旧例初札被御付度末寺口上書写） 威徳院等七寺 黒沢八左衛門・内藤徳兵衛宛 一〇月（元禄一二年カ）	一通	四二三
	（御城御礼当寺初札ニ付宝幢寺隆弁書狀） 山田主水・黒屋五左衛門宛 一二月（元禄頃）	一通	四二三 （下書）
	末 門		
	*最上義光書狀（写） 稻荷宛 三月	一通	四四三
	最上宝幢寺門末帳 宝幢寺亮弁 延宝三年七月	一冊	四四三 （下書）
	（宝幢寺出仕之出家衆御国替之後不参衆之覚） 亮長 延宝三年	一通	四四三

(順行院直末寺許狀) 亮弁 順行院宗譽房宛
元禄四年三月

一通 四二七
↓ 四〇〇

(秋田領平鹿郡喜福院無住ニ付留守居住職被仰
付指上二札) 以山 徳性院宛 宝曆一三年八月

一通 四〇九

*川勝三平・増戸逸平治書狀〔観音寺住職輪岳申
付ニ付〕 新山寺宛 三月

一通 四〇六

復飾 廃寺

(御一新ニ付集会相談一廻狀) 徳性院・竜福寺
二月(明治元年カ)

一通 四二〇

(神仏混淆廃止ニ付是迄之通り御奉公願書)
曾根信一郎・匡太郎・勝平 当主宛 明治元年
一二月

一通 四二二

(宝幢寺復飾ニ付本尊并諸尊下渡願書) 門末一
七九寺 本山役場宛 明治二年七月

一通 四二三

(譜代社役人禄扶持米取調書上写) 宝幢寺
社寺役所宛 已(明治二年) 八月

一通 四二八

復飾願等艸稿(明治二一三年)

横美半

一冊 四三三

(復飾ニ而御本尊仏像類常福院跡御引渡ニ付請
書) 誓願寺・地藏院 佐伯役人宛 明治三年
一月

一通 四四四

(勝軍地蔵取除神鏡并神格を勧請愛宕大神と改
称仕度御伺書) 宝幢寺改佐伯菅雄 社寺役所宛
明治三年二月

三通 四三三

(徳性院廃止ニ付神葬祭願書) (宝幢寺門前) 崑野賢
曹等一五人 佐伯菅雄役人宛 明治三年二月

一通 四二六

(当年人別帳神葬ニ御改被下度願書) (愛宕門前)
今野喜六等一一人 佐伯菅雄役人宛 明治三年二月

一通 四二五

(宗寛院本寺跡再建敷願頼合ニ付以書取口上書)
平松弥惣太(明治三年)二月

四通 四七〇

(寺跡相残し兩禄仕度相談加リ御託書) 曾根信
一郎 明治三年二月

一通 四七三

(当職御隠居等之相談始末不申上ハ段御託書)
(曾根) 匡太郎 明治三年一月

一通 四七三

(御寺跡相立度一条不申上ハ段御託書) 宮城利
久治(明治三年)二月

一通 四七三

(神仏尊崇厚薄御糺明改心御許容願書) 宮城利
久治 明治三年二月

一通 四七四

(休役隠居仲芳三郎家名相統願書) 宮城利久治
明治三年二月

一通 四七五

(父直諫不仕段無申分差控伺書) 宮城芳三郎
明治三年二月

一通 四七六

(宮城利久治・平松弥惣太・曾根信一郎心得違
御咎高免敷願書) 三条五郎兵衛 役場役人宛
明治三年二月

三通 四七七

(役人中御叱御高免敷願書) 地藏院等末寺九寺
明治三年二月

一通 四七八

(宮城利久治・曾根信一郎・平松弥惣太謹慎御
赦免敷願書) 安孫子豊作外連印 役場役人宛
明治三年三月

一通 四七九

(成就院復飾披露手札) (明治三年カ)

一枚 四七〇

仏 事

仏 事

法 事

〔敵有院様御法事を納経御布施相渡ニ付一札享〕
酒井忠勝・板倉重種 八木仁兵衛・岡上次郎兵衛宛
宝幢寺分 申（延宝八年）七月

〔諷経贈経出仕ニ付覚〕（延宝八年カ）

〔当公方様御厄年ニ付御祈禱執行御札巻数献上願書控〕 宝幢寺代僧徳性院 貞享四年二月

〔当公方様御厄年ニ付御祈禱執行御札献上願書〕
威徳院 貞享四年二月

與教大師六百五十回忌万供修行庭儀之式行列控
寛政四年一〇月

東照権現二百回忌曼荼羅供略記 朝海 文化二二
年

弘法大師一千年諱曼供誦経導師作法 朝海 天
保五年

祈 禱

殿様月次御祈禱之覚 元禄六一三年

〔誓願制詞之吉日・断罪日書上〕 宝幢寺
内藤徳兵衛宛 元禄七・八・一〇・一一年

殿様御年筮 元禄一〇年

大殿様御年筮 元禄一〇年

殿様御当卦御祈禱之書付 宝幢寺

大殿様御当卦御祈禱書付 宝幢寺 元禄一〇年

御祈禱御札目録 元禄一三年

〔於宝幢寺密場奉御祈禱事覚〕 元禄一七年

〔秋元但馬守家族誕生日覚〕 酉（享和元年）

*〔松平忠弘家中カ〕内藤徳兵衛書状〔御城祈禱
ニ付〕 宝幢寺宛 九月

御祈禱五穀成就止雨筆記 文久二年

天子春宮様御冠緒
同 玄ノ子五色餅

同 御箸
天子新院法皇様御箸

涅槃講座居帳 徳性院弁格 延享五年

大日経住心品講演列名帳 元治二年

諷 誦 願 文

〔有意初七日之苦提供養願文〕 明応三年

〔為供養願文〕 兒女 慶安四年

〔山形宝幢寺寄附大般若一部六百卷子細之状〕
〔勸進願文〕 徳性院 万治元年

〔先師有後追福希願文〕 光算 延宝四年

制戒文 貞享五年

〔為父母供養願文〕 曾爾氏 元禄四年

〔石地藏尊開眼供養願文〕（亮弁） 元禄五年

〔為俊海五七日供養願文〕 亮弁 元禄六年

横長美

美

横長半

横長半

一通 四〇三

一通 四〇三

一冊 四六四

一通 四〇四

一通 四〇四

一通 四〇九

一冊 三六三

一筋 四七九

二膳 四七九

一冊 四六四

一冊 四六五

一通 四〇一

一通 四〇三

一通 四〇三

一通 四六三

一通 四〇三

三通 三六六

一通 四〇四

一通 四〇六

一通 四〇五

〔大聖天浴油願文〕 亮弁 元禄七年

〔二尊〕内一尊ノ浴油奉浴油日記〔亮弁〕〔元禄一〇年〕

〔降雨祈願文〕 宝永元年

〔祈願文〕 宝永六年

〔歎徳諷誦文下書〕 誓願寺弁格 宝曆一〇年

〔諷誦文〕

〔万茶羅供養願文〕

〔伝法灌頂諷誦文〕

〔諷誦文〕

〔五輪塔質摩尼殿歎徳供養願文〕

先師覺靈増進仏果 亮長 享保三年

祭文集〔寛永頃力〕

虚空藏菩薩福智満成就咒

請取啓高野山月牌 金剛峯寺密厳院有仙 教識房宛
寛文一三年

宝珠山月牌請取状 立石寺衆徒中性院光西 延命
院主宛 明和四年

永代掃除請取状 彦四郎 高弁弟子宛 明和五年

〔過去帳〕

請定・廻状

曼荼羅供職衆請定 俊海・檀行事有吳 慶安四年

鎮守読経職衆請定〔俊海力〕 慶安四年

伝法灌頂職衆・曼荼羅供職衆請定〔号〕 俊海
慶安四年

曼荼羅供職衆請定 亮弁・行事有詳 延宝四年

〔曼荼羅供唱導師御勤仕所希いニ付宝幢寺書状〕
〔白岩〕華蔵院同宿中〔延宝四年〕

曼荼羅供職衆請定 亮弁・行事有詳 延宝四年

〔曼荼羅供支度之条々〕 元禄四年

〔曼荼羅供正導役頼入ニ付宝幢寺書状〕 宝蔵院
宛 七月

〔座順次第〕

〔岳弁三十三回法事ニ付廻状〕 徳性院 九月
〔文化一三年力〕

勸 化

三宝院門跡令旨〔東寺御影堂加葺補勸化状〕
岳南院演光 最上領眞言新義諸寺院宛 寛文九年

了海奉書〔東寺御影堂修造勸化添状〕 最上領
眞言新義諸寺院宛 寛文九年

小池坊能化頼意・智積院能化運敬書状〔東寺御
影堂修葺勸化添状〕 最上領眞言新義諸寺院宛
〔寛文一〇年力〕

東寺年預書状〔東寺御影堂修葺奉加状〕 口状覚
添 観智院果扶 最上領眞言新義諸寺院宛 〔寛文
一〇年〕

一通 四三〇

一通 四三三
〔下四〕

一通 四〇六
〔下五〕

二通 四〇七

一通 四〇八

一通 四〇九

一通 四一〇

二枚 三七六

一通 四〇九

一通 三七三

一通 三七四

一通 三七五

二通 三七六

一通 四二五
〔下四〕

江戸四箇寺書狀〔東寺御影堂修葺勸化添狀〕
真福寺隆鑲・弥勒寺朝海・知足院俊〔・円福寺
隆弁 最上領真言新義諸寺院宛（寛文一〇年^九）

靈元天皇綸旨（享）〔弘法大師八百五十年忌勸
化許狀〕追啓添 右大弁源定 天和三年
一通 三七九

智積院能化信盛・小池坊能化尊如副狀（享）〔高
祖大師八百五十年忌執行副狀〕真言新義諸寺院
宛（天和三年^九）
一通 三七〇

智積教院勸化狀 付奉加之覺 信盛 貞享元年
折本 板一帖 三九五
密藏上人大師号勸許御奉加帳 元禄五年
横長美 二冊 四八三

中御門天皇綸旨（享）〔弘法大師九百年忌法会
勸奨許狀〕追啓添 右大弁植房 長者前大僧正宛
享保一八年
二通 三七五

大覺寺門跡役院書狀〔高祖大師九百年忌勸化添
狀〕宝幢院竜如・寛勝院了 真言諸寺院宛（享保
一八年^九）
一通 三七五

仁和寺宮役院書狀〔高祖大師九百年忌勸化添狀〕
尊寿院幸・自性院孝有 真言諸寺院宛（享保一八年^九）
一通 三七五

東寺役院書狀〔高祖大師九百年忌勸化添狀〕
金勝院隆海・宝嚴院亮寛 真言諸寺院宛（享保一
八年^九）
一通 三七五

後桜町天皇綸旨（享）〔東寺西院及諸伽藍修造
勸奨許狀〕左中弁伊光 東寺定額僧綱・東寺諸門
徒宛 明和三年
二通 三七〇

東寺役院書狀（享）〔東寺西院等修造之編旨写
送達ニ付勸奨依頼狀〕宝輪院義・公乘院賢 真言
諸寺院宛（明和四年）
一通 三七六

大覺寺門跡令旨（享）〔東寺西院及諸伽藍修造
勸奨添狀〕尊淳 真言諸寺院宛 明和四年
一通 三七六

總法務宮令旨（享）〔東寺西院及諸伽藍修造勸
奨添狀〕栄遍 真言諸寺院宛 明和四年
一通 三七三

光格天皇綸旨（享）〔弘法大師九百五十歲遠忌
法会勸化許狀〕左中弁頼源 長者前大僧正・東寺
諸門徒宛 天明二年
二通 三七五

仁孝天皇綸旨（享）〔弘法大師千年忌法会執行
許狀〕左中將 東寺諸門徒宛 天保二年
一通 三七六

智積院学侶上座十人書狀〔御影堂并所化寮再興
勸化狀〕最上真言新義諸寺院宛
一通 三七五

嵯峨法輪寺有尊書狀〔伽藍修造勸化狀〕真言宗
新義一派宛
一通 三七六

江戸本所弥勒寺書狀（享）〔去春類焼ニ付助成依
頼狀〕真言新義諸寺院宛 酉年
一通 三七七

弥勒寺書狀（享）〔施入出精可給〕新義諸寺院宛
根生院・円福寺・真福寺書狀（享）〔弥勒寺移
転再建助成頼入〕羽州真言新義諸寺院宛 巳年
一通 三七六

（四箇寺廻狀ニ付徳性院添書）
（奉加金ニ付御狀拝見覚）宝幢寺 円真房宛
丑年
一通 三七五

（本山勸奨金受取覚）智山代僧月輪院 延命院宛
辰年
一通 四三三

仁和寺宮庁下文（享）別当僧正外 大和久米寺宛
承応三年
一通 四三三

江戸愛宕山略由來記 附勸化狀 円福寺亮誘
嘉永四年
半 一冊 三〇元

寺中奉加
*水勝山奉加之帳 川原子村庄屋八右衛門 貞享
五年
横長美 一冊 四七四

*水精山御堂奉加之帳 猪野沢村小山田理兵衛
元禄元年
横長美 一冊 四七五

一切経勸化之牒 宝幢寺 元禄八年

*水晶山御堂再建奉加帳 文政八年

*水晶山略記勸化序 文政十一年

*水晶岳籠庵修覆奉加牒 天保二〇年

祭 礼

*天童郷門前并社領等ニ付掟書 茂兵衛

天童郷社中祭礼之節宝幢寺ノ備物覚

(宝幢寺祭礼行列割控カ)

天満宮諱ニ付まんなら供御行列役割手控 嘉永五年

天満宮御忌ニ付記録書 (嘉永五年)

御祭礼諸用書留帳 明治三年

愛宕権現末社書上控 宝幢寺

(天童寺領堂社御改願)

(山王大神宝幢寺末社与心得不申口上書)
寺津村役人瀬野義十郎 天童門前役人宛 午年

愛宕山仏具目錄

折本 一帖 三六

美大 一冊 四七

美大 一冊 四七

美大 一冊 四六

二通 三六
(二七)

一枚 四三

横半半 一冊 四三

横半半 一冊 四四

横半半 一冊 四三

横半半 一通 四三

横半半 一通 四三

横半半 一冊 四三

東山天皇勅書(写) [聖宝理源大師追諡勅書]

光台院賢繼書狀(写) [理源大師号勅許ニ付]
真言新義諸寺院宛 亥五月(宝永四年)

幕 法

(吉利支丹宗門之者先年ころひ申者寺内門前末寺領内ニ無御座ニ付指上一札) 宝幢寺・末寺八カ寺 竜野七郎左衛門・佃伝右衛門宛 寛文五年一月

御書出之写 [高札写 忠孝] 天和二年五月

御書出之写 [高札写 毒薬] 天和二年五月

大御目付御廻状写 御請状案添 卯一〇・一二月

(四箇寺触達ニ付宝幢寺廻状) 万延元年一二月

四箇寺廻状写

(從江戸御書出・廻状請取覚) 成就院 宝幢寺宛 辰二月

目錄 [公用御触等] 本山当番

○

弥勒寺指紙 宝幢寺宛 七月

(海岸防禦之為梵鐘相納の様御抄状御請書雛形) 寺社役所宛 安政三年

(撞鐘半鐘届) 高仙寺 本山役僧宛 卯(安政二年)

本山条目

(不可入所化之詰衆者之触書写) 智積院隆長
小池坊高慶 慶安二年六月

一通 三七

一通 三七

一通 四三

一通 四三

一通 四三
(二七)

一通 四三

二通 四三

二枚 四三

二綴 四三

一通 四三

二通 四三

一通 四三

一通 四三

一通 四三

一通 四三

一通 四三

法 令・支配

法 令

勅 書

(寛文七年極月十五日智積院僧正運敎下知状写)
智積院僧正勳潮 岳弁宛 安永八年二月

(両山化主御触書写) 円福寺等四カ寺 申九月

法度条目(写共) 護持院隆光 真言新儀諸寺院宛
元禄八年十一月

官物之目録 護持院役者月輪院・日輪院 諸本寺中
元禄八年十一月

(智積院等後住入札ニ付議定連印書写) 隆瑜外
(天保二年)

(集議席移転地ニ付被御出議定連印書写) 集議
席・前側席連印 天保二年三月

(集議席向後能撰ニ限リハ様規定連印願書)
集議席・前側席連印 方丈鑑事宛 天保二年三月

寺 定

末寺門中江申渡寛 付御請書 宝幢寺亮弁 誓願
寺等二六カ寺 元禄九年三月

亮弁様天童表之掟書御草案書写

(譜代之者改革ニ付申渡并御請書) 済点
(沼洲カ) (門前カ) 今野権次右衛門等一九人・
(寺門前) 小山忠吾等二六人 天保五年六月・七月

(譜代知行田・勤役ニ付申渡并御請書) 役所
譜代惣代今野権次右衛門 天保八年一月

仕法改条々 朝海 嘉永二年五月

(愛宕山林御定目申渡并村内連印請書) (門前
村) 安政四年六月

(御本山議定心得違御高免請書) 観音寺等五寺
本山役場宛 慶応四年七月

一通 三七三
[下五七]

一通 四二五

三通 三七三

一通 四二〇

一通 四七六

一通 四七七

一通 四七六

一通 三七三

一通 四六四

二通 四六七

一通 四二五

二冊 四六八

一通 四六五

一通 四七三

山形最寄御条目 (明治元年二月カ)

御寺領御条目書 明治元年二月

*天童郷門并社領等ニ付掟書
天童郷社中祭礼之節宝幢寺ハ備物覚 茂兵衛

(熊野山内定書写) 社僧・衆徒・太夫・承仕・社
人連印 天和三年三月

布 令

御諭書 長崎裁判所 慶応四年

朝廷御布令写 明治元年

領 主

出羽国守護羽柴出羽守義光公御代武家寺社在町
知行録

*最上義光書状(写) 稲荷宛 三月

最上之書陣 遷溪

山形城起立并城主姓名取調届書

先最上殿知行所 覚書
最上御所替之事

(宝幢寺年礼ニ対シ最上監物義章礼状) 宝幢寺
宛 二月(享保頃)

袖中雜録拔書 (山形御城主捷覧) 嘉永四年六月

美 一冊 四六八
美 一冊 四六七

二通 三六四

一通 四二三

半 板一冊 三〇六

半 一冊 三〇〇

横長半 一冊 三六〇

一通 四四三

一通 四四三

二枚 四四四

一通 四四四

一通 四二三

一冊 四六三

(東叡山宮御警衛出兵御容赦御懸合願書・口上書) 宝幢寺 寺社役所宛 慶応四年八月

二通 四三

戸口

(天童村寺領百姓宗門帳長瀬御役所江指出申付ニ付寛控) 徳性院 同役所宛

一通 三六五

(当戊宗門人別御改帳差出申渡書) 徳性院外威徳院外末寺宛

一通 四五四

(吉祥院印判被成ニ付申渡) 延命院 惣門末宛

一通 四三三

寺領支配

社僧

(愛宕山本社并拜殿諸什物改日延不埒ニ付親類預請書) 社僧門揚坊外 本山出役宛 嘉永七年

一通 四三

修験

(鮎洗村宝積院被仰付指上ケ申一札) 良深房 宝徳寺内徳性院宛 貞享三年

一通 四六

(院号附与状) 亮弁 慈現院 元禄四年

一通 四四

(年行更如古来衆徒方ニ而年番可相勤旨被仰付請書) 熊建山衆徒 梅本坊等八人 宝幢寺宛 宝永八年

一通 四六

院号願書写 灰塚村掃部 役者宛 宝暦一一年

一通 四三三

(大峰入峰御添簡紛失ニ付口上書) 山口村法仙坊 宝幢寺役人宛 寛政一〇年

一通 四四

当山方修験衣鉢定法 醍醐御殿役所 寛政一一年

一通 四五

(大峰正大先達梅本院仰付外御尋ニ付口上書) 貫津村三極院 役所宛 卯年

一通 四二五

(印判無失念持参可致寛) 延命院 寺津村教乘宛 午年

一通 四五一

宿坊附最上領一統本末帳

半

一冊 三六三

譜代家来

(御奉公難勤舍弟江相統願書) 多惣治 役人宛 寛政九年

一通 四四

(要人御役儀御免十茂佐方へ家督相統願書) 細矢玄達・曾根勝平 院代宛 午年

一通 四四

(神社守護褒状) 崑野賢曹 曾根匡太郎宛 辰(明治元年)

一通 四六八

寺領百姓

(御門前住居証文) 仙藏・伊助 天保一五年

一通 四七三

(百姓留次郎打擲一件御尋ニ付別紙奉差上届書) 山口村百姓 万吉・庄屋 矢野佐之助 宝幢寺役場宛 亥年

一通 四八一

(三丁御構被仰付藤次郎帰参願書)

一通 四七四

(八日町行宿旅人宿爭論申渡)

一通 四七〇

給料

(在生中玄米五俵宛行狀) 大庄屋今野權次右衛門宛
天保九年

一通 五五〇

御給料頂戴書 役僧・役人 院代宛 文久二年

美

一冊 四六九

御手当御請書 山家村三右衛門・成生村助左衛門・
山口渡月矢野佐兵衛 山形役場宛 未年

三通 五四六

粥頂戴人数書

一通 四四〇

土地

朱印狀

朱印狀写

天童愛宕権現社領朱印狀写 別当宝幢寺

三六三
〔二五〕

- 1 慶安元年七月一七日 (家光朱印)
- 2 寛文五年七月一日 (家綱朱印)
- 3 貞享二年六月一日 (綱吉朱印)
- 4 享保三年七月一日 (吉宗朱印)
- 5 延享四年八月一日 (家重朱印)
- 6 宝曆一二年八月一日 (家治朱印)
- 7 天明八年九月一日 (家齊朱印)
- 8 安政二年九月一日 (家定朱印)

一通
一通
一通
一通
一通
一通
一通
一通

山形阿弥陀堂領朱印狀写 (綱吉朱印) 別当誓願寺 貞享二年六月一日

一通 三六七
〔二七〕

山形新山寺領朱印狀 (綱吉朱印) 貞享二年六月一日

一通 三六六
〔二三〕

平塩村熊野権現社領朱印狀写 (平塩寺進止 (家茂朱印) 万延元年九月一日

一通 三六六

宝沢村蔵主権現社領朱印狀写 (家光・綱吉朱印) 慶安元年八月一七日・貞享二年六月一日

一通 三六〇

御朱印配分御改帳 宝幢寺 延享三年

横長美

一冊 四四〇

御朱印写四通 崑野謹司 弘化二年二月

半

一冊 四六九

(小白川村天神社領之内故障収納中絶之高改寄進狀) 松平下總守清良 (松平忠忠) 別当威徳院宛 慶安五年八月二六日

一通 四三四
〔二四〕

寺領寄進黒印狀 信享 (上之山城主藤井松平) 仙石村高仙寺宛 天明四年六月

一通 三三五

日本国中自他宗并社家知行御朱印之員数 亮長 享保二年四月

一通 四六六

朱印狀受領・改

(愛宕社領山并居屋敷替地申請度願書) 宝幢寺有俊 松平清左衛門宛 寛永二〇年二月二八日

二通 四三九

御朱印御訴訟 宝幢寺 (慶安元年)

二通 四三三
〔二六〕

御朱印願書写 宝幢寺 星合太郎兵衛宛 慶安元年七月一九日

一通 四三三
〔二七〕

(御繪旨・御朱印等請取寛) 性院宛 寛文元年八月一六日	一通 四二六	手目録 誓願寺 安政六年一〇月	一通 四二七
(御朱印改力手札) 宝幢寺 八月三日 (貞享二年)	一通 四二六	手目録 竜福寺 安政六年一〇月	一通 四二八
(御朱印頂戴并御改ニ付寛) 威徳院 本寺役者宛 享保三年一二月	一通 四二五	宝幢寺印鑑	四枚 四二六
(御朱印頂戴届書) 宝幢寺 弥勒寺役者宛 享保 四年九月一日	一通 四二六	高書上	
(御朱印御改ニ付寛) 竜福寺高升代 延享三年六 月	一通 四二七	宝幢寺分之寛(写共) 宝幢寺有俊 上使宛 子年(寛永一三年)	二通 四二九
(御朱印頂戴届書) 宝幢寺 弥勒寺役者宛 寛政 元年一月二三日	一通 四二八	(宝幢寺領高反別書上) 宝幢寺 奉行所宛 正保三年(貞享元年張紙)	一通 四三〇
(寺領之御朱印頂戴御礼書) 宝幢寺外五末寺 安政四年一月	六通 四二九	(陣場新田領分高届) 名主甚右衛門 宝幢寺宛	一通 四三一
(御朱印頂戴之為御礼江戸江罷出不及達書)	一通 四三〇	長慶寺支配地之寛 羽前国村山郡天童愛宕大神社領鄉村高其外取調 帳 佐伯實雄 (明治二年)	一通 四三二
(御朱印改御達ニ付寛)	一通 四三一	境内・宅地	一冊 四三三
目録 宝幢寺 (延享四年カ)	一通 四三二	御用畑之内町屋敷并寺方江田入い寛 佐藤伝左 衛門 長善宛 戌年(宝永三年カ)	一冊 四三四
目録 宝幢寺 (天明八年カ)	三通 四三三	(宝幢寺本坊建物間数坪数控書)	一通 四三五
目録 宝幢寺 天保九年	一通 四三六		
手目録 宝幢寺 嘉永七年	一通 四三七		
手目録 宝幢寺 安政六年一〇月	一通 四三八	田畑	
手目録 宝幢寺 (慶応三年カ)	一通 四三九	名寄帳	
手目録 威徳院 安政六年一〇月	一通 四四〇	名寄帳 地蔵町横断助兵衛 徳性院宛 元禄三年	一冊 四四一
手目録 新山寺 安政六年一〇月	二通 四四一	田畑名寄帳 江口吉兵衛 寛保元年	一冊 四四二

売 買

(田畑讓請ニ付差上申一札) 十日町藤屋伝左衛門
威徳院内長橋平吉宛 明和五年

取添反別取調帳 寅年(文化一五年)

出 作

卯年〆地藏町畑方徳性院出作帳 駒田弥一右衛門
宝幢寺内徳性院宛 寛文三年

卯年〆地藏町畑方宝幢寺内徳性院出作帳 駒田
弥一右衛門 地蔵町庄屋百姓中 寛文三年

卯年〆地藏町畑方徳性院出作帳 駒田弥一右衛門
宝幢寺内徳性院宛 寛文三年

(愛宕門前之者出作等之儀ニ付寛)

小 作

田畠立代割印帳 (宝幢寺) 地方役所 嘉永四年

宝幢寺役場差紙「小作人共高調ニ付」(明治元年)

羽黒神社除地試作畑小作願書 貫津村明覚坊
山形役場宛 明治二年

羽黒除地試作敵小作書上帳 絵図添 貫津村荒沢
六郎 佐伯役場宛 明治三年

出 入

(上山口村庄屋重右衛門江掛ル田畑并入会山出入
ニ付願書) 上山口村寺領惣百姓・甚左衛門・七郎兵衛
宝幢寺役人宛 宝永六年

(上山口村庄屋十右衛門江掛ル田畑并入会山出入
返答者) 庄屋上山口惣百姓・地頭甚左衛門・七郎兵衛
衛・今野才兵衛 東根役所宛 宝永六年

(十右衛門江掛ル田畑并入会山出入再返答書)
惣百姓・甚左衛門・七郎兵衛・今野才兵衛
東根役所宛 宝永六年

(上山口村庄畑并入会山出入追返答書) 上山口村
庄屋 十右衛門外 奉行所宛 宝永六年

上山口村弥七郎〆同村戸助論地万覚(享保三年)

用 水

ニ為取替濟御証文「高摘村と天童組拾ケ村用水論
付」慶応元年

林 野

山 林

(五箇所山林間数覚写) 慶安二年

*寺領五箇所山林絵図面 奥書寄進状付 黒屋数
馬・山田久弥 宝幢寺宛 慶安二年

(大和神山宝幢寺御請取被成候ニ付指上ケ申一
札) 写共 川原子村山寺庄屋長右衛門・重三郎 宝幢
寺下代宛 慶安二年

*山境図五ヶ所分 佐野理左衛門・白石作左衛門
慶安二年

川原子村大和神山役新納覚(写) 宝幢寺内和知左
兵衛 寛文二年

一通 三六三
(↓五五)

一通 三六四

一冊 三六七

一冊 三六八

半

三通 四六九

一卷 三七四
二枚

二通 三六九

六枚 四四九

横長半

一冊 四七六

愛宕山并門前屋敷貫津山木数御改帳 和知庄兵衛外 延宝五年

横半半

一冊 四七五

(水精山御年貢薪当年不参御託御有免ニ付差上証文) 写共 川原子村長右衛門外 宝幢寺内和知左兵衛宛 延宝九年

二通 三六〇

八右衛門書狀(写) 吉田甚左衛門宛 六月

一通 三三三

山口村甚左衛門書狀(写) 平松惣兵衛宛 六月

一通 三三三

*水勝山奉加之帳 川原子村庄屋八右衛門 貞享五年

横長美

一冊 四〇四

*水精山御堂御奉加之帳 猪野沢村小山田理兵衛 元禄元年

横長美

一冊 四〇五

大和神山棟札之扣 △亮弁▽ △元禄元年▽

一通 三三三

* (貫津村羽黒山奇祥ニ付覺書) 元禄一三年 (紙背) 宝幢寺隆弁書狀

一通 四三三

(大和神御穴之笠材木申請候ニ付一札) 川原子村山守彦九郎・長右衛門 宝幢寺下代宛 元禄一六年

二通 三三三

*水晶山御堂再建奉加帳 川原子村役人善七・勘左衛門 文政八年

美大

一冊 四七六

(水晶山御坂通御供田再起願書) 写共 山守役勘左衛門 宝幢寺役場宛 文政九年

二通 三三三

*水晶山略記勸化序 川原子村氏子等 文政一二年

美大

一冊 四七七

(水晶山境内田畑切起金子御下ニ相成一紙書付差上覺写) 山守 勘左衛門 宝幢寺役場宛 文政一二年

一通 三三三

杉苗金請取証文(写) [水晶山麓御堂再建ニ付]

川原子村名主 吉郎兵衛外村役人 宝幢寺役場宛 文政一二年

一通 三三三

水晶山御供田畑切起絵図并届書(写共) 山守 勘左衛門 宝幢寺役場宛 天保二年

二通 三六五

(水晶山領分江家作ニ付違乱無御座差上一札) 写共 川原子村五人組頭連印 宝幢寺山森勘左衛門宛 天保五年

二通 三六五

(水晶山参詣取扱山守小屋相建申度村内故障筋無御座ニ付用木諸入用金御下ケ願書写) 山守 川原子村勘左衛門 宝幢寺役場宛 天保五年

一通 三六〇

(大和神山参詣取扱山守小屋相建候ニ付杉松木金子請取一札) 写共 川原子村勘左衛門 宝幢寺役場宛 天保五年

二通 三六二

*水晶山麓庵修覆奉加牒 森谷勘太夫・釈大宗 天保一〇年

美大

一冊 四七六

川原子村々薪年貢納割合面付帳 役元 才勘勘左衛門・同源右衛門宛 天保一二年・弘化元年

横長半

飯二冊 三六三

* (愛宕山林御定目申渡并村内連印請書) (門前村) 安政四年

一通 四六五

愛宕山御材木御改帳 山本三五郎他 平松弥総太外宛 安政四年

横長半

一冊 三六元

山 論

愛宕山論

天竜門前村小走長治郎木伐候付御吟味申之覚 平松忠吾元貞 文化七年

半

一冊 四六五

(伐木ニ付庄屋山守共慎申渡控) 長善院外 稻葉八兵衛・山守宛 午九月(文化七年)

一通 四〇三

公辺山林一件袖中記 文化一三年

横美半

一冊 四六〇

(愛宕社領立木伐採出入訴状控) 訴訟人宝幢寺亮岳
寺社奉行所宛 文化一三年

一通 四三六
〔下五三〕

かくま預証札(下書) 丈助・治助・源藏・竜次 徳
性院・平松忠吾・佐藤雅右衛門宛 文政元年

二通 元六

(天童愛宕山境論御裁許御請書) 宝幢寺代徳性院
・天童村等五カ村惣代同村四日町名主治郎吉・大住屋秀治郎代
・北目村惣代名主武右衛門・天童村中町三寶寺代 評定所
宛 文政三年

二通 元五
〔下五三〕

(天童愛宕山境論裁許境杭打渡御請証文控)
訴訟方宝幢寺代徳性院・平松忠吾・相方五カ村惣代次郎吉外
大原四郎右衛門・手附青木宗右衛門・古山善吉・手附
小樽儀左衛門宛 文政三年

一通 元六

(天童愛宕山境論御裁許濟口為取替証文) 宝幢寺
惣代徳性院・治郎吉・秀治郎代・武右衛門 文政三年

一通 元七
〔下五三〕

(愛宕山御林松木伐取一件御有免杉苗木植付被
仰渡ニ付奉差上一札) 門前村名主兼今野仲太外 役場
宛 元治元年

一通 元六

白木状箱請取書 北目役場 宝幢寺内宛 巳五月

四通 四〇〇

水晶山論(大和神山)

(大和神本社并參詣籠小屋破損ケ所修復ニ付伐
木願書) 山守川原子村勘左衛門 宝幢寺役場宛 天保
一五年

一通 三六三

(水晶山山守仮役御請書) 川原子村民蔵 宝幢寺
役場宛 天保一五年

一通 三六三

水晶山伐木一件ニ付川原子村一同々同村内山守
役勘左衛門江相掛候争論一儀 天保一五年

横長半

一冊 三三六

(水晶山御供田再切起村方差障ニ付土地届書)
河原子村山守勘左衛門 宝幢寺役場宛 弘化二年

一通 三六三

(水晶山伐木一件入牢ニ付身分相立候様願書)
川原子村勘左衛門 宝幢寺役場宛

一通 三六六

(水晶山山守仮役并參詣取扱方守護中川原子村
之者理不尽致方ニ付口上書) 門揚坊 役所宛
弘化二年

一通 元七

(水晶山御供田畑仕付中川原子村之者共銀奪取
ニ付取戻之上故障不申掛様願書) 寺領山口村吉太郎
等六人 地頭役所宛 弘化二年

一通 元六

(水晶山伐木并境内田畑手入ニ対シ狼籍及理不
尽ニ候始末一件書) 弘化二年

美

一冊 四七〇

(欠落致ニ付女子共寺領之内差置願書) 川原子村
勘左衛門 宝幢寺役人畠野金次宛 弘化二年

一通 元六

(水晶山之儀ニ付故障筋不申越様御懸合願書写)
川原子村名主惣五郎外村役人 北目役所

半

二冊 四三三

(水晶山御供田畑耕作中川原子村一同ニ被奪取
候新銀代御下ケ請取御請書) 寺領山口村矢野佐之
助等七人 地頭(宝幢寺)役所宛 弘化二年

一通 元七

(水晶山伐木ニ付川原子村之者及理不尽候始末
一件書) 弘化二年

半

仮一冊 四四四

水晶山一件扱之趣意(写共) 役人上野弥藤治・阿
部吉郎兵衛・東海林七左衛門 巳六月(弘化二年)

三通 元七

水晶山取扱之趣意 取扱人奈良村弥藤次等五人

一通 元九

巳六月中差出候扱趣意書(弘化二年)

半

仮一冊 四四五

(水晶山論扱人趣意書之通相心得ニ付連印一札
写)

一通 四五六

(内濟仕度日延掛合之処破談ニ付口上書 下書)

一通 元七

水晶山論出府中日記 畠野謹司 弘化二年

半

一冊 三六六

水晶山論中請書類控并届書共 二年	朝海 寺社奉行宛 弘化二年	半	一冊	三七
水晶山論所訴狀下案	朝海 寺社奉行宛 弘化二年	半	三冊	四六
(河原子村江相懸候理不尽出入訴狀認方不行届 二付御下願書并請取御請書下書)			一通	三七
水晶山一件願(面写 徳性院・崑野謹司 弘化二年)		半	一冊	四七
御訴訟水精山出入河原子村江相掛願書写し		半	一冊	四六
(水晶山理不尽出入訴狀尊判拜見一札) 写共 川原寺村名主 長七外村役人 宝幢寺役僧宛 弘化二年			三通	四六
(川原子村江相掛理不尽出入御差日御尊判御請 書下書) 旅宿伊助 寺社奉行所宛(弘化二年)			三通	四七
(川原子村江相掛ル理不尽出入二付出府御届書控) 宝幢寺(朝海) 弥勒寺役者宛 弘化三年			一通	四七
(相手方証拠物取調ニ付再日延願書) 崑野謹司 ・長七 寺社奉行所宛 午四月(弘化三年)			一通	四七
(水晶山一件吟味示談いたし度出府御猶予願書控) 宝幢寺朝海・崑野謹司代榮連 寺社奉行宛 弘化三年			一通	四六
御奉行所御吟味中追々差上候書面三通之写 三年		美	一冊	四六
水晶一件示談門前出役日記 崑野謹司 弘化四年		横半半	一冊	三三
(水晶山一件御吟味出府御猶予願下ケ切願書控) (崑野謹司)			一通	四六
水晶山論再度目在府中日記 崑野謹司 弘化四年		半	一冊	三三
水晶山論二度目出府中御吟味記 崑野謹司 弘化四年		半	一冊	三三
(水晶山境論御吟味中河原子村之者不効取様并 御供田作付願書下書) 宝幢寺朝海 寺社奉行所宛 弘化四年			一通	四六
(論所水晶山一件落着ニ付為取替議定書) 村次郎吉 宝幢寺朝海・崑野謹司宛 未一〇月(弘化四年)			一通	四六
(水晶山一件御見分様方御旅館ニ付対談之趣意 為取替一札) 川原寺村治郎吉 宝幢寺平松弥惣太宛 弘化四年			一通	四六
水晶山論中記 嘉永元年		美	一冊	四七
(水晶山論所御見分中賄路酒代無心等無御座候 ニ付口上書下書) 訴訟方崑野謹司・川原寺村長七外 上山清七宛			二通	四六
水晶山論御見分中日記 延命院・平松弥惣太・ 崑野謹司 嘉永元年		美	一冊	四七
水晶山論御見分中記雜録 崑野謹司 嘉永元年		横半半	一冊	四六
(訴答示談為取替議定一札) 河原子村次郎吉・崑野 謹司宛 嘉永元年			一通	四六
(水晶山論所御見分杭木預り仮杭相立為取替議 定証文) 訴訟方宝幢寺代延命院榮連・崑野謹司 相手方河原子村名主長七外 引合嶺野沢村名主理兵衛外 嘉永元年			一通	四六
(河原子村之者共水晶山議定相破候ニ付乱妨不 仕様願書控) 宝幢寺代延命院榮連・崑野謹司 飯厚芳藏・梅沢九十郎宛 嘉永元年			一通	四六
水精山論書御見分中願書類留 延命院外 嘉永 元年		半	一冊	三六

水精山論所御見分様御先触御用書写	嘉永二年	横長半	一冊	三三七
水晶山論御見分記	吉祥院寛心・平松弥惣太・崑野謹司	美	一冊	四四七
大見分御旅館中入用之品書留	崑野謹司	横長半	一冊	三三二
(水晶山論御吟味覚)		半	一冊	三三三
水精山証拠物書類目録	宝幢寺代吉祥院寛心・長善院築寂	美	四通	三六七
差上申証拠目録	嘉永二年・三年	美	一通	三六八
御朱印写并証拠書類写	宝幢寺 寺社役所宛	美	五冊	四六七
(水晶山論所御供田場無手入被仰付御請書并為取替証文)	宝幢寺代・長七外 山口藏次郎・鈴木幸一郎・宝幢寺内宛	美	一通	三六九
道中小遣帳	崑野謹司	横長半	一冊	三三六
水晶山論三度目出府中御吟味記	崑野謹司	半	一冊	三三三
水晶山論三度目在府中書類留	崑野謹司	半	一冊	三三三
水晶山論三度目在府中日記	崑野謹司	半	一冊	三三二
水精山一件御検地御吟味中日記	宝幢寺惣代	半	一冊	三三五
水精山一件御検地御吟味中諸書類控	月山寺外	半	一冊	三三四
水晶山論大御見分中日記	嘉永四年	半	一冊	三三五
御分問野帳	宝幢寺惣代方	横長半	一冊	三三六

西南方御分問野帳	宝幢寺記帳方	嘉永四年	横半半	一冊	三三六
猪野沢村証拠書類控	中川亮平宛	嘉永四年	半	一冊	四四六
書類目録〔水晶山論〕(控)	平松弥惣太・崑野謹司 吟味役人宛	嘉永四年		一通	四四五
(水晶山一件証拠書類差上候目録)				一通	四四四
証拠物書付目録〔水晶山論〕				一通	四四六
羽州村山郡山形宝幢寺与同郡川原子村地所出入裁許状(写共)	嘉永四年	美	二卷	三七六	
河原子村水晶山山論御裁許書写	嘉永四年	美	一冊	四四二	
水精山御裁許御定枕覚帳	宮城利久治	横半半	一冊	四四三	
水晶山論御裁許御定枕立会改帳	宝幢寺惣代	横半半	一冊	三六四	
歎願書下案〔山口村寺領百姓御林山無差別入会〕	宝幢寺淨珊代朝海 寺社奉行所宛	文久二年	半	一冊 〔↓五色〕	四四五
(水晶山不法出入訴状)控・下書共〔嘉永度御裁許御趣意川原子村之者差障不申掛様被仰付度〕	宝幢寺淨珊代朝海 寺社奉行宛	文久二年		三通	三六〇
相手河原子村領主土屋相模守殿江差出候願書之写	宝幢寺	文久二年	半	一冊	四四四
河原子村北目役所江願出夫山形寺社役所江文通有之候節添書之写	文久二年	半	三冊	四四五	
北目御役場江文通写		半	一冊	四四四	
(宝幢寺水晶山伐木起返等不被致候様心得方御差図伺書写	川原寺村次郎吉 寺社奉行所宛	文久二年		一通	四四六
(水晶山伐木起返一件返答書控)	(宝幢寺朝海)			一通	四四六

(伐荒し立木薪葉差置候様北目役所江御掛合被下度願書下書) 役所新山寺 寺社役所宛 文久二年

(ヶ条前文山守之称号書加願書下書) 朝海 寺社奉行所宛 亥五月(文久三年)

(水晶山伐木出入熟談内済証文) 写共 川原子村治郎吉・宝幢寺御代朝海 寺社奉行所宛 元治元年

水晶山一件書類写

書狀請取書 猪野沢村名主理兵衛

書狀請取書 川原子村名主

(橋木伐木届書) 河原子村治郎吉 宝幢寺役場宛 元治元年

(焼枯木伐木届書) 河原子村治郎吉 宝幢寺役場宛 元治元年

(愛宕・水晶山論関係雜控書類)

○

(百姓總連判)(前欠)
(献立表)

山口村山論

中下両組が訴狀ニ付上組が答書并御尋ニ付下ヶ札ニ而否申上候扣 山口村上組名主吉郎兵衛 東根 役所宛 申六月(万延元年)

(山口村入会出入願書) 寺領山口村名主佐之助 寺社役所宛 文久三年

(名主義左衛門并下組組頭久兵衛江相掛不法出入訴狀認直し御日延願書) 山口村上組佐之助 寺社奉行所宛 亥八月(文久三年)

御下ヶ絵図御裏書写 宝曆一二年
御請書差上候写 安政四年

貢 租

收 納

徴 収

御年貢米大豆納帳 曾禰三左衛門・和知惣右衛門 寛保二年

天保七申年御物成米勘定書上

(御收納受取手形) 宝幢寺蔵方 門前村役人宛

(当寅收納皆済届) 今野喜六・喜八 出役宛 寅年

検 見

申検見田畑川欠帳 平松弥惣太・佐藤用助 安永五年

納 入

(越後諸川御普請高役金差出方被御出外写) 水野直次郎寺社役所 宝幢寺宛 卯(慶応三年)

(高役金納手形雛形)

(御年貢米受取手形) 北目村蔵方 門竹坊宛 安永八一文化九年

半 一冊 三六五

美 一冊 四六六
(↓三七八)

一通 四四四

五通 四九七

一通 四四〇

横美半 一冊 三六七

一通 四五一

美 一冊 四七三

五八通 四九四

(御年貢米受取手形) 北目村藏方 門松坊宛 寛政元—文化二三年外			六〇通	四九五
(御年貢米受取手形) 北目村藏方 門柳坊宛 享和—文化九年外			三七通	四九六
当辰御物成米上納通 門前村郷藏元 稻葉泰八宛 天保一五年			一冊	三六六
戊御年貢皆済手形 地蔵町検断 佐藤与助 徳性院・地蔵 院役人相沢順藏宛 戊年			三通	四七〇
丑御年貢米金皆済目録 横断川村庄右衛門			一通	三九六
御年貢米納通 地蔵庵			一通	四〇七
(石代金等受取手形) 地蔵町藏 徳性院宛			一〇通	四九六
(御年貢石代金受取手形) 横町郷藏元 徳性院・ 新山寺宛			三通	四九六
(石代金受取手形) 皆川町郷藏 月山寺宛			一通	五〇〇
(石代金受取手形) 材木町郷藏 新山寺宛			二通	五〇一
(御年貢請取手形) 小路町太郎兵衛			一通	五〇三
經 營				
入 用				
諸勘定ノ高書上帳 今野彦六 慶応三年			一冊	三六三
諸入用取調書上帳 今野彦六 慶応三年			一冊	三六四
諸勘定取調書上帳 今野彦六 慶応三年			一冊	三六五
当卯御台所番諸遣飯料書上帳 今野彦六 慶応 三年			一冊	三六六
酉二月炭薪遣目録 平助 徳性院宛 酉年			一通	四九六
宝幢寺様御用達 紙屋庄兵衛 寛政七年			一冊	四七〇
(書籍代勘定書) 書林前川市兵衛 天和三年			一通	四九四
(諸入用覚) 大仏本十丁目香具師九郎兵衛 頼岳・ 最上滋海宛 元治二年			一通	四九六
為替手形 東京法厨 宝幢寺役人宛 天保一三年			一通	四四七
(飛脚賃銀請取覚) 横町嶋屋佐右衛門 宝幢寺・ 佐伯台所宛 弘化二年・巳年・午(明治三年)			三通	五五一
(年々被下置金頂戴書) 常念寺 宝幢寺役人宛 寅年			一通	五五五
(献金神納御請覚) 三口市大夫次郎幸福善五大夫 宝幢寺役人宛 巳年			一通	五五五
(御払代金受取書) □圖屋源助 大黒山台所宛 未年			一通	五五九
貸 借				
*一切経金御願望金請取証文) 智弁 有喜宛 元文五年			一通	四三三
金子預り証文 曾瀬左中外 喬嶽裏書 西川伝吉 宛 寛政二一六年			六通	四三三
(山口村庄次郎左之助へ預金一件吟味并書類控) (文化一〇年頃)			一冊	四九七
金子借用証文(控) (成就院修覆入用) 成就院 役僧・役人・宝幢寺役僧・役人 嶋岡町佐竹久六取次 文化一二年			三通	四六六

利金請取書 植木村竜泰寺 宝幢寺宛 文政四年

一通 四六〇

米預証札 延命院外 門前村組頭宛 文政七年

一通 四二五

給金奉公私手形 上反田村名主長三郎・同村伝之助
宝幢寺宛 天保一二年

一通 四四三

愛宕神社普請金貸附帳 社務摩訶迦羅山執事
明治元年

一冊 三三三
一通 四七三

(成就院修復入用引当証文等)

金 融

出金割合覚

半 一冊 四九〇

造営・普請

(仏像仕立御請書) 仏師長兵衛 最上行峨宛
巳年

一通 四九〇

(愛宕山二王門再建ニ付地築願御届書) 愛宕門前村
工辰次郎等五人 役場宛 弘化五年

一通 四七六

(普請施主姓名名書) 竜興寺智願

一通 四三三

御疊方調査・御書院疊請取金錢米請取之通
覺師文吉 明治三年

三冊 四七六
一通 四七六

日 記

宝永三丙戌年日記 宝永三年

美 一冊 三六三
〔↓二冊〕

宝永五戊子年日記 下巻 宝永五年

美 一冊 三六六
〔↓三冊〕

見聞雜記 淨珊

半 一冊 三六六

(万事留) 淨珊 (慶応二年九)

半 一冊 五〇〇

雜抄

四半 一冊 五九二

浄家之僧廊山今日蓮義常楽院日経宗論之記録
(写) △高野山遍照光院頼慶△△慶長一三年△

半 一冊 四九三

高野山公事落居之事 △元禄五年△

一通 四五七

書 狀

住職書狀

宝幢寺俊海書狀 藤沢上人宛 三月

一通 四〇〇

宝幢寺亮弁書狀 [御朱印・景園等江戸觀喜庵へ渡
ニ付] 光明寺宛 巳五月

一通 四〇三

(觀喜庵ニ御渡可被下目録之覚) 光明寺 宝幢
寺宛 巳六月(承応二年九)

一通 四二七

宝幢寺亮弁書狀 今和泉清左衛門宛 三月

一通 四〇三

宝幢寺亮弁書狀 村井惣兵衛・浅井弥右衛門・
古後善太夫宛 八月

一通 四九四

宝幢寺隆弁書狀 太音房宛 一月

一通 四〇三

*宝幢寺隆弁書狀 (紙背) 岡田李右衛門宛 二月

一通 四二五

戒光庵隆弁書狀 延命院・佐藤喜兵衛宛 八月

一通 四二四

亮長書狀 [受戒仕度聽許訴狀ニ付] 未二月

一通 四〇四

亮長書狀 宝幢寺法印(亮弁カ)宛 六月

一通 四〇五

史言房亮長書狀 亮弁宛 八月

一通 四〇六

宝幢寺亮長書狀	延命院・佐藤喜兵衛宛	八月	一通	四〇五
幸祐庵亮長書狀	平松源次郎・佐藤忠左衛門宛		一通	四〇六
宝幢寺智弁書狀	梅津内蔵丞・小野寺桂之助・小野崎大蔵宛		一通	四〇七
宝幢寺朝海書狀	門末・譜代宛、院内一同宛		六通	四〇八
宝幢寺朝海書狀	(岨野謹司宛)		一通	四〇九
宝幢寺朝海書狀	門末・普代宛	一一月	一通	四一〇
朝海書狀	宮城利久治・曾根匡太郎宛、国元役方宛 (明治二年)		二通	四一一
隠居広林書狀	国元役方宛	午一〇月 (明治三年)	一通	四一二
隠居代加藤十三郎書狀	国元役人宛	四月	一通	四一三
院主 (宝幢寺) 書狀	久能寺衆徒宛	三月	一通	四一四
*宝幢寺書狀 (下書)	間宮理左衛門宛 (紙背)		一通	四一五
悦瞳書狀	院内一同宛		一通	四一六
本山書狀				
智積院能化専戒書狀	宝幢寺宛	一月 (宝永頃)	一通	四一七
智積院某書狀	弥勒寺宛	六月	一通	四一八
触頭書狀				
円福寺信盛書狀	宝幢寺宛	一月	一通	四一九
真福寺役者堯恵書狀	威徳院宛	一月	一通	四二〇
真福寺隆鏤書狀	宝幢寺法印宛	一・三月	二通	四二一
明星院竜暁書狀	宝幢寺法印宛	一月	二通	四二二

弥勒寺役者愛染院信阿書狀	宝幢寺浄舜宛		一通	四二五
弥勒寺即同書狀	宝幢寺宛	一〇月	一通	四二六
弥勒寺亮泉狀	弥勒寺役者宝珠院書狀	宝幢寺宛	二通	四二七
弥勒寺書狀	〔三色衣免許ニ付〕	宝幢寺宛	一通	四二八
弥勒寺書狀	宝幢寺宛	七月	一通	四二九
惣持寺書狀	〔東寺奉加ニ付〕	宝幢寺宛	一通	四三〇
醍醐三宝院門跡役人書狀				
岸本内紀為美・藤井右膳義居書狀	宝幢寺・勝俱胝院宛		三通	四三一
藤井典膳豊春・北村左衛門正書狀	勝俱胝院宛	三月	一通	四三二
北村伊賀守保邦・大溪宮内卿豪円書狀	勝俱胝院宛		四通	四三三
北村長門守季保・飯田周防守経明書狀	勝俱胝院宛	九月	一通	四三四
甲村阿波介長基・左古田加賀介実統書狀	宝幢寺・勝俱胝院宛	乙巳五月 (弘化二年)・一月	二通	四三五
末寺書狀				
阿弥陀院書狀	曾根信三郎・匡太郎・勝平宛	五月	一通	四三七
喜福院有照書狀	徳性院宛	七月	一通	四三九
宝積院書狀	月山寺宛	三月	一通	四四〇
役僧役人書狀				

第一部 宝贖寺 書狀

院内一同書狀	崑野謹司宛	四・五月	五通	元〇六
院内一同書狀	執奏宛	三月	一通	元〇七
延命院弁応書狀	実応宛	六月	一通	〇〇元
延命院・徳性院書狀(控)	八木五兵衛・喜福院宛	八月	二通	元二
月山寺書狀	崑野謹司宛	四月	一通	元七
吉祥院書狀	月山寺宛		一通	元四
崑野謹司書狀	院内一同宛		一七通	元三
崑野謹司書狀	平松弥総太・院内一同宛		七通	元三
崑野謹司書狀	地蔵院・平松弥惣太・院内一同宛	閏五月(弘化三年)	二通	元三
崑野謹司書狀	徳性院・平松弥惣太・院内一同宛	四月	一通	元四
崑野謹司書狀	月山寺・平松弥惣太・院内一同宛		三通	元四
崑野謹司書狀	月山寺・徹善・曾根・宮城・一同宛	二月	一通	元六
崑野謹司書狀	地蔵院・平松弥惣太・院内一同宛	五月・閏五月(弘化三年)	二通	元七
崑野謹司書狀	山形当番宛	三月・一〇月	四通	元六
佐藤一之進書狀	徳性院・曾禰勝之進・平松忠吾宛	二月	二通	元四
佐藤・平松書狀(控)	下川多七・平田金蔵宛		一通	元四
地蔵院書狀	崑野謹司宛	二月	一通	元六
曾根勝平書狀	崑野謹司宛		三通	元三

曾根(勝平)書狀	宮城・曾根宛		一通	〇〇六
曾根勝平・平松弥惣太書狀	河原子村名主惣五郎宛		三通	元三
徳性院書狀	川口錫杖寺宛(明治二年)		一通	〇〇三
付高橋書狀	東北総督宛(明治二年)			
徳性院・佐藤雅右衛門・平松忠吾書狀(控)	天龜代丈助・治助・源蔵・竜治宛	九月・一〇月	三通	元七
徳性院・佐藤一之進・平松忠吾書狀	延命院・曾禰勝之進・平松右源太宛	一月	二通	元七
徳性院・佐藤・平松書狀(控)	正源寺宛	一〇月	一通	元三
平松弥惣太書狀	崑野謹司宛	三・四月	四通	元九
平松(弥惣太)書狀	山形当番宛		二通	元六
藤井・平松書狀	相馬鞆負宛	一〇月	一通	元八
宮城利久治書狀	平松弥惣太宛	三月	一通	元九
宮城芳三郎・崑野賢曹書狀	錫杖寺役僧最勝院宛	四月	一通	元九
その他書狀				
阿部吉郎兵衛書狀	崑野謹司宛	二・四月	二通	元六
(阿部)吉郎兵衛書狀	曾根勝平・平松弥惣太宛	三月	一通	元九
田麦野村兼帯名主(阿部)吉郎兵衛書狀	平松弥惣太宛	三月	一通	元〇
北目陣屋詰池田民吉照房書狀	長善院・平松弥惣太・崑野謹司宛		二通	元〇
石垣吉蔵・前内祐三郎書狀	平松忠吾・徳性院宛		一通	元〇

天童門前稻葉屋忠兵衛書狀 平松忠吾宛	一通	元三
猪野沢詰合書狀 月山寺・曾禰勝平宛 閏四月 (嘉永二年)	一通	元四
猪野沢詰合書狀 山形当番中	二通	元五
惠音書狀 大惠宛	二通	元六
円助書狀 平松弥惣太宛 卯八月	一通	元九
遠藤金兵衛書狀 徳性院・平松忠吾宛 三月	三通	元〇
大沢理右衛門書狀 宝幢寺宛 四月	一通	元三
大宿大先達外各大先達連判狀「大光院入峰ニ付」 法幢寺宛 七月	一通	元四
大宿大先達臨幸書狀(写) 法幢寺宛 一〇月	一通	元五
沖喜惣次書狀 平松弥惣太宛 一〇月	一通	元六
小山田理兵衛書狀 平松惣兵衛宛 一〇月	一通	元三
*快光書狀 宝幢寺宛 三月 (紙背) 宝幢寺書狀(下書) 問宮理左衛門宛	一通	元四
(松平忠弘陣屋役人)片桐源五兵衛書狀 宝幢寺宛 八月(天和三年)・五月(貞享)	二通	元六
片桐善左衛門書狀 平松弥現太・佐藤用藏宛五 月	一通	元七
片桐善左衛門書狀 曾禰勝之進・徳性院宛 二月	一通	元六
加藤矢吉郎知行書狀 宝幢寺宛 一月	一通	元六
*川勝三平・増戸逸平治書狀 新山寺宛 三月	一通	元九
川嶋藤兵衛威徴書狀 徳性院・佐藤一之進・平松 忠吾宛 一月	一通	元六

河原子村詰合書狀 山形当番宛 四月	四通	元九
河原子村詰合書狀 月山寺・山形詰合宛	一通	元〇
(山守河原子村)勘左衛門書狀 嶋野金次宛 巳三 月(弘化二年)	一通	元二
山口村名主義左衛門書狀 寺領庄屋佐之助宛 一月	一通	元三
山口村名主義左衛門書狀 今野権次右衛門宛 一 月	一通	元三
久太郎書狀 佐藤市之進・平松忠吾宛 三月	一通	元五
銀助書狀 徳性院宛 四月	三通	元六
橘町金蔵書狀 根野謹司宛 閏五月(弘化三年)	一通	元七
黒沢庄兵衛・吉田源五左衛門書狀 宝幢寺宛 一〇月	一通	元九
黒沢八左衛門・奥平兵太夫書狀「御廻衆下向 ニ付」 宝幢寺・光明寺・成就院宛 四月(寛文頃)	一通	元七
(白岩)花蔵院光算書狀	一通	元六
花蔵院光鋲口上「書狀」 宝幢寺院家宛 四月	一通	元五
小出信濃守(英貞力)書狀 威徳院宛 一月	一通	元七
松平下總守忠弘陣屋役人幸田七左衛門書狀 宝 幢寺宛 五月(貞享元年)	一通	元七
幸田七左衛門・片切源五兵衛書狀 宝幢寺宛 四月	一通	元七
崑野格左右書狀 月山寺宛	一通	元六
山口村崑野格左右書狀 山形当番中	一通	元九
崑野格左右書狀 曾根匡太郎宛 (嘉永二年)	一通	元〇

斎藤金石衛門惟尹書狀 宝幢寺宛	八通	元元
斎藤金石衛門惟尹書狀 德性院・佐藤一之進・平松忠吾宛 二月	一通	元四
坂本与次右衛門延清書狀 宝幢寺宛 申・酉年	五通	元〇
東根役所佐久間清太夫・宮沢助六書狀 平松惣兵衛宛 二月	一通	元四
佐藤為梁書狀 平松右源太宛 八月	一通	元四
佐藤官兵衛書狀 德性院宛 八月	一通	元四
大庄屋佐藤秀次郎書狀 德性院・佐藤雅右衛門・平松忠吾宛 丑三月	一通	元四
大庄屋佐藤秀次郎書狀 門前村名主八兵衛宛 四月	一通	元四
山口村寺領庄屋佐之助書狀 名主義左衛門宛 一月	一通	元四
北目三瓶武右衛門書狀 門前稻葉八兵衛宛 巳二月	一通	元四
実相院書狀 德性院宛 五月	一通	元七
志村万右衛門書狀 宝幢寺宛 二月	一通	元五
錫杖寺淨典書狀 大黒山宛 二月	一通	元五
(野川村)定右衛門書狀 東根郡中惣代前田寿助宛	一通	元五
上州屋佐兵衛書狀 一月	一通	元五
天童惣代丈助・治助・源蔵・竜次書狀 德性院・佐藤雅右衛門・平松忠吾宛 丑年	一三通	元五
天童惣代丈助・次助・源蔵書狀 宝幢寺宛 九月	一通	元五

天童惣代丈助・竜次・勘兵衛書狀 德性院・平松忠吾・外役人宛 九月	一通	元五
猪野沢正六書狀 宮城利久治宛	二通	元五
(猪野沢)正六書狀 畠野謹司宛	三通	元五
(猪野沢)正六書狀 当番宛 閏四月	一通	元四
北目次郎古書狀 平松弥惣太宛 一二月	一通	元五
山家村晋十郎書狀 畠野謹司宛 四・五月	二通	元五
山口新蔵書狀 門前幸内宛 一二月	一通	元三
清長院俊淳書狀 宝幢寺宛 九月	一通	元六
関口源太夫書狀 悦腫宛 八月	一通	元六
館林関口源太郎書狀 水口屋喜三郎宛	一通	元四
(秋元家中力)関口源太夫・岡谷兵八郎書狀 宝幢寺宛 五月(弘化二年カ)	一通	元三
(関口カ)源太夫書狀 宝幢寺悦腫宛	一通	元四
関口彦兵衛・室伏久左衛門書狀 德性院・竜福寺宛 一二月	一通	元五
泉蔵坊書狀 月山寺・宝積院・詰合宛	一通	元四
河原子村名主惣五郎書狀 平松弥惣太・曾根勝平宛	一通	元六
大聖院書狀 月山寺宛 三月	一通	元六
高桶太郎左衛門俊陸書狀 宝幢寺宛 三月	一通	元五
高桶安右衛門書狀 宝幢寺宛 二月	一通	元五
高橋徳左衛門・下川権右衛門書狀 宝幢寺宛 五月	一通	元六

○

(宝幢寺地中取添地絵図)

(地中家屋敷絵図)

(建物間取坪数建前模様届書雛形) 絵図入 寛政二年

横長美大

一枚 五二五

一綴 四七六

一通 四七七

愛宕社・末寺絵図

(愛宕社絵図)

多聞院寺境内之図面 今野権治右衛門・今野円吉・稲葉文右衛門 天保三年

38×38

一鋪 五三三

一枚 四七六

(山形諏訪明神社絵図カ)

101×52

一鋪 五三三

寺領田畑絵図

鯨洗村田地絵図 寺領庄屋庄次郎・次郎兵衛 宝幢寺 安永二年

55×34

二鋪 四八〇

山口村川欠之図 安永五年

一枚 四八〇

(大貳切開分絵図) 天明三年・辰(天明四年カ)

二枚 五三三

大貳給田取上地之図

一枚 四八二

(寺領灰塚村水損畑見分絵図) 文化九年

32×38

一鋪 四八〇

下条西田改図 平松忠吉元貞 文化一二年

二枚 四七三

六左衛門知行所図 上町伝六作 天保四年

一枚 四八〇

窪野目村御田畑持主改絵図 天保一四年

74×39

一鋪 四八五

元門前村三右衛門替地門松坊支配畑図

一枚 四八八

朱印地龜絵図面 北目村

(中野諸村寺領田畑入会所在図)

御朱印地川欠龜絵図面 藤内新田大石治郎吉 明治二年

(小作田畑絵図)

(水堰樋論所絵図)

一綴 四八六

一枚 四八七

一枚 四八六

一二枚 五三五

一枚 五三四

寺領山林絵図

五箇所山林

*寺領五箇所山林絵図面(写共) 黒屋敷馬・山田久弥 寶幢寺宛 慶安二年一〇月 奥書寄進状共

一卷 三七四

*山境図五ヶ所分 佐野理左衛門・白石作左衛門 慶安二年

六枚 四九六

(五箇所山林龜絵図)

65×143

一鋪 五三六

(寺領五ヶ所山境目図)

二枚 四七六

(寺領五ヶ所山所在図)

72×58

一鋪 四七九

貫津村三ヶ所古絵図 慶安二年一〇月

二枚 四七九

愛宕山

(愛宕山南面山・北裏山図面控) 文化六年

45×33

二鋪 四八二

愛宕山南面山・北裏山図

57×69

四鋪 四七二

愛宕山北裏山絵図(正扣カ)

66×82

一鋪 四七七

愛宕山南山図 寶幢寺

60×81

一鋪 四七三

(愛宕山南面山図)	一枚	四七五
(愛宕山北裏山図)	一枚	四七六
五箇所山林寄進状写付 (慶安二年)		
天童愛宕山鹿絵図	二鋪	四七七
73×85		
愛宕山平鹿絵図面 宝幢寺正控	二鋪	四七五
117×122		
117×128		
愛宕山平鹿絵図面 宝幢寺	一鋪	四七四
116×132		
(葉師山絵図下書)	一枚	四七〇
水晶山 (大和神山)		
(川原子村之内大和神山立鹿絵図面写) 寄進 文言付 白石治左衛門・佐野理左衛門 慶安二年 一〇月	五枚	四七三
64×115		
(水晶山平鹿絵図面扣) 嘉永元一二年	一鋪	四七一
64×120		
大和神山平鹿絵図面 宝幢寺	一鋪	四七一
192×253		
(水晶山境論御裁許絵図写) 嘉永四年	一鋪	四七三
274×172		
水晶山百間五寸之図 (御裁許絵図カ) (嘉永四年)	一鋪	四七三
199×170		
89×136	二鋪	四七五
(大和神山分間絵図下書共)		
59×88	一枚	四七三
水精山鹿絵図面 文久二年	一鋪	四七〇
72×143		
(水晶山図)	一鋪	四七四
89×88		
(水晶山図)	一鋪	四七五
89×88		
(水晶山附近図)	一枚	四七六
89×88		
(水晶山)川原子面・猪野沢面図	三枚	四七七

(水晶山画)

雜 絵 図

(萱葉山絵図)

(雜絵図)

高野山御影堂御膳図 中橋勘之丞写 寛延四年

神代之図 (写) 度会延良 明暦二年

書 籍

經 論 疏

作壇破壇略作法 来善房有俊
通円表白結願詞 不動護摩表白 忠軌

三宝鳥記 隆弁誌 享保元年
高野槇記 隆弁誌 正徳五年

十卷章玄談 東武舎古田智田写 天保一五年

即身義 亮弁

菩提心論 亮弁

田夫法口訣 亮長写 元禄四年写

醍醐八十条 浄円写

拔伝授△記下 浄円

密解破邪集 海旭 嘉永三年

三枚 四七八

一枚 五三七

七鋪 五二三

一枚 四六六

一枚 四二九

横半 一冊 三〇〇

軸 一卷 三〇三

半 一冊 四六五

半 板一冊 三〇六

半 板一冊 三〇六

美半 一冊 三〇三

半 一冊 三〇四

横半 一冊 三〇三

半 一冊 三〇三

一行禪師字母表 淨珊写 嘉永四年
 觀心覺夢鈔見聽記 大惠 万延二年
 起信論義記冠導記 淨珊誌
 行者平常用心集 淨珊 嘉永四年
 俱舍論私記第一 淨珊大惠 文久二年
 俱舍論極要第一十一 淨珊
 悉曇字記玄談 全 淨珊
 十地十六生私記(下書共) 淨珊艸 慶応四年
 住心品疏講演日記 淨珊講記 元治二年
 成唯識論述記玄談全 淨珊記
 成唯識論述記二惠錄 大惠 万延二年
 成唯識論述記濟日記 金剛(淨珊) 慶応三年
 諸法流傳受記 隆栄口・淨珊記
 即身成仏義記全 淨珊誌(文久三年)
 属星供行次第 淨珊
 大疏第三重第二水玉疏私記(淨珊)
 大疏第三重第三実行当機水玉私記 大惠淨珊記
 慶応元年
 大疏第三重第八轍響通関 淨珊 万延元年
 大疏優婆提舍珊誌(淨珊) 文久二年
 大疏優婆提舍第三私記(淨珊) 慶応元年
 大疏優婆提舍第九珊誌(淨珊) 文久元年

美	一冊	四〇〇
横半	一冊	三六九
半	飯一冊	四〇〇
横美半	一冊	四〇四
半	一冊	四八二
半	一二冊	三七四
半	一冊	三三三
美	飯二冊	四八三
横半四半	一冊	四八三
半	一冊	三〇〇
横半半	三冊	三三三
横美四半	一冊	三五五
半	一冊	三五七
半	一冊	三七六
18x17	一冊	三三七
半	一冊	三八一
半	一冊	五五九
横半半	一冊	三七〇
横半半	一冊	三六七
横半半	一冊	三九四
横半半	一冊	三六六

大疏優婆提舍第十私記(淨珊) 文久二年
 大日經奧疏伝受録 般若淨珊記
 大日經住心品疏科文 一一六(淨珊書込)
 大日經住心品疏玄譚(淨珊誌)
 大日經住心品疏講述(淨珊) 慶応元年
 大日經住心品疏分科全(淨珊蔵カ) 慶安三年
 天台四教儀集註講述 一一二 淨珊記
 天台四教儀集註玄談 淨珊写
 天台四教儀集註私記 大惠淨珊誌
 拔萃秘録一 淨珊編
 毘盧遮那經疏管見図記 大惠淨珊誌 元治元年
 唯識法相指記 大惠淨珊誌 文久元年
 唯識論疏鈔見聞録第二・四 般若記
 吳部宗論論衆私記 淨珊誌
 阿毘達磨俱舍論 苾芻敏純・会頭湛海 安政三年
 (具象品仏法諸相)一 敏純蔵 △天明七年
 述記遇聞録 敏純蔵 安政四年
 成唯識論述記聽聞記 敏純 安政五年
 唯識述記分科上・下 敏純
 唯識述記聞録(敏純カ) 安政五年
 論靜一五草書 最上敏純 安政四年

横半半	一冊	三八八
半	一冊	五九七
美	板六冊	三三四
半	一冊	三三九
半	一冊	三三〇
美	板一冊	三三二
半	二冊	三六九
半	一冊	三九七
半	三冊	三三三
半	一冊	三三五
半	一冊	三三二
半	六冊	三三三
半	二冊	五五九
半	一冊	三三六
横半半	二冊	三三三
横半半	一冊	五五九
横半半	四冊	三三〇
横半半	六冊	三三三
横半半	二冊	三三二
横半半	二冊	三三六
横半半	一冊	四八五

(俱舍愚聞記カ) 敵純 安政三年	横半半	二冊	三六九	成唯識論記引蒙弁 安政四年写	半	一冊	三七六
願行意教法流口決 最上阿春房有雅写 寛文四年	半	一冊	五三四	成唯識述記科判 安政四年	横半半	一冊	三五二
元六四年目夏 (寛存)	横美半	一冊	四七二	諸尊護摩鈔伝授記 実隆(乗音藏カ) 元禄八年	半	一冊	五三四
大疏第二 寛存写 寛永一八年	美半	一冊	三三九	宣明曆私記次第加	半半	一冊	三四八
机下書籍 安政二年	横半半	一冊	三五三	大集大虚空藏菩薩所問經 卷一—四	美	四冊	三五四
起信本釈二論弁全	半	一冊	三八〇	大乘起信論義記冠道口記	半	一冊	三〇二
起信論聞書・大乘起信論聞書 文化四年	横半半	二冊	四七〇	大疏第三重四ノ聞記 安政三年	横半半	一冊	三九六
(教誠語二云)	半	仮一冊	四六九	疏四 頼言 於智積院和聞書	横長半	一冊	五五五
俱舍光記要弁集	半	一冊	三七七	大疏第三重第十如意藏	半	一冊	三三二
山王講式	折本	一帖	三九四	大聖阿遮羅尊 [大聖不動講式]	折本	一帖	四七七
三宝荒神供次第 賢栄 寛永二年写	横美半	一冊	三五四	大聖觀喜天見修私記・大聖觀喜天供・見水抄下	半	一冊	三三三
四教儀集註玄叙	半	一冊	四三六	久春求・祐弁写 △延徳二年▽	半	一冊	三三三
寺号事秘 第三重五字 実賢僧正流	17×16	一冊	三三三	大聖不動經・般若心経	横半半	一冊	四六四
四座講法則	折本 10×15	板一帖	三三五	大日經教主義 (元文二年写)	半	一冊	三六四
四度聞書 ^{胎羅} 有濟 大永三年	半	一冊	四八七	大日經主義 淨典写 天保一四年	半	仮一冊	四六六
土地章	半	仮一冊	五九三	大毘盧遮那成仏神変加持經 万治三年	美	板一冊	三〇七
十二天秘供	横美半	一冊	三九五	当麻曼荼羅述授記 卷四・附録 元禄一六年	美	板一冊	三〇九
述二末 (述大疏第二重カ)	半	一冊	三〇五	知死期品不空奉詔訳経	半	一卷	五三二
常任二字口決 天文三年有寛求之	半	仮一冊	四八八	讀十卷章 香頂 慶応二年	美半	板一冊	三〇三
成唯識論述記分科第一—五 付極要義灯科 照温	横長半	四冊	三六九	都知袋 尊有	美半	一冊	四六四
貫心誌藏				八講 ^{該草} 二座為草安書 有印	横半	一冊	四六六

秘密相承諸流血脈図

普通真言藏 上

附法実録 上・下

(經論書雜書)

和漢書

阿部氏家譜

王代記 亮有 天文一七年

冠辞拔萃

墓目伝書 文化一三年

兵法秘衛卷

敬神孝・尊王忠・愛国情摩尼々々艸 水王(浄珊)記

和歌集 菅根雄心和氣(佐伯菅雄)

○

韻府一隅尾

王陽明先生伝習録 徐愛

九相詩 蘇東波・海流 享保一二年写

古詩

殊服同調集 林文翼 宝曆一四年

深窓之美人 月楼琴史

唐賢三昧家法記卷之中 宝幢寺有俊(藏) 大永八年

半 一冊 三三三

9×14 板一帖 三六六

半 二冊 三九

一〇冊 五〇四

半 一通 四七〇

半 一冊 四四三

半 一冊 三六〇

横美半 一冊 四八九

一卷 三七〇

半 一冊 五〇三

半 一冊 三六二

美半 板一冊 三六二

半 板一冊 四六六

半 板一冊 四六三

半 一冊 四六三

美 板一冊 四六九

半 一冊 三三九

半 板一冊 五九四

唐詩選卷之三

孟子卷四

緣起書

江島三社弁財天來歴 因静 寛延二年

須磨浦古跡記 文久四年

左眼御舍利縁起 乙宝寺

三河国八橋略縁記 八橋山無量寺

書画

亮長書 栄光菴

○

普賢菩薩画像 悦隨海旭頌

廿日大師御真像 高野山清浄心院

七宝莊嚴尊像 (光子内親王作)

菅原道真画像 伊勢貞丈・国芳画・有永堂蔵版

半 板一冊 五〇六〇

美半 板一綴 五〇五七

半 板一冊 三〇四一

半 板一冊 三〇四三

半 板一冊 三〇四〇

半 板一冊 三〇四四

一枚 四七一

軸 一卷 四六五

軸 一卷 四六六

軸 一卷 四六七

軸 一卷 四六八

第二部 佐伯家

神社・神道

家譜・履歴

(宝幢寺・興廃取調書) 旧宝幢寺境内役院跡寺侍戸
数朱印取調書添 明治一八年三月・四月

(佐伯菅雄履歴)

*佐伯家譜・宝幢寺興廃録 佐伯菅雄 明治五年
五月

佐伯家譜

神仏分離

別当仕候社祠之分書上 天童多聞寺有道 愛宕大神
社務役場宛 明治二年七月

条約証書 (本尊仏像末寺門中引渡) 佐伯菅雄・誓願
寺・地藏院 明治三年正月

(復飾被蒙先師画像御預ケ相成受取証書) 地藏院
佐伯役場宛 午二月 (明治三年)

(諏訪大神称呼伺書) 童福寺改 佐伯岩尾 社寺役所
宛 明治三年三月

(竜偏寺跡相統ニ付畑附与収納米金請取証書)
佐伯岩尾 佐伯菅雄宛 明治三年・四年

(御朱印箱等請取書) 小川満役人 佐伯役場宛
明治三年七月

(伝馬継立帳) 佐伯菅雄 (明治三年)

(兒子為養育米金頂戴書) 茂吉・松峯三郎
台所宛 明治三年閏一〇月

(位牌仏像等請取覚) 誓願寺・地藏院 佐伯役場
宛 明治四年三月

佐伯菅雄元家来改名御届 (控) 佐伯菅雄 山形県
役所宛 明治四年八月

(家来民籍編入婦農手本金拝受ニ付奉差上御請
証書) 龍代平松弥総太等四人 佐伯菅雄宛
明治四年一二月

(家来民籍編入御下ケ米被成下奉差上証書)
龍代森台民蔵等一五人 佐伯菅雄宛 明治四年一二月

(御法流箱入一式請取一札) 新山寺・正法寺・地
蔵院・誓願寺 佐伯役場宛 明治五年九月

(勝軍地藏尊預り証) 誓願寺 岡崎禎次郎宛
明治六年

誓願寺什宝請取証書 知真 佐伯菅雄宛 明治
六年

社寺役所指令 (愛宕社地家来・百姓神葬祭承届)
三月

山形県達 (復飾者詳細原由取調) 明治六年六月

(元威徳院相統助成一件落着ニ付差出一札写)
小自川村江口次郎兵衛 佐伯役場宛

(御影仏供米送り状) 佐伯役場 誓願寺外宛 三月

口上之覚 (招請状) 佐伯 旧譜代宛 明治一〇年

一通 四六三

一冊 四六二

一通 五六一

一通 四六三

一通 四六七

一通 四四四

一通 四四四

一通 四四九

一通 五二七

一冊 四六九

一綴 五二七

一通 五二六

一通 五二五

一通 四四三

神道伝授

(御門人ニ相成奉請教示度願書) 佐伯菅雄 武州
一宮執事所宛 明治三年四月

誓詞 佐伯菅雄 氣吹通舎大人宛 明治三年四月

(御当家御門人ニ相成神勤仕度願書) 小月川村愛宕
祭主栄城大善・玉政 天童愛宕神社執事所宛 明治三
年一〇月

誓詞 佐伯岩尾外連印 明治三年閏一〇月

(諏訪神社混淆廃止武蔵一宮氷川神社伝受ニ付
改正臨時祭執行伺書) 佐伯岩尾 県役所宛
明治三年閏一〇月

(御当家相伝之拜式等奉請教示度願書) 山形稲荷
神社吉福静兄外 明治三一六年

門人名 佐伯菅雄 (明治三年頃)

○

(皇字所設置ノ言上書) 佐伯美基(菅雄) 杜寺
役所宛 明治三年二月

告習練館学士文

祠官

愛宕神社

旧幕朱印地愛宕社領収納取調書 佐伯菅雄 租税
役所 明治三年四月

愛宕神社取調書 佐伯菅雄 山形県御役所 明治
三年二月

第二部 佐伯家 神社・神道

献上物控帳 天童愛宕社代会所 明治四年四月

天童北目村愛宕末社創立修復取調書 佐伯菅雄
山形県御役所宛 明治五年

愛宕社創立以後取調書 山形県御役所宛 明治五年

愛宕神社計入用調書 会計方 明治五年

愛宕神社由緒 新関太吉他 三島通庸宛 明治一〇年

社格昇級願 愛宕神社氏子惣代新関太吉 三島通庸宛
明治一〇年

村社愛宕神社同掌兼務辞令 呼出状共 山形県
佐伯菅雄宛 明治一二年三月

県社愛宕神社同官兼務辞令 山形県 佐伯菅雄
宛 明治一二年一月

全穀収納帳 愛宕神社 明治一三年正月

金穀貸附帳 愛宕神社 明治一三年正月

金穀出納決算帳 愛宕神社 明治一三年正月

県社経費精算帳 北目村社務所会計方佐藤今内 明治
一三・一四年

山形県羽前国東村山郡北目村鎮座県社愛宕神社
收入財産分配区分子約 佐伯菅雄外 東村山郡長
宛 明治一四年

愛宕神社共有金米貸附証券預り証 佐藤今内・
今野喜六 佐伯菅雄宛 明治一五年

請取証印簿 愛宕神社 明治一五年正月

金穀講払帳 愛宕神社社会計係 明治一五年正月

郷社愛宕神社永世敬神講規約 付拝借証文 湯
上真周美 佐伯菅雄宛 明治一〇年

横長半 一冊 三六四

半 一冊 三六四

半 一冊 三六五

横長半 一冊 三六七

半 一冊 三六七

半 一冊 三六八

二通 三六八

一通 三六九

半 一冊 三三三

半 一冊 三三三

半 一冊 三三四

半 一冊 三〇〇

八綴 三〇九

三通 三〇九

半 一冊 三三〇

半 一冊 三三三

一綴 四〇七

県社八幡神社・愛宕神社祠官辭職願書・同許可書 佐伯菅雄 山形縣知事柴原和 明治二十一年六月

県社愛宕神社ノ慰勞金下賜狀 北旨愛宕神社祠掌高橋金三郎 佐伯菅雄宛 明治二十四年四月

愛宕神社雜書類

○

配当禄公債証書御検印願 県令三島通庸宛 明治八—十四年

配当禄取調之義ニ付白書 松峰三郎外 県令三島通庸宛 明治一〇年四月

(配当禄取調ニ付山形県達) 佐伯菅雄宛 明治一—十二年

通減禄請払帳 社務所 明治二十二年七月

扶持米役料之儀ニ付上申書 県令三島通庸宛 明治二十二年二月

(配当禄公債証券金円受取証) 松田幸男 佐伯菅雄宛 明治二十三年三月

八幡神社

県社八幡神社祠官辭令・教部省御用上京辭令・呼出狀・月給辭令 届書・下書共 山形県 佐伯菅雄宛 明治六年五月

県社八幡神社取調書 愛宕神社取調書 建勲社由緒記 印役村神明宮由緒記 郷社八幡神社由緒其外取調書 明治七年九月

八幡神社境内元朱印地原由取調書 旧社人神保慎司外 佐伯菅雄宛 明治八年

八幡神社元朱印高之内宮繕料取調 旧社人神保慎司宛 明治八年七月

八幡神社領配当禄調書ノ八幡神社領御朱印之写同支配目録之写・朱印地現今伏所調書 神保慎司外 佐伯菅雄宛 明治一〇年四月

献金約定証書・公債証書并約定証書買請証券 神保慎司 佐伯菅雄宛 明治二十二年二月

金子借用証券 八幡神社氏子惣代工藤吉太郎外 佐伯菅雄宛 明治二十二年二月

県社八幡神社經費明治九年中決議定額金内訳工藤吉太郎外 氏子惣代宛 佐伯菅雄外宛 明治二十二年七月

(八幡神社宝物并書類預証) 祠掌武田真佐人年九月氏子惣代鈴木庄八 祠官佐伯菅雄宛 明治一七

(県社八幡神社雜書類)

(八幡神社書類仮請取証) 祠掌武田真佐人外元祠官佐伯菅雄宛 明治二十四年

醉川温泉神社

醉川温泉神社出仕請書綴 佐伯菅雄 明治二十一年

国史見在醉川温泉神社出仕辭令 佐伯菅雄 堀善六宛 明治二十三年八月

触頭

教憲

神官教憲 (明治五年)

三条教憲省説 (佐伯菅雄写)

規則三ヶ条略演義外 (佐伯菅雄写)

一綴 五八〇

一綴 五八一

一通 五八二

一綴 四〇六

一通 五八三

一袋 五八四

一通 五八五

一綴 三六〇

二通 五七九

一綴 五七九

一綴 五七九

一綴 五七九

(神道講義案) (佐伯菅雄) 明治元年 美半 一冊 四八元
教官差下願書 佐伯菅雄 東京山形藩参事宛 明治三年 一通 三六八

辞令・布達

神職触頭辞令 差紙共 山形県 明治四年五月 二通 三六九

村山郡神社不殘可属触下之達 山形県庁 明治五年七月・八月 二通 三九〇

管内神官触頭辞令 山形県 明治七年正月 一通 三九六

社人山形触頭回達 佐伯菅雄 明治四年八月―六年一月 七綴 四七九
一四通 四七九

村山郡神社回達組合 明治五年 半 一冊 三九四

(神官触頭廃止山形県布達同請書) 明治九年一〇月 三通 三九三

東村山郡神官触頭辞令 達書・請書共 明治一四年五月・六月 一綴 三六三

南村山郡神官触頭辞令 達書・請書共 明治一四年五月・六月 一綴 三六四

口達手覚 佐伯家神職方掛 半 一冊 三〇六

湯殿山神仏區別之儀ニ付管見 山形県・弁官 神祇官宛 午(明治三年) 半 一冊 四九一

從浦和県村々江御達書之写 浦和県庁 明治四年六月 半 一冊 五四三

神官名簿

年頭出伺著到帳 明治五年 横長半 一冊 五四五

神官名刺 横長美 一冊 五四六

神官名簿 佐伯菅雄 明治六年以降 半 一冊 三九一

除地境内取調

羽前国村山郡長瀬村日枝神社除地境内取調書 半 一冊 三七七

白水川喜代美 明治四年 半 一冊 三八八

羽前国村山郡山形城内猿田彦神社境内除地取調書 城守由多賀 明治四年 半 一冊 三八八

羽前国村山郡沼木村大鷹神社境内除地取調書 官館豊 明治四年 半 一冊 三八九

愛宕社境内除地取調書 宮城茂登女 明治四年 半 一冊 三九〇

皇太神社除地境内取調書 渡辺昇 明治四年 半 一冊 三九一

羽前国村山郡平塩村熊野大神元社領見取場屋敷畑反別書上帳 小泉多喜 明治四年 半 一冊 三九四

羽前国村山郡藤助新田天神社境内除地取調書 広橋堅磐 明治四年 半 一冊 三九七

羽前国村山郡高櫛村薬師神社境内除地取調書 真入 明治四年 半 一冊 三九八

羽前国村山郡宮崎村稻荷神社除地境内取調書 崎始 明治四年 半 一冊 三九九

羽前国村山郡下東山村水神社除地境内取調書 岡清一 明治四年 半 一冊 四〇〇

除地書上 本沢一人 山形県御役所宛 明治四年 半 一冊 四〇三

神明社除地境内取調書 中原弘 明治四年 半 一冊 四〇四

羽前国村山郡半郷村松尾神社境内除地調書 左膳 明治四年 半 一冊 四〇五

羽前国村山郡山寺村日枝神社境内除地取調書 宮城静 明治四年 半 一冊 四一〇

羽前国村山郡半郷村熊野神社境内除地調書 大野右膳 明治四年	半	一冊	三三三	元朱印除地無之届 愛宕社人蔭山安房 明治四年	半	二冊	三六六
元除地取調書上帳 木沢繁弥 明治四年	半	一冊	三四六	朱印除地無之届 觀音寺村間木野栄夫 明治四年	半	二冊	三四六
除地書上 長谷堂村八幡社長谷斎 明治四年	半	一冊	三四三	除地等無之届書 蟹沢村稻荷社水上砂中 明治四年	半	二冊	三四六
羽前国村山郡山形十日町 稻荷神社境内除地取調書 吉福静兄 明治四年	半	一冊	三四五	朱印除地無之届書 八幡社人平清水緑 明治四年	半	二冊	三四三
羽前国村山郡上野村天神社境内除地取調書 井上修蔵 明治四年	半	一冊	三四五	元朱印除地無之届 觀音寺村黒田晚稻 明治四年	半	二冊	三四三
八幡神社境内除地取調書 土屋美佐嘉 明治四年	半	一冊	三四七	(元朱印除地無之届書) 貫津稻荷社大滝保 明治四年	半	二冊	三四三
御除地反別取調書上帳 石田村寒江太神長登司 明治四年	半	一冊	三四二	(元朱印除地無之届書) 伏石村山神社渡辺一 明治四年	半	二冊	三四七
御除地反別取調書上帳 入間神社入間昇 明治四年	半	一冊	三四三	(元朱印除地等無御座届書) 小泉村熊野神社 大泉操 明治四年	半	二冊	三四七
除地取調書上帳 湯殿・月山・羽黒三山神社岩本要人 明治四年	半	一冊	三四五	(元朱印除地等無御座届書) 荒町村皇太神社 福田豊 明治四年	半	二冊	三四四
除地取調御届書 山形六日町西之宮大神・稻荷大神大原喜代治 明治四年	半	一冊	三四六	(元朱印除地等無御座届書) 大塚村新山神社 塚元宝 明治四年	半	一冊	三四五
羽前国村山郡楯西村医師神社除地境内取調書 小林千座 明治四年	半	一冊	三四二	(元朱印除地無之届書) 成沢村八幡社滝本泉 明治四年	半	二冊	三四六
御除地境内山林書上帳 熊野村熊野神社西塔主税 明治四年	半	一冊	三四三	朱印地除地無之届書 下東山水神大神社三岡清一 明治四年	半	二冊	三四八
(御除地境内山林間数取調書上帳) 宮内村山王社白岩大膳 明治四年	半	一冊	三四三	(元朱印除地等無御座届書) 中郷村二渡神社 鈴木周記 明治四年	半	二冊	三四五
朱印除地無之届書 荒木正 山形県御役所 明治四年	半	二冊	三四四	(元朱印除地等無御座届書) 沢渡村春日大神 安達正子 明治四年	半	二冊	三四六

善 明治四年	根際村白山神社 柴灯秀	半	二冊	五二四
(元朱印除地等無御座届書)				
(元朱印除地等無御座届書)	野川村日月社 向原東	半	二冊	五二五
明治四年				
(元朱印除地無御座届書)	後沢村儀満神社後沢和太	半	二冊	五二六
明治四年				
(元朱印除地等無御座届書)	藏増村八幡社藏増宝	半	二冊	五二七
明治四年				
(元朱印除地等無御座届書)	山寺村日枝神社 宮城靜	半	二冊	五二八
明治四年				
(除地并朱印地等所持不仕届書)	柏倉村八幡社土屋	半	二冊	五二九
美佐嘉 明治四年				
(御朱印除地無御座届書)	嶋大堀村福慶大神大嶋右近	半	一冊	五三〇
明治四年				
現収納取調				
社寺領鄉村高其外取調帳(雛形) (明治四年)		美	仮一冊	三六元
羽前国村山郡高橋村八幡社領除地鄉村現収納取調帳 鎌倉元 明治四年		半	一冊	三六一
羽前国村山郡山形熊野社領鄉村高現収納取調書 最上多喜 明治四年		半	一冊	三六三
元御朱印高反別取調書上帳 村山郡貴見村林九郎兵衛 明治四年		半	一冊	三六二
羽前国村山郡中野村中野薰領鄉村高現収納取調書 中野薰 明治四年		半	一冊	三五五
社家元朱印地収納明細書上帳 村山郡石川村三好嘉和子 明治四年		半	一冊	三三〇
元朱印地物成六ヶ年平均取調書上帳 村山郡橋西村千原弥左衛門 明治四年		半	一冊	三四元

御除地収納米六ヶ年平均取調書上帳 宮本大善 明治四年		半	一冊	三四七
御除地収納米六ヶ年平均取調書上帳 溝延村安孫子登 明治四年		半	一冊	三四八
御除地収納米六ヶ年平均取調書上帳 溝延村淵大兼 明治四年		半	一冊	三四九
鹿島社領元朱印収納明細書上帳 村山郡石川村石川乘元 明治四年		半	一冊	三四〇
元御朱印地収納米六ヶ年平均取調書上帳 村山郡橋西村山学 明治四年		半	一冊	三四二
元朱印地収納米兼六ヶ年平均取調書上帳 村山郡橋西村荒神社小林重人 明治四年		半	一冊	三四三
元朱印地立附米取調書上帳 村山郡米沢村渡辺彦右衛門 明治四年		半	一冊	三四三
羽前国村山郡小白川村愛宕神社除地高其外取調書 栄城大善 明治四年		半	一冊	三四七
羽前国村山郡東根村若宮八幡宮社除地黒印地境内并六ヶ年平均取調書 田嶋玉穂 明治四年		半	一冊	三四元
元御除地反別取調書上帳 村山郡善沢村川越源内 明治四年		半	一冊	三四〇
元御朱印収納六ヶ年平均取調書上帳 村山郡橋北村柿本音人 明治四年		半	一冊	三四四
元除地反別立附米取調書上帳 村山郡青柳村大場勝次 明治四年		半	一冊	三四六
元御除地反別取調書上帳 村山郡善沢村安孫子季賢 明治四年		半	一冊	三四七
元御朱印地高反別取調書上帳 村山郡善沢村佐藤良善 明治四年		半	一冊	三四八

羽前国村山郡前田村熊野社除地并六ヶ年平均書上帳 前田保 明治四年	半	一冊	三三〇	元御朱印高反別取調書上帳 村山郡黒森村松田彦作 明治四年	半	一冊	三三〇
元御除地反別其外取調書上帳 村山郡小見村小原鼎 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別立附米取調書上帳 村山郡吉川村高橋清水 明治四年	半	一冊	三三〇
元御朱印地高反別立附米取調書上帳 村山郡吉川村吉川右膳 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別取調書上帳 村山郡谷沢村川越助次郎 明治四年	半	一冊	三三〇
社家領元朱印地収納明細書上帳 村山郡君田町村月沢泉 明治四年	半	一冊	三三六	元御除地反別取調書上帳 村山郡善沢村加藤謙三 明治四年	半	一冊	三三〇
元朱印収納六ヶ年平均取調書上帳 村山郡榎南村柿本互 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別立附米取調書上帳 村山郡吉川村和田新九郎 明治四年	半	一冊	三三〇
元御朱印地収納米六ヶ年平均取調書上帳 村山郡榎西村柿本昇 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別取調書上帳 村山郡吉川村工藤藤兵衛 明治四年	半	一冊	三三〇
元除地立附米取調書上帳 村山郡半沢村工藤八之助 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地立附米取調書上帳 村山郡吉川村笹嶋左衛門太郎 明治四年	半	一冊	三三〇
葉山社領元朱印収納明細書上帳 村山郡石川村石川常人 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別取調書上帳 村山郡入園村小山神若鷹野宮部 明治四年	半	一冊	三三〇
羽前国村山郡山形八日町日枝神社領郷村高現収取調帳 中館政喜 明治四年	半	一冊	三三六	元御除地反別取調書上帳 加藤嘉兵衛 明治四年	半	一冊	三三〇
元御朱印地立附米取調書上帳 高橋助兵衛 明治四年	半	一冊	三三六	元御朱印地高反別取米取調書上帳 村山郡青柳村熊山藤太 明治四年	半	一冊	三三〇
除地反別小作米取調帳 村山郡沼山村荒木左京 明治四年	半	一冊	三三六	羽前国村山郡東根村若宮八幡神社黒印地境内并六ヶ年平均取調書 田嶋玉穂 明治四年	半	一冊	三三〇
御除地反別取調書上帳 村山郡兵助新田益田神社人間昇 明治四年	半	一冊	三三六	羽前国村山郡平塩村熊野大神社領郷村高其外取調帳 大江豊外 明治四年	半	一冊	三三〇
元御朱印地高反別取調書上帳 村山郡善沢村奈良崎内藏 明治四年	半	一冊	三三六	(元朱印収納六ヶ年平均取調書上) 榎北村稻荷社柿本音人 明治四年	半	一冊	三三〇
元朱印地高反別小作米取調帳 長沢右膳 明治四年	半	一冊	三三六	(元除地現収納巨細取調書上) 榎北村柿本音人 明治四年	半	一冊	三三〇

元御朱印地高反別立附米取調書上帳 吉川村新山社
鎮荒木右衛門四郎 明治四年

(元朱印收納六ヶ年平均取調書上) 榎北村竹内寒
上 明治四年

(元朱印收納六ヶ年平均巨細書上) 諏訪社領榎北村泉
市之丞 明治四年

(元朱印地境内反別收納米六ヶ年平均書上直シ
添印難成趣ニ付伺書) 平埴村熊野大神湖池明 明治
四年

(元朱印地江收納六ヶ年平均可致儀小作人召出
利解被仰付度願書) 榎西村月山社千田礒水 明治
四年

(六ヶ年平均調帳御直し願書) 北目村・奈良沢村
明治四年

社領・家来取調

(社領高家来給禄高取調届書雛形) (明治四年)

社人家来給禄高并勤年数取調書 山形六日町熊野大神
最上多喜 明治四年

元家来有無取調書 大沼村浮島稻荷最上広武 明治
四年

(配分并給禄高書上帳) 山形宮町島海・月山神社田所
半治外 明治四年

配分并給禄高書上帳 島村小森神社阿部高瀬

配分并給禄高書上帳 吉川村月山神社外高橋清水外
明治四年

配分并給禄高書上帳 大谷村白田秀直外 明治四年

(社領元朱印家来有無取調届書) 榎西村八幡大神幡倉
満江 明治四年

(社領朱墨印家来有無取調届書) 中野村中野薫外
明治四年

(社領朱墨印家来有無取調届書) 触頭宛 明治四
年

(社領朱墨印家来無御座届書) 佐伯菅雄・神保吉
人宛 明治四年

神事式取調

大嘗会神事式取調書 吉福静兄 明治四年

大嘗会神事式 西塔清 明治四年

大嘗会神事実上 蔭山安房 明治四年

天童愛宕末社原町村鎮座八幡社祭式 鈴木佐中
外 明治四年

羽前国村山郡山形城御本丸愛宕神社当月十七日
神事式 宮城秀男 明治四年

大嘗会御神事式取調帳 松橋村若宮八幡宮城直幸
明治四年

大嘗会御神事式取調帳 新町村熊野大神堀口章 明治
四年

大嘗会祭式取調書上帳 宮本勉 明治四年

大嘗会ニ付神事式調 沼木村大蔵大神宮館豊 明治五
年

羽前国村山郡遠賀神社当月十七日神事式 若木
常磐 明治四年

羽前国村山郡東根村若宮八幡宮当月十七日神事
式 田嶋玉穂 明治四年

大嘗会神事式書上	諏訪町熊野大神社人前田保	明治四年	半	一冊	三〇五
神事式取調書	八幡神社大谷十治郎	明治四年	半	一冊	三〇六
大嘗会ニ付社頭祭式	成沢八幡社人滝本正登	明治四年	半	一冊	三〇七
祭式取調書	大谷宮八幡白田安幸	明治四年	半	一冊	三〇八
神事式取調書上帳	大谷白山姫神社小野雄志麻	明治四年	半	一冊	三〇九
神事式取調書	二渡神社白田安直	明治四年	半	一冊	三一〇
神事取調書	秋草神社鈴木清志	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗会・豊明節会神事式取調書	熊野神社竹内賀和見	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗会・豊明節会神事式調書	医業神社渡井直人	明治四年	半	一冊	三一〇
上 祭式御届書	稻荷神社柿本音人	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗会祭式書上	神明宮菅井暹	明治四年	半	一冊	三一〇
上 祭式御届書	薬医大神千原鉄弥	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗会御神事奉書上候	雷神社人金井三好	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗会御神事奉書上候	如田嶺社人井上光永	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗祭神事式	下宝沢神宝藤吉	明治四年	半	一冊	三一〇
大嘗祭神事式	妙見寺熊野鈴木六郎	明治四年	半	一冊	三一〇
羽前国村山郡遠賀神社当月十七日神事式	若木常磐	明治四年	美	一冊	三一〇
大嘗会略祭式	大慶大神宮館豊	明治五年	半	一冊	三〇九
神拜式書上帳	谷沢天満社人奈良崎桂	明治四年	半	一冊	三〇九
神拜式書上帳	谷沢天満社人佐藤伝四郎	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	谷沢國神社人川越武太	明治四年	半	一冊	三〇九
神拜式書上帳	谷沢白山社人佐藤良吉	明治四年	半	一冊	三〇九
神拜式書上帳	谷沢新山社人加藤謙三	明治四年	半	一冊	三〇九
神拜式書上帳	谷沢小塩社人安孫子秀賢	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗神事式書上帳	沢口御嶺社人最上宝	明治四年	半	一冊	三〇九
神祭式	水沢金山神社最上元一	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	水沢金山神社大滝蓮見	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	水沢愛宕社人和田豊	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	水沢抱松神社近松静	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	水沢月山神社大江翠	明治四年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事式	長瀬日枝大神白水川喜代美	明治五年	半	一冊	三〇九
大嘗会式	宮崎村八幡社神崎始	明治五年	半	一冊	三〇九
大嘗会神事略式取調帳	西里村天満宮社人江端忍	明治四年	半	一冊	三〇九

大嘗会御神事略式取調帳 明治四年	西星村西所神社和田勇	半	一冊	三〇九
大嘗会・豊明節会神事式取調書 田長五郎 明治四年	本橋村八坂神社高	半	一冊	三二〇
大嘗会御祭勳行御届奉申上候 操 明治四年	小泉村熊野大神大泉	半	一冊	三二一
大嘗会神事式 間沢村秋場多茂津	明治四年	半	一冊	三三三
大嘗会神事式 間沢村池上三郎	明治四年	半	一冊	三三三
大嘗会神事式 間沢村宝沢直	明治四年	半	一冊	三三四
大嘗会神事式書上 下東山村山神社人渡辺一	明治四年	半	一冊	三三五
大嘗祭御届 青柳村大里神社大場勝治	明治四年	半	一冊	三三六
大嘗祭御届 青柳村熊野神社林崎清須	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗祭御届書 林茂		半	一冊	三三八
大嘗祭神事式 船町村宮本常盤	明治四年	半	一冊	三三九
石川村鎮座鹿嶋神社祭式 寒河江石川乘元	明治四年	半	一冊	三三〇
大嘗会祭勳行式 君田町月沢元雄	明治四年	半	一冊	三三一
大嘗会御神事取調帳 堀口章	明治四年	半	一冊	三三三
大嘗会御神事略式取調帳 宮城直幸	明治四年	半	一冊	三三三
大嘗会・豊明節会神事式取調書 明治四年	竹内賀和見	半	一冊	三三四
大嘗会・豊明節会神事式調書 渡井直人	明治四年	半	一冊	三三五

大嘗会稻荷大神於社頭相勤い神事祭式 人 明治四年	柿本音	半	一冊	三三六
大嘗会祭式書上 菅井暹	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗会・豊明節会神事式取調書 明治四年	小林千座 明	半	一冊	三三八
大嘗会薬医大神於社頭相勤い神事祭式 弥 明治四年	千原鉄	半	一冊	三三九
大嘗会・豊明節会取調奉書上 明治四年	山本佐奈多 明	半	一冊	三三〇
大嘗会新山太神於社頭相勤い神事祭式 大嘗月山大神於社頭相勤い神事祭式	柿本束 千田碑水	半	一冊	三三一
大嘗会ニ付荒神社頭ニ於テ神事相勤祭式 重人 明治四年	小林	半	一冊	三三二
祭式調書 大沼村最上広武	明治四年	半	一冊	三三三
神事式取調書 白田安寿	明治四年	半	一冊	三三三
御祭書 渡辺則水	明治四年	半	一冊	三三三
熊野神社祭式 本沢一人	明治四年	半	一冊	三三七
祭式御届書 柿本束	明治四年	半	一冊	三三六
大嘗会祭式 滝本正登	明治四年	半	一冊	三三九
大嘗会神事書上 土屋美佐嘉	明治四年	半	一冊	三三〇
神拜式書上帳 大谷常盤	明治四年	半	一冊	三三四
大嘗会祭式 半郷村金峰志津尾	明治四年	半	一冊	三三三
御祭書 渡辺則水	明治四年	半	一冊	三三三
熊野神社祭式 本沢一人	明治四年	半	一冊	三三四

大嘗会祭式	金峰志津尾	明治四年	半	一冊	三三
祭式調書	最上広武	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会ニ付荒神社ニ於テ神事相勸祭式	小林重人	明治四年	半	一冊	三三
上 祭式御届書	柿本昇	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	白山正雄	明治四年	半	一冊	三三
速神社祭式	箭柏茂美	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	新宮豊	明治四年	半	一冊	三三
神事式取調書上帳	川村真須美	明治四年	半	一冊	三三
神事式取調書	浜田直良	明治四年	半	一冊	三三
大嘗神事式	蔵増宝	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	山野大通昌賢	明治四年	半	一冊	三三
神事取調書	白田惣五郎	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会祭勤行式御届奉申上	三好音千代	明治四年	半	一冊	三三
神祭式	白田豊津	明治五年	半	一冊	三三
大嘗会豊明節会執行神事式奉書上	宮城静	明治四年	半	一冊	三三
神祭式	松本弥重郎	明治五年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	神宝藤吾	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式取調書	上宝沢宝崎吉雄	明治四年	半	一冊	三三
速神社祭式	箭柏茂美	明治四年	半	一冊	三三

八幡神社祭式	長谷修堅	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	高橋清水	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	新宮豊	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	笹嶋正斎	明治四年	半	一冊	三三
神祭式	松本弥重郎	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神祭式	城守由多賀	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式取調書	吉福静兄	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会御祭式	中館政喜	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事書上	蔭山安秀	明治四年	半	一冊	三三
羽前国村山郡東根村若宮八幡宮当月十七日神事	田嶋玉穂	明治四年	半	一冊	三三
神事式取調書上帳	小野雄志麻	明治四年	半	一冊	三三
祭式取調書	白田安幸	明治四年	半	一冊	三三
神事式取調書	大谷十治郎	明治四年	半	一冊	三三
神事式取調書	白田秀直	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式	中原弘	明治四年	半	一冊	三三
神事取調	後沢実埜里	明治四年	半	一冊	三三
神事取調	安達砂	明治四年	半	一冊	三三
神事式	大滝保	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会・豊明節会取調奉書上	山本佐奈多	明治四年	半	一冊	三三
大嘗会神事式書上	前田保	明治四年	半	一冊	三三
大嘗祭式	山形鉄炮町八幡社中		半	一冊	三三

南館村神明社大嘗祭式	前田久爾雄	明治四年	半	一冊	三六
祭式調書	最上多喜	明治四年	半	一冊	三七
上 祭式御届書	千田礪水	明治四年	半	一冊	三八
大嘗祭神事式	白水川喜代美	明治五年	半	一冊	三九
大嘗祭式	水上清見	明治五年	半	二冊	四〇
大嘗祭式	神崎始	明治五年	半	一冊	四一
大嘗会神事式	白山正雄	明治四年	半	一冊	四二
神事取調	黒田晚稻	明治四年	半	一冊	四三
神事取調	間木野柴夫	明治四年	半	一冊	四四
大嘗祭御届書	鷹野宮部	明治四年	半	一冊	四五
大嘗祭祀御届書	入間昇	明治四年	半	一冊	四六
大嘗祭祀御届書	長登廉	明治四年	半	一冊	四七
大嘗祭神事式	栄城喜平	明治四年	半	一冊	四八
二渡大神社大嘗会神事式	鈴木開	明治五年	半	一冊	四九
大嘗会御祭勤行式御届奉申上	宮本勇	明治四年	半	一冊	五〇
大嘗会御祭勤行式御届奉申上	淵大兼	明治四年	半	一冊	五一
大嘗会御祭勤行式御届奉申上	安孫子登	明治四年	半	一冊	五二
嶋村鎮座小森神社祭式	阿部高瀬	明治四年	半	一冊	五三
小見村鎮座熊野神社祭式	小原鼎	明治四年	半	一冊	五四
羽前国村山郡中野村子守神社大嘗神事調帳	中野董	明治四年	半	一冊	五五

羽前国村山郡藤助新田菅原大神十一月十七日神事式	唐橋真澄	明治四年	半	一冊	五六
神事取調	向原東	明治四年	半	一冊	五七
羽前国村山郡稻荷神社大嘗会祭式	太田鈴賀	明治四年	半	一冊	五八
大嘗会神事式	工藤豊次郎	明治四年	半	一冊	五九
大嘗会神事式	高橋涉	明治四年	半	一冊	六〇
大嘗神事式	蔵増宝	明治四年	半	一冊	六一
大嘗祭御届	松田彦作	明治四年	半	一冊	六二
大嘗祭神事式	中川有競	明治四年	半	一冊	六三
大嘗祭奉行式	柴燈秀善	明治四年	半	一冊	六四
大嘗祭神事式	塚元宝内	明治四年	半	一冊	六五
大嘗会神事式	菊地森家	明治四年	半	一冊	六六
大嘗会神事式	長沢遠留	明治四年	半	一冊	六七
大嘗会神事式	荒木隼瀬	明治四年	半	一冊	六八
神事式取調書	白田安寿	明治四年	半	一冊	六九
神事取調書	白田惣五郎	明治四年	半	一冊	七〇
神祭式	白田豊津	明治四年	半	一冊	七一
大嘗会祭勤行式御届奉申上	三好首千代	明治四年	半	一冊	七二
石川村鎮座鹿嶋神社祭式	石川乗元	明治四年	半	一冊	七三
大嘗会祭勤行式御届奉申上	月沢元雄	明治四年	半	一冊	七四

(大嘗祭豊明節会祭典式)	西山磐根	明治四年	半	一冊	三三五
羽前国村山郡稻荷社大嘗会式	渡辺昇	明治四年	半	一冊	三三六
羽前国村山郡高橋村薬師神社大嘗会祭式調帳 齋藤直人 明治四年			半	一冊	三三七
羽前国村山郡高橋村八幡神社大嘗会祭式調帳 鎌倉元 明治四年			半	一冊	三三八
大嘗会神事式	工藤栄	明治四年	半	一冊	三三九
大嘗会神事式	荒木正志	明治四年	半	一冊	三四〇
神事式取調書	浜田直良	明治四年	半	一冊	三四一
神事式取調書上帳	川村直須美	明治四年	半	一冊	三四二
神事取調書	大谷村秋葉神社鈴木喜代志	明治四年	半	一冊	三四三
大嘗会神事式	熊野村熊野神社西塔満	明治四年	半	一冊	三四四
大嘗会神事式	平塩村熊野太神湖池千葉多	明治四年	半	一冊	三四五
大嘗会神事式	山野辺村三島社人大通昌賢	明治四年	半	一冊	三四六
大嘗祭神事式	妙見寺村熊野太神鈴木六郎	明治四年	半	一冊	三四七
大嘗会御神事奉書上帳	宝沢村雷神社人金井三好	明治四年	半	一冊	三四八
大嘗会御神事奉書上帳	宝沢村刈田嶺神社井上光永	明治四年	半	一冊	三四九

熊野神社勤行式取調書上帳	高尾村熊野神社 武田速水	明治四年	美	一冊	三四〇
大嘗会御祭勤行式御届書	吉川村新山神社堀米新九郎	明治五年	半	一冊	三四一
大嘗祭神事式	半郷村熊野太神 大野栄城	明治四年	半	一冊	三四二
神事式取調書	樺西村八幡太神幡倉満江	明治四年	半	一冊	三四三
大嘗会神事式	深堀村稻荷社人渡辺宮人		半	一冊	三四四
大嘗会神事式	淡江村東海林肇	明治四年	半	一冊	三四五
羽前国村山郡高尾村鎮座熊野神社広前勤行式 熊野神社 武田速水	明治四年		半	一冊	三四六
天満天神社祭式取調書	大谷村白田秀直	明治四年	半	一冊	三四七
大嘗祭神事式	半郷村熊野太神社 大野栄城	明治四年	半	一冊	三四八
大嘗会神事式	山野辺和田宥林	明治四年	半	一冊	三四九
大嘗会神事式	大寺村日枝社樋口十良	明治四年	半	一冊	三五〇
大嘗会神事式	吉川村新山高橋涉	明治四年	半	一冊	三五五
大嘗会神事式	吉川村月山神社高橋清水	明治四年	半	一冊	三五三
大嘗会神事式	吉川村十二神神社工藤豊次郎	明治四年	半	一冊	三五五
神事式取調書	谷地荒町神明社福田豊	明治四年	半	一冊	三五四

大嘗会神事式	小白川村愛宕大神 栄城喜平	明治四年	半	一冊	三三五
二渡神社大嘗会神事式	中郷村社人 鈴木間	明治五年	半	一冊	三三七
大嘗祭神事式	東根村若宮大神社 三浦千秋	明治五年	半	一冊	三三五
大嘗会取調書	石川村石川常人	明治四年	半	一冊	三三九
大嘗会取調書	樺北村伊藤昇	明治四年	半	一冊	三三〇
神事式取調書	樺西村八幡大神社 幡倉満江	明治四年	半	一冊	三三二
稻荷社大嘗会式	高根村渡辺昇	明治四年	半	一冊	三三三
(大嘗会神事式)	東山村水神社 三岡清一		半	一冊	三三三
大嘗会神事式	深堀村稻荷社 渡辺宮人	明治四年	半	一冊	三三六
大嘗会神事式	淡江村東海林肇	明治四年	半	一冊	三三六
大嘗会御祭勤行式御届書	吉川村新山神社 堀米新九郎	明治五年	半	一冊	三三六
神事式御届書	田井村白山神社 神田水穂		半	一冊	三三七
大嘗祭神事式	東根村若宮八幡 三浦千秋	明治四年	半	一冊	三三六
(大嘗祭神事式)	下東山村水神社 三岡清一		半	一冊	三三九
大嘗会取調書	石川村石川常人	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗会神事式	山野辺村熊登神社和田有林	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗会取調書	樺北村伊藤昇	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗会神事式	大寺村日枝社人樋口十良	明治四年	半	一冊	三三七
大嘗会神事式	天童愛宕末社貫津村鎮座熊野社祭式	荒沢六郎	半	一冊	三四〇
大嘗会神事式	天童愛宕末社貫津村鎮座羽黒社祭式	荒沢六郎	半	一冊	三四三
大嘗会神事式	天童愛宕末社川原子村鎮座大和神社祭式	松峯三郎	半	一冊	三四三
大嘗会神事式	神拜式書上帳	谷沢村天満社人佐藤伝四郎	明治四年	半	三四七
大嘗会神事式	祭式調書	山形六日町熊野神社最上多喜	明治四年	半	三四七
大嘗会神事式	神拜式書上帳	谷沢村天満社人奈良崎隆	明治四年	半	三四七
大嘗会神事式	神拜式書上帳	谷沢村白山社人佐藤良善	明治四年	半	三四八
大嘗会神事式	神拜式書上帳	谷沢村小塩社人安孫子秀賢	明治四年	半	三四九
大嘗会神事式	大嘗会神事式	谷沢村國神社川越武太		半	三四九
大嘗会神事式	神拜式書上帳	谷沢村熊野・稻荷社人大谷常盤		半	三四九
大嘗会神事式	大嘗会神事式書上	村山郡柏倉村土屋美佐嘉	明治四年	半	三四九
大嘗祭神事式	大嘗祭神事式	村山郡小白川村天満神社小川満	明治四年	半	三四九
(大嘗会神事式取調帳)	宮町面所社人宮本鈴賀外		半	一冊	三四九
大嘗会・豊明節会神事式取調書	村山郡樺西村医師		半	一冊	三四九
神社小林千座	明治四年		半	一冊	三四九

(大嘗会神事式取調書)	月山大神社人柿本昇	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗祭神事式	村山郡小白川村天満天神小川満	明治四年	半	一冊	三五四
神事式取調書	村山郡大谷村三渡神社白田安直	明治四年	半	一冊	三五四
神事式取調書	谷地荒町村神明社人福田豊	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗会祭式取調書上帳	大町村上組奉仕社人宮本勉	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗会神事式	村山郡米沢村三嶋神社渡辺彦磨	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗会神事式	村山郡宮内村山王大神社人白石満	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗会神事式	村山郡八鏡村鹿島神社菊池森家	明治四年	半	一冊	三五六
大嘗会神事式	村山郡柴橋羽黒神社木沢繁弥	明治四年	半	一冊	三五六
神拜式書上帳	谷沢村新山社人加藤謙三	明治四年	半	一冊	三五六
創立修復取調					
羽前国村山郡山形第二区八日町日枝社創立修復御届書	中館政喜	明治六年	美	一冊	三五四
羽前国村山郡大沼村稻荷社創立修復御届書	最上盛江	明治五年	美	一冊	三五四
荻田嶺神社創立并造営届書	井上光永	明治五年	半	一冊	三五六
羽前国村山郡山形鉄炮町八幡社取調書	神保吉人・宮館多志	明治五年	半	一冊	三五六
羽前国村山郡第九区七番成沢村八幡神社創立并修復御届書	滝本正登	明治五年	半	一冊	三五六
羽前国村山郡山形宮町月山神社取調書上帳	大物忌神社 宮本鈴賀		半	一冊	三五六
羽前国村山郡下宝沢村加茂社取調書	金井三好	明治五年	半	一冊	三五六
荒木神社創立修復御届書	日野常磐	明治五年	半	一冊	三五六
山形郭内猿田神社取調書上帳	城守由多賀	明治五年	半	一冊	三五六
八幡神社取調書上帳	土屋美佐嘉	明治五年	半	一冊	三五六
荻田嶺神社創立并造営届書	金峰志津尾	明治五年	半	一冊	三五六
神明社創立修復御届書	武田久爾雄	明治五年	半	一冊	三五六
愛宕社創立修復御届書	栄城喜平	明治五年	半	一冊	三五六
加茂神社創立并修復御届書	森谷盛	明治五年	半	一冊	三五六
神明社取調書上帳	宮本鈴賀外	明治五年	半	一冊	三五六
官費創立神社書上	東根村若宮八幡宮田嶋玉穂外	明治五年	半	一冊	三五六
熊野社創立修復御届書	最上多喜	明治五年	半	一冊	三五六
松尾社取調書	半郷村金峰志津尾	明治五年	半	一冊	三五六
神社并社人取調書上帳	寺津村大友要人	明治五年	半	一冊	三五六

神社銘細取調上帳	中野村新田舎人	明治五年	半	一冊	三六三
神社取調并社人書上帳	成安村近藤庄三郎	明治五年	半	一冊	三六六
神社并姓名御届書	飯田村飯田盛	明治五年	半	一冊	三六二
神社取調并姓名御届書	切通得山富丸	明治五年	半	一冊	三四四
神社取調并姓名奉書上	上宮脇村八幡岩賀	明治五年	半	一冊	三四元
神社并姓名書上	藤原永照	明治五年	半	一冊	三四六
神社并姓名届書	土生田村生田茂	明治五年	半	一冊	三四三
山形県管轄第三十三区神社録	坂本磐戸	明治五年	半	一冊	三四元
神社取調并姓名御届書	上山新町武永昇	明治六年	半	一冊	三四五
神社取調并姓名奉書上	京極志計幾	明治五年	半	一冊	三四三
神社并社人記立書上帳	吉田村吉村清水	明治五年	半	一冊	三四五
神社并姓名書上帳	土生田村生田豊	明治五年	半	一冊	三四四
富士神社取調帳	灰塚村富田真澄	明治五年	半	一冊	三四五
神社并姓名書上帳	野黒沢村三浦愛之輔	明治五年	半	一冊	三四元
神社取調并姓名御届書	高野村高野彦太	明治五年	半	一冊	三四五
神社并社人家筋書上帳	湯野沢村宮崎栄	明治五年	半	一冊	三四六
神社并社人家筋書上帳	湯野沢村熊谷昇	明治五年	半	一冊	三四元

琴平社取調書上帳	天童小路町柴野金	明治五年	半	一冊	三四一
神社并社人家筋書上帳	樽石村松本勝児	明治五年	半	一冊	三四三
延沢村社記并姓名書上・延沢村八幡社宝物銘取調外	延沢涉	明治五年	半	一綴	三四三
神社并社人家筋書上帳	大久保村大久保清美	明治五年	半	一冊	三四四
(神社取調并姓名書上帳)	左沢大利雅男外	明治五年	半	一綴	三四五
神社取調并姓名御届書	金谷村金峯吉見	明治五年	半	一冊	三四八
苅田嶺神社取調書上書	金峯吉見	明治五年	半	一冊	三四九
皇太神社取調帳	大清水村三ツ井右京	明治五年	半	一冊	三四〇
神社取調并姓名御届書	阿弥陀地村之内塩崎塩崎常磐	明治五年	半	一冊	三四元
神社取調并姓名御届書	細谷村細谷三芳	明治五年	半	一冊	三四〇
神社取調并姓名奉書上	上関根沢関根常雄	明治五年	半	一冊	三四二
神社取調并姓名奉書上	新丁両所多門	明治五年	半	一冊	三四三
神社取調并姓名御届書	野井沢湯上真周美	明治五年	半	一冊	三四三
神社取調并姓名奉書上	湯町水上大江	明治五年	半	一冊	三四四
神社取調并社人書上牒	関根村神寶社葦俊尾	明治五年	半	一冊	三四五

神社并姓名上帳	岩井進	明治五年	半	一冊	三六
神社号并姓名取調書	神町村若木神社日野常磐	明治五年	半	一冊	三六
日枝神社取調帳	寺津村穗波喜代美	明治五年	半	一冊	三六
神社并取調姓名書上帳	上山裏町蔵田美津磨	明治五年	半	一冊	三五〇
神社明細帳	慈恩寺村宮田東磨	明治六年	半	一冊	三三
神社取調并姓名奉書上	新丁阿部外記	明治五年	半	一冊	三三
神社并姓名御届書	土生田村遠藤司	明治五年	半	一冊	三五四
神社并姓名書上帳	大高里見外	明治五年	半	一冊	三五五
神社并姓名書上帳	名木沢村名木桼守衛	明治五年	半	一冊	三五三
神社并姓名書上帳	鷹巣村阿部源内	明治五年	半	一冊	三五七
建敷社微細調書	三石久・斉藤太	明治五年	半	一冊	三五九
神社取調并姓名書上帳	上山宮崎村鈴木多喜麻	明治五年	半	一綴	三五二
神社取調并姓名奉書上	北町之内四ッ谷布川衛門	明治五年	半	一冊	三五三
神社并姓名書上帳	大石田村太田登	明治五年	半	一冊	三五四
神社并姓名書上帳	寺内村広瀬左膳	明治五年	半	一冊	三五八
神社取調并姓名御届書	川口村千葉喜代美	明治五年	半	一冊	三五九
神社調書并姓名書上帳	上山新・大高勇	明治六年	半	一冊	三五〇
神社書上帳	灰塚村若宮八幡蓮沼渡	明治六年	半	一冊	三五二
第三拾区神社姓名御届書 橋岡・湯野沢・櫛山・林崎・大庭金沢東外 明治五年					
神職調書	近藤登	明治五年	半	一冊	三六〇
その他取調					
(羽前国村山郡神社祭神大祭神社祭日社人取調帳) 佐伯菅雄宛 明治四年五月一〇月					
第四大区小二区・小三区・小四区神社取調記			半	一冊	三五三
正蔵村御所神社由緒書	宮原司	明治五年	半	一冊	三五三
神社縁起書上帳	荻田嶺神社金峯吉見外	明治六年	半	一綴	三五五
若木神社由緒	龜絵図添 神町村日野常磐	明治七年	半	一冊	三五五
稻荷神社由緒取調書	大沼村	明治七年	半	一冊	三五六
神社々人取調書	水神社渡辺一他 三瓶倭歌夫外宛		半	一綴	三五五
元身柄取調書	大町宮本勉 佐伯菅雄宛	明治六年	半	一冊	三五五
元身柄取調書	北口村上谷長戸	明治六年	半	一冊	三五六
元身柄御取調ニ付書上	付祭礼神事願書 湯上真岡美 佐伯菅雄外	明治六年	半	一綴	四四七
(官位旧格復飾改称取調書)	櫛北村稻荷大神柿本音人 触頭宛	明治六年	半	一冊	四四六
埋葬所記録并死亡表	大江翠外	明治六年	半	一綴	三五三
(山王権現社領元朱印写)	山形八日町日枝神人中館政喜		半	一冊	三五八
住所並履歴取調簿	第七大区三浦満記以下	明治七年	半	一綴	三五九

八二通 三五七

元朱印証文写 宮本男奈理	半	一冊	三六三
慈恩寺村神社明細録 宮田東磨・大泉亘	半	一冊	三六四
(森山美望祖先姓名目録) 鷺宮宮内信精 明治三年		一通	三六五
(寺籍取調帳雛形) 明治三年	半	一冊	三六九
(本末寺号其外明細帳雛形) 明治三年	美	一冊	三六〇
請書・願書			
(御祭式御教受ニ付御請書) 白田安寿 佐伯菅雄宛 明治四年	半	一冊	三六二
家来民籍編入御請書 小白川村愛宮社人栄城喜平外 明治四年	半	一綴	三七〇
(家内一統自身神葬祭願書) 樋西村千原鉄弥 明治四年	半	一冊	三六六
(鳥居再建伐木願書) 山形熊野社最上多喜 明治四年	半	一通	三六三
(復飾神勤御聞届ニ付御配承願書) 慈恩寺惣代宮田東磨外 明治六年		一通	三六七
祭礼神事願書 金谷村元社人金峰吉見 樺參事薄井竜之 明治六年	半	一冊	三七一
熊野神社祭礼神事奉願上 平塩村小泉多喜 明治六年	半	一冊	三四三
祭礼ニ付神事奉願上 新領好村羽黒神社元社人清野源介 明治六年	半	一冊	三五三
復飾前後官位并旧領主ノ取扱受有無書上 神町村若大神社社人日野常磐 明治六年	半	一冊	三六四

(五題ノ御趣意奉御報度建願) 平塩村建部元次外 明治六年	半	二冊	五三七
(脱教之儀ニ付出頭御猶予願書) 大谷村白田安寿 明治六年		一冊	五四二
(教導職受驗延期願書) 菅沼渡外 明治六年	半	一綴	五五四
(教導職受驗延期願) 三浦・名木野・広瀬他 明治六年	美	一冊	五六二
(教導試験追而奉請請書) 中野村新田舎人外 明治六年	半	一冊	五五五
兼帶御届書・復飾願書・祭礼願書 柳元泉外 明治五十六年	半	一綴	五六二
届 書			
職掌届 八嶽村鹿島社菊池鹿嶋 明治四年	美	一冊	五三六
(神事祭祀不取締無之様届書) 大町村八幡大神宮本讚基 明治四年	半	一冊	五四七
(雨乞御祈禱執行届書) 面所大神宮本男奈理外 明治四年	半	一冊	五四九
社地立木樫三本伐採届 山形鉄炮町八幡社中 明治四年	美	一冊	五四〇
(改印之届書) 溝延村西組宮本大善 明治四年	半	一冊	五五七
(改印之届書) 溝延村北組安孫子登 明治四年	半	一冊	五五八
(改印届書) 溝延村安孫子登 県役所宛 明治四年	半	一冊	五五三
(改印届書) 溝延村宮本大善 県役所宛 明治四年	半	一冊	五五五

(母病死届書) 成沢村滝本泉 明治四年

半 一冊 五三三

(大嘗会豊明節会愛宕大神於神前執行仕三付別紙神事取調届書) 小自川村愛宕大神栄城喜平 明治四年
県役所宛

半 一冊 五五五

(藤助新田天神社人改名届) 唐橋真澄 明治四年

一通 四四六

(年頭御礼不参届書) 明治五年

半 一綴 三九四

御届書(病氣ニ而神事相勤兼申候) 上荻野戸村宮元薫 山形県役所宛 明治五年

半 一冊 三五五

病氣届書 上野村天神社人井上修蔵 山形県御役所宛 明治五年

半 一冊 三三七

病氣届書 上野村天神社人井上修蔵 佐伯菅雄宛 明治五年

半 一冊 三七三

神職許狀無之届 上野村三滝勝江 明治五年

美 一冊 五五八

(船渡村へ入籍ニ付届書) 船渡村日月大神田原清水 明治六年

半 一冊 五五九

家督相続御届書 平塩村小泉新四郎 (明治六年)

半 一冊 三三四

(新山神社を以二社鎮守不差立様願届書) 吉田村殿島大神吉村清水 明治六年

半 一冊 五五〇

改印御届書 水沢村最上大元 明治六年

半 一冊 三三四

(小祭典出席届) 榎北村柿本音人 明治七年

一通 四四六

神道事務局

辞令

神道教導職兼補訓導補任状 教部大丞三嶋通庸 明治六年六月

一通 三七二

県内教導取締達書 大教院大教正千家尊福 同権大教正有馬頼成 佐伯菅雄・斎藤太宛 明治六年七月

一通 三七三

中教院庶務課長辞令 御請書共 佐伯菅雄宛 明治七年九月

二通 三七八

中講義兼補任状 請書共 教部省 佐伯菅雄宛 明治七年一〇月

二通 三七九

大講義兼補任状 教部省 佐伯菅雄宛 明治八年一〇月

一通 三八〇

山形県下神道事務局長辞令 大教正稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治八年一〇月

一通 三八一

(神道第壹部所管承諾書) 大教正千家尊福代理大野泰 佐伯菅雄宛 明治九年一〇月

一通 三八二

神殿建築寄附金取纏係辞令 依頼状共 神道事務局 佐伯菅雄宛 明治一〇年一〇月

三通 三八五

神殿建築金受取証 神道事務局大教正田中頼庸・稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治一〇年一二月

一通 三八六

山形神道事務局分局長猶一期担任辞令 御請書共 神道事務局 佐伯菅雄宛 明治一一年一二月

三通 三八七

権少教正補任状 御請書共 太政官 佐伯菅雄宛 明治一二年一二月

三通 三八〇

(局長担任依頼誓約) 訓導・試補・祠官等連判 佐伯菅雄宛 明治一五年正月

美 一冊 三八六

山形県村山郡神道事務局長辞令 呼出状共総裁 佐伯菅雄宛 明治一五年

二通 三八五

権中教正補任状 會長稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治一七年一〇月

二通 三八九

教義視察畿内各神道事務分局派出辞令 神道事務局 佐伯菅雄宛 明治一七年二月	一通	三六〇
山形県山形神道事務分局長辞令 菅長稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治一八年二月	一通	三六三
教義視察各県派出辞令 派出員委任之件 佐伯菅雄派出区域 一八年三月 神道菅長稲葉正邦 明治	三通	三六三
教義視察各県派出辞令委任之件 正邦 明治一八年二月 神道菅長稲葉	二通	三六三
教田会委員辞令 菅長稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治一八年二月	一通	三六四
教田会員募集各府県派出辞令 佐伯菅雄派出区域 明治一八年二月 菅長稲葉正邦 明	二通	三六五
名刺〔各県派出ノ際交換〕（明治一八・一九年）	一袋	四七二
神道視察申付辞令 菅長稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治一八年二月	一通	三六六
神道教田会株券 同会總理稲葉正邦外 佐伯菅雄宛 明治一九年二月	二枚	四七二
神道本局幹事辞令 添紙共 明治二〇年二月	三通	三六七
神道本局幹事依頼免状 神道本局・神道菅長稲葉正邦 慰勞金賞与状 佐伯菅雄宛 明治二一年四月	二通	三六八
山形神道分局長依頼解免辞令 古川豊邸力書状 添 神道菅長稲葉正邦 佐伯菅雄宛 明治二二年八月	二通	三六八
権中教正依頼免職辞令 佐伯菅雄礼状共 神道本局 佐伯菅雄宛 明治二三年二月	二通	三六八

出雲大社三等輔教辞令 千家尊福 佐伯菅雄宛 明治一三年五月	一通	三六二
山形県出雲大社一等教会所長辞令 千家尊福 佐伯菅雄宛 明治一三年一〇月	一通	三六三
中教院辞令 明治六年	一二通	四四〇
（兼補訓導拜命御届） 大教院宛 明治八年	一綴	四四三
権中教正補任辞令 大成教菅長平山省斎 佐伯広林宛 明治二三年二月	一通	五〇〇
補權訓導受書 浜田国治 神道事務局宛 明治一七年二月	一通	四四四
（神道事務上特別功勞者祭祀参拝ニ付佐伯棧子書状控） 神道本局幹事神崎一作・平岡好国宛 明治四〇年八月	一通	三六五
（特別功勞者靈祭執行關係書状） 玉串料領収証共 神道本局 佐伯菅雄遺族宛 明治四〇年八月 九月 明治八年四月	四通	五七一
規 則		
神道事務局創建大意 明治八年正月	一通	三七七
神道事務局章程大要	一通	三七七
神道事務分局章程	一通	三七三
神道事務支局章程	一通	三七四
神道事務局分課	一通	三七五
神道事務分局分課	一通	三七六
神道事務支局分課	一通	三七七
教會議事務所會議条件 明治四年正月	一通	三七八

教導職督仮規約

一通 三七九

(神道事務局創建ニ付規約更正ノ布達) 神道管
長 神道教導取締中 明治八年四月

一通 三〇〇

(教導職公試験場規則揭示) 明治八年五月

一枚 三六八

(条約) 佐伯菅雄外 明治八年五月

一冊 三六五

神宮証書綴 山形神道事務分局 明治九年五月

一綴 三六二

(山形鶴岡西分局聯合所設置ニ付規約) 佐伯菅
雄外 明治一四年四月

一通 三六七

神道事務局条例及薦挙法 神道管長稲葉正邦 明治
一七年一〇月
經費徴収例

版一綴 四〇六

神道教会産土講社規約 神道管長稲葉正邦 明治一
七年二月

板一六枚 四八五

神道教田会員募集方法 明治一八年二月

版一冊 四〇〇

神道教規 神道管長稲葉正邦 明治一九年正月

版三冊 四八九

神道教規決議 稲葉正邦 内務卿山形有朋宛
明治一七年十一月

一通 四〇五

(神道教約規則綴) 明治六―一九年

一綴 四八七

1 神道事務局教約

2 同 本局教約

3 同 分局教約

4 同 本分局支科

5 同 生徒徴集概規

6 生徒退寮規則

7 (同救荒予備捐資条疑)

8 出雲大社教会規約

9 同結収手續概略

10 神風講社結収大意

11 神宮教会講社規約

12 神風講社社長事務取扱心得書

13 神宮教会講社定宿仮規則

默省会誓約 明治一七年八月

上書 添鎮靈会規則 明治一八年六月

○

神道總裁一品親王(熈仁)御筆御神号

神道總裁一品親王御親翰

熈仁親王親翰 (明治一五年カ)

布達・指令

山形神道事務局布達 明治一二年一二月

(神道事務局神殿建築地所ニ付指令等) 明治一
一年

神道事務局布達 明治一三・一七年

御指令綴 佐伯菅雄 明治七―一二年

教導職名簿

山形県神道教導職名簿 佐伯菅雄 明治七年以降

教職調書 新莊出張合議所 明治七年

官國幣社神官職員表 明治一二年

山形県神道教導職員錄 明治一三年正月

神宮職員錄 明治一三年六月

神宮官國幣社官員錄 附内務省社寺局官員・神道事務局職員 大関克編 明治一四年

神宮官國幣社神官々員錄 柳瀬喜兵衛編 明治一七年

教師現員表 明治一七年一二月

教職人員總計表 神道事務局 明治一八年

山形県山形神道事務局内教導職名簿

青森県陸奥国上北郡七戸神道事務局局部教導職名簿

青森県陸奥国東津輕郡教導職名簿

青森県陸奥国中津輕郡弘前神道事務局所属現在神官教職兼補人名

山形県置賜神道事務局部下教職人名簿 同分局藏田国治 佐伯菅雄宛 明治一八年

福島県管内神道事務局局部教導職名表 安藤脩重 明治一八年

福島神道事務局教導職名表

(若松神道事務局教導職名簿)

(栃木県神道事務局教導職名簿)

群馬県神道事務局教導職名簿

半 一冊 三九五

9x16 一冊 三九一

版一枚 四三三
〔一四九〇〕

9x17 版二冊 三七三
四四一

9x16 一冊 三九六

9x16 一冊 三七〇

一枚 四四三

一枚 三九六

4x29 一冊 四六二

半 一冊 四六三

半 一冊 四六三

半 一冊 四六四

半 一冊 四六五

美 一冊 四六六

半 一冊 三〇〇

美 一冊 四六七

半 一冊 四六八

半 一冊 四六九

分支局位置并長副人名

直轄教会位置并長副人名 明治一八年

官吏神仏教師兼務之儀ニ付同

社寺上地官林委託規則

教導職懲戒規約

(神道事務局職制一覽表)

祠官現員取調書

拜命試補員名

神道教導職員錄

出雲大社教会職制一覽表 出雲大社教院 明治一二年

山形県管内神社名簿 大講義佐伯菅雄 明治一一年

山形県管内神社名簿 佐伯菅雄編 明治一一年

山形県管内神社名簿一・二 大講義佐伯編 明治一一年

人事

神道第一部・第三部管長撰挙投票 明治一〇年

五一六月

新庄神道事務局支局長公撰票開札当撰名 七月

(明治一二年)

神葬祭一同入札〔教導職撰挙〕 北目村一同

明治一七年四月

羽後国神道理事撰挙状 佐伯菅雄 神道管長稲葉正邦宛 明治一八年一二月

(荒木芸夫権大講義撰挙ニ付神道事務局鴻雪爪書状) 神道事務局宛 明治一〇年七月

二綴 四四〇

版一枚 四三三

一綴 三九六

一冊 三九七

版二枚 四三三

一冊 三〇七

版一冊 三二六

二冊 三六〇

一九通 四三三

一通 四四四

一通 四四〇

一通 四四三

一通 四四二

一通 四四二

一通 四四二

一通 四四二

一通 四四二

試 験

(神官教導職試験ニ付廻状) 中教院詰佐伯菅雄・荒木芸夫 明治七年一月

問題弁解書 正蔵村綱井上栄斎 神道事務分局宛 明治九年

問題並問題愚答 羽入村植松学 山形県神道事務分局宛 明治九年

(神道問題答議) 坂木磐戸 山形県神道事務分局講究課宛 明治九年

(十七難題之内答書) 穂波 明治九年二月

会 計

(本教拡張資本金義納ニ付山形神道分局管内神道上義務免除賞状 同領収証共) 山形神道分局佐伯菅雄宛 明治二二年

徒流人働賃錢受取証 佐伯菅雄宛 明治六年
中教院宮殿代献納請取証

大教院會計課受取証〔教会新聞代〕 山形県中教院宛 明治八年

神道教会金出納簿 佐伯菅雄 明治八年

神官給料総計表 第三大区小一区・第四大区小八区
神官給料上納調 明治八年
山形県神道事務分局宛

神官同掌給料総計表 (山形県神道事務分局) 明治八—一〇年

給料請取書 山形県神道事務分局宛 明治八—一〇年

一通 四四三

一冊 三五三

一綴 五八六

一通 五八六

一冊 五四三

二通 三六三

一綴 五〇四

一通 四四元

一綴 四二七

一綴 (仮三冊) 四九五

一冊 四九六

一綴 四九四
一枚

(山形県神道事務分局會計課書類) 明治一〇・一二二年

預り証書・仮借用証書〔神道事務分局諸遺払金〕宮城利久治 佐伯菅雄宛 明治一三・一五年

(神道事務局會議ニ代理上京委託ニ付旅費釀金誓約証) 白田秀直外 佐伯菅雄宛 明治一七年

山形神道事務分局部下教職本分局經費幣帛料収納一覽表 (明治一七・一八年)

神殿建資金献納人名録 寄附金収據係佐伯菅雄 (明治九—一二二年)

神道事務局神殿建築寄附金受取記 佐伯菅雄 明治一〇年

神殿借用証 神殿借用之儀ニ付願 神道事務局分局副長佐伯収外
・白田秀直外 佐伯菅雄宛 明治一一・一八年

神殿屋根葺替請負証・前借受取証 後藤又六 佐伯菅雄宛 明治一三年

教会金借用証書 沼木村宮館豊 神道事務分局宛 明治九年

借用金証書 添証書共 三石実人外神宮四人 佐伯菅雄宛 明治九・一〇年

金子借用証書 小島周作 神道事務分局宛 明治一三年

三綴 四九六

二通 五二七

一通 四二二

一冊 四六六

一冊 四四三

一綴 四九六

一綴 五〇七

四通 五〇七

一通 四〇二

一綴 (七通) 四〇〇

一通 五〇六

借用金証券 白田秀直 神道事務分局宛 明治一四年	一通	五五五
金借用証 中山秀光 神道事務分局宛 明治一七年	一通	五八六
神官元教職の受取候証文 太田一・円沢大善・白田秀直 佐伯菅雄宛 明治一七年	一綴	五八四
○		
資本金証書綴 (明治一二年)	半	一綴 三〇二
懺神大通宣教資本金領收簿 (明治一二年)	美	一綴 三〇三
同志懇談會議決并添狀 (永統資本蓄積ニ付)		版四通 四四七
白田秀直外 各部長副宛 明治一三年		一綴 四四三
献金誓約証 (本分局維持皇道擴張資本) 佐伯菅雄宛 明治一七年		一通 五五三
(特持資未納返償猶予願書) 白田秀直外 神道事務分局宛 明治一七年		一冊 三三八
金錢出納簿 明治一五―二五年	半	一冊 三三九
(金錢貸付簿) 明治三一―四〇年	半	一通 四四三
○		
(出雲講社祭国資本蓄積願母子会発起文写) 佐伯菅雄 明治一四年		一通 四四三
(和氣公銅像建設助成依頼狀) 護国神社官司半井真澄 神道事務分局宛 明治一二年		一通 四四三
書 類		
諸証書綴 佐伯菅雄 明治三一―二六年		一綴 四四三
書類綴 佐伯菅雄 明治四―一七年		一綴 四四三
教務始末 (明治六八年)	半	一冊 三〇八

神道葬祭願書式 佐伯菅雄 明治九―一七年	半	一綴 五九八
同上依頼書綴		
神官願伺届綴 教導取締・神官頭頭佐伯菅雄 (明治九年)	半	一綴 五九三
枢要書類綴込 佐伯 明治二一―一四年		
用達留 佐伯家 明治一三・一四年	半	一綴 四四四
決議録 (山形県神道事務分局) 明治一七年	美	一冊 四四九
(神道事務分局往復書類)		一袋 四四九
(神道事務局関係諸事書留)	半	一冊 三六五
(教部省神道事務局関係諸事書留)	美四半	一冊 三六五
(教部省関係記録書留)	袖珍	一冊 三六五
(神社神道関係雜書類)		一袋 五〇一
○		
破邪顯正表 菅原遼 中教院宛 明治六年	半	一冊 四四一
中教院小祭供物図 (御饌物取調願書) 湖池千葉多・里見勉 中教院宛 明治七年		一枚 四四七
膳殿師		
拝命転任取調書 第三大区小一・二区 神道事務分局宛 明治九年	半	一綴 四四二
山形県神道事務分局廻状 (柴幕借用ニ付) 各宗教導取締宛 明治一〇年		一通 四四四
守札授与之儀ニ付伺 (控) 佐伯菅雄外 山形県令三島通庸宛 明治一〇年		一通 四四三
白岩慈恩寺神社改正社格願一件書類 明治一二年		二綴 四八九
		一通 四八九

葉山三山五岳縁起(写) 舜管校 横半半 一冊 四八七
慈恩寺別当系圖書写 半 一冊 四八六

(出雲大社教会・本教教会布教ニ付願届書写) 二綴 五九七
明治一三年

(田中大教正独断専行ニ付報告) 中教正諏訪忠誠外 版二通 四四六
同志惣代 神道教導職宛 明治一三年

(神殿合祀布達取消一件ニ付注意書) 佐伯菅 版四通 四四六
雄外 神宮教導職宛 明治一三年

(閉場式出場出頭難致届書) 松平容保 明治一四年 一通 五五五

祠官掌神道各派教会所屬之儀ニ付伺(写) 佐伯菅 一通 四四六
菅雄外 山形県令折田平内代宛 明治一五年

(当局維持方法協議依託書) 神道事務局 佐伯菅 一通 三六七
雄宛 明治一六年

行旅発着巡回里程日表 明治一八年 一枚 四四三

(教田会加盟難致事情有之者誓書雛形) 神道管長 美 一冊 四四〇
神道教田調書 総図添

稲葉正邦・神道事務局 明治一八・一九年 一通 五〇九
(神道事務局会議出席ニ付テ依頼状) 五郡神宮惣代
遠藤司外 佐伯菅雄宛

神道事務局報告 第老号 明治一七年 半半 版三冊 四四三

(雜書類) 一袋 五五三

皇典講究所

皇典講究所委員辞令 山形県下分所詰辞令(請書共) 總裁(轍仁親王) 四通 三六六
佐伯菅雄宛 明治一五年

(山形県皇典講究分所關係書類) 明治一五・一七年 一四通 四四〇

仮学証 山形皇典講究分所 藏田国治宛 明治一六年 一通 四四四

分所經費操替領収証 皇典講究分所 佐伯菅雄・ 三通 五五七
神道事務局宛 明治一七年

(義財誘導方担任依頼書) 受持委員心得書 山形 二通 三六八
皇典講究分所横川源蔵 佐伯菅雄宛 明治一七年

皇典講究所設立寄附賞状 同所副總裁久我建通外 一枚 五五五
佐伯菅雄宛 明治一八年

皇典講究本分所維持ノ義財誘導各郡巡回誌 美四半 一冊 三六七

*学階授与規則(写) 皇典講究所 明治一三年 一冊 四四七
(皇典講究所關係書類綴) 半 一綴 三六六

祝 詞

大祭祝詞 明治三年 一通 四三九

矢野目熊野神社祝詞 佐伯菅雄 明治三年 二通 四三六

学校祝詞 一通 四三〇

学体 一通 四三二

合祀祝詞 明治七年 一通 四三三

招魂祭祝詞 明治九年 一通 四三三

西南役戰没招魂祭祝詞	明治一〇年	二通	四三四	祝詞	半	一冊	五八		
西南役招魂祭誄言				(新嘗祭饌供文)		佐伯菅雄	明治二六年		
愛宕神社県社加列祝祭祝詞	明治一二年	一通	四三五	祝詞	八幡神社祭主藏増宝	明治四年	一枚	四三三	
国史見在酢川温泉神社改正神事大祓詞	明治一二年	二通	四三六	祭式					
国史見在酢川温泉神社改正神事祝詞	明治一二年	一通	四三七	神拜式	武蔵一宮水川神社岩井從五位	佐伯菅雄宛	明治三年	一通	四三八
国史見在酢川温泉神社再建落成祭典祝詞	明治一二年	二通	四三八	改正神事式	佐伯菅雄	県役所宛	明治三年	一通	四三九
離宮酢川温泉神社鎮祭祝詞	明治一三年	四通	四三九	神拜式	佐伯菅雄	最上葦豆茂宛	明治四年	一通	四四〇
豐烈神社遷宮祓詞	明治一三年	一通	四四〇	十一月十七日神事式	佐伯菅雄	山形県宛	明治四年	一通	四四一
同 鎮坐祝詞	明治一三年	一通	四四一	六月六日夜外御神事祝詞				一通	四四二
同 遷宮直会祝詞	明治一三年	一通	四四二	惟神祭式	佐伯菅雄	(明治二〇年代)		一通	四四三
甲子祭祝詞	明治一四年	二通	四四三	靈祭	佐伯菅雄	(明治二〇年代)		一通	四四四
遙拝祝詞	明治一四年	一通	四四四	例祭式				一通	四四五
出雲大社御分靈鎮座祓祝詞	明治一四年	一通	四四五	大祭式				一通	四四六
同 祝詞	明治一四年	一通	四四六	大祓式				一通	四四七
大國主神瑞殿大殿祭祝詞	明治一五年	一通	四四七	婦幽奏上式				一通	四四八
山形四日町米統稻荷神社遷宮祝詞	明治一五年	一通	四四八	葬祭式				一通	四四九
称讃神德皇恩詞		一通	四四九	葬祭諄詞集				一通	四五〇
(八幡神社祝詞)		一通	四五〇	皇大神宮大麻奉祀式	明治六年			一通	四五〇
大祓祝詞		一通	四五〇	日拜式	千家尊福	明治一二年		一通	四五〇
歲尾祝詞		一通	四五〇	四柱大神八幡大神及官軍戰死之大祭次第				一通	四五〇
春秋靈祭祝詞		一通	四五〇					一通	四五〇
天津祝詞	佐伯収宛	一通	四五〇					一通	四五〇
招魂祭祝詞		一通	四五〇					一通	四五〇

○
(大祭典分担表)

祭官

祭官

祓戸神饌

一枚 三毛五
一枚 三毛六
一枚 三毛七
一綴 五毛〇

法令・支配

法令

御宸翰之御写 總裁・補弼 三月(明治元年)

公用 元門末諸院寺衆中 午(明治三年)

(太政官布告)

(明治四年)

(教部省布告)

明治五年二月三日

(教部省布告)

明治五年二月

(教部省布告)

社人触頭 明治五年二月

(教部省布達)

明治五年二月

(太政官・式部寮布告)

明治六年一月

(太政官・式部寮布告)

明治六年一月

教部省・山形 布達綴 教導取締・神官触頭佐伯菅雄
県・大教院

山形県布達

横長美大 板一通 四毛二
一冊 四毛六
二冊 三毛五
一冊 三毛七
七冊 三毛六
一冊 三毛三
一冊 三毛〇
三冊 三毛九
一冊 三毛九
一綴 三毛二
一袋 三毛六

御布告文輯 明治八年

山形県布達(明治二一・一七年)
山形県丑寅教誌略(明治二年)

山形県庁指令 佐伯菅雄宛 明治五年六月一六年
二月

管事司差紙〔中元之賀参列〕 未七月(明治四年)

社寺籍法雛形(明治三年頃)

訴答文例 同附録共

証券印税規則

大日本帝国憲法(官報号外) 明治二二年

皇室典範(写) 明治二二年

支配

明治庚午第六号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛一
明治庚午第七号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛二
明治庚午第八号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛三
明治庚午第十号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛四
明治庚午第十一号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛五
明治庚午第十二号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛六
明治庚午第十三号太政官日誌 明治三年 美半 板一冊 三毛七

半 版一冊 三毛六
美半 合一冊 四毛六

二綴 五毛三

一通 四毛六

美 一冊 三毛八

半 板二冊 三毛九

美半 板一冊 三毛〇

タフロイド版一冊 四毛三
横美半 一冊 五毛三

大政官日誌 第廿一(号) 慶応四年
大政官日誌 第廿七(号)

職員録 明治三年

改正明誌鑑 御役人附(明治初年)

御官員 分課 早見鑑 文部省 明治六年
住所 教部省

明治官員録 明治一二年

官員録 五月改

職員録 九月改

学 事

学校資本金献納賞典 呼出状共 山形県 佐伯菅
雄宛 明治六年

学区取締兼務辞令達書・差紙共 山形県 佐伯菅
雄宛 明治七年

(転校願書) 村上楯朝 学区取締佐伯菅雄宛 明治
九年

学区取締解任辞令 山形県第五課 佐伯菅雄宛
明治九年

第七大学区 山形県学校職員録并県社八幡神社会
第八中学区 計私記

文部省雜誌 第十四号 明治七年

文部省第一年報 美 版一冊 三六九
共立学舎規条 本所相生町共立学舎 美半 板一冊 三〇七

身 分・戸 籍

身 分

身分書上綴 佐伯菅雄 明治六年

(佐伯菅雄無禄士族編輯達章) 山形県 明治六年
一〇月

明細書上進ニ付申上書 貴族士族佐伯菅雄 県
令関口隆吉宛 明治七年

戸 籍

(戸籍編制心得) 明治四年

社中戸籍 佐伯菅雄 明治四年

社中戸籍 佐伯菅雄 明治四年

(佐伯菅雄境内居住者戸籍) 明治四年

戸籍(戸籍取調) 明治七―一三年

社籍(戸籍改正ニ付書上帳) 要岩社人佐伯菅雄
明治四年

(旧幕臣西尾絆介娘と縁組届書) 佐伯菅雄
山形県役所 明治三年閏一〇月

(広林外人別送籍関係書状) (明治三・四年)

戸籍之儀ニ付御願書(戸籍肩書改正願) 佐伯
菅雄 明治九年

金子受取証券 佐伯芳男 佐伯菅雄宛 明治一〇
年六月

分籍之儀ニ付願 佐伯菅雄 南村山郡長村上楯朝宛
明治一三年

(分籍入籍関係書類)

分籍定約証・謝恩金定約証・預り金証券 佐伯
十三郎・佐伯芳男 明治一四年

○

名書 曾根三五郎長男政美 佐伯菅雄 明治一〇年

家

地所・家屋

地 所

田畑北目縄名受取調帳 北目村組込愛宕門前
佐伯菅雄宛 明治四年

地券 山形県 佐伯菅雄宛 明治八一〇年

(地券調差上い扣写書) 明治六年

地目交換御届書外 戸長石山惣治 山形県令折田平内
宛 明治一八年

佐伯宅地関係宮城屋敷地図誤謬訂正書類入
宮城十治郎・佐伯菅雄 山形県知事長谷部辰連宛
明治一四年

*所有地之畝歩及地価 佐伯菅雄 明治一六年

明治廿七年三月佐藤政蔵取調〔畑宅地間数〕

(諸届上申書控) 明治二七―三三年
付約定証・玄米連帶借用証文・借地小作調

(耕地売渡証券) 佐伯芳男 佐伯菅雄宛 明治一
二年

地所拝借願書 工藤吉六 佐伯菅雄宛

○

裁判言渡〔元朱印地御下願方不当ノ訴訟〕 福島
裁判所山形支庁 原告 渡江村東海林源兵衛 被告 佐伯菅
雄 明治一〇年

為取替耕地売買定約証券 斎藤太郎・佐伯菅雄
地所交換之義ニ付約定証券 明治一八年

東村山郡青柳村字柳田・北柳・屯本木耕地取調
記 明治一八年

青柳村字柳田・北柳・屯本木耕地絵図

風間村佐藤栄次書状 佐伯宛

(耕地交換約定履行勸解願出ニ付呼出状) 山形
治安裁判所 佐伯菅雄宛 明治一八年

(耕地交換雜書類)

家 屋

湯殿便所下代領収証 県第六課 佐伯菅雄宛
明治一〇年

建家譲渡証 佐伯幹子 佐伯十三郎宛 明治三年

宅地建物売渡約定証 佐伯桜子外 黒沢貞宛
明治一七年

杉木買受引取規限約定証 高橋毛利蔵 佐伯桜
子宛 明治一九年

地所建物書入証券 斎藤久助 佐伯幹子宛 明治
二八・三一年

一通 四六

一綴 三二六

一冊 四六

一綴 五五

五冊 五五

四鋪 五五

一通 五五

四通 五五

八通 五五

一通 五五

一綴 三三

一綴 四三

一通 四三

一通 四三

一通 四三

一通 四三

(地所建物書入利子勘定ニ付約定書) 齋藤久助 佐伯幹子宛 明治一八年	一通 四七	
建家壳渡証・立退約定証 佐藤政蔵 矢作登宛 明治三二年	二通 五六	
保証書(写) (土地建物佐藤芳雄ニ壳渡登記申請書 齋藤久助ニ無相違) 佐々木豊作・今泉吉郎 山形区裁判所宛 明治三二年	一通 四六	
(在土地立退キニ付御手金被下置請書) 齋藤勇助 齋藤久助 佐伯幹子・佐藤芳男宛 明治三二年	一通 四九元	
齋藤久助書狀 佐伯幹子宛 明治三二年	一通 四九〇	
(宅地建地壳渡父養育約定証) 齋藤久助 高橋 芳蔵宛 明治三二年	一通 四九三	
(実父養育依頼ニ付引請約定証控) 高橋芳蔵 齋藤久助宛 明治三二年	一通 四九三	
租税上納金領収書 齋藤久助宛 明治三二年	一綴 四九三	
家賃通之扣 計算書添 高橋久助・佐藤政蔵 明治三二年	三冊 四九四	横半半
(給金通) 受取書添 齋藤久助	一冊 四九五	横半半
小 作		
地蔵町高地記録 明治七年	一冊 三〇四	半
小白川村高地記録 明治七年	一冊 三〇五	半
上町高地記録 明治七年	一冊 三〇六	半
横町高地記録 明治七年	一冊 三〇七	半
二日町高地記録 明治七年	一冊 三〇八	半
諏訪町高地記録 明治七年	一冊 三〇九	半

諏訪町高地記録 明治八年	一冊 三〇三	半
鮎洗村高地記録 明治七年	一冊 三〇〇	半
下条町高地記録 明治七年	一冊 三〇二	半
灰塚村分立附記 明治二七年以降	一冊 三〇三	半
熊野神社境内試作畑覚 矢野目村同社下司佐藤庄治 佐伯役場 明治三二年	一通 五六一	
(支配給田取調ニ付廻狀) 佐伯台所 小作人宛 明治五年	一通 四四二	
御貢米拝借証書 佐伯菅雄宛 明治七・八年	一通 四六三	
畑地扣作証札 地蔵町 泉地租改正係宛 明治八年	一冊 四九四	半
木立地立附米書上 地蔵町 泉地租改正係宛 明治八年	一冊 四九四	
窪野目村地内元朱印地蔵増村伝右衛門ノ取替地 ニ付証書 久野本村平塚六兵衛 佐伯菅雄宛 明治一 〇年	一通 四九五	
田地小作証券 河野長七等四人 佐伯菅雄宛 永代耕地壳渡証券 為取替条約 明治一〇年	一綴 四九六	(一〇通)
(支配小作料取調送狀) 渡江村支配人阿部幸八 佐伯 菅雄宛 明治一一年	一通 五五五	
天災ニ罹リ田畑損害御見分之儀御願 灰塚村・ 諏訪町・地蔵町小作人 佐伯菅雄宛 明治一六年	一通 五六六	
宅地耕地借地証券・小作証券 佐伯菅雄・様子 宛 明治三二・三三年	一綴 四四二	
田地扣小作証文 鹿野武兵衛 田中榮蔵宛 明治 三五年	一通 五五八	

小作証文 佐藤内藏・阿部定治・木村庄次郎 佐伯
桜子・正徳宛 明治三五・四二年

○借地・小作訴訟

(東海林弥太郎へ対スル作徳米催促訴訟關係書類)

四九三

1 裁判言渡書 命令書添 山形治安裁判所
原告佐伯菅雄 被告灰塚村東林弥太郎

一通

2 耕地小作証 東海林弥太郎 佐伯菅雄宛
明治一五年 山形治安裁判所裏書 明治
二二年

一通

3 立附米不納合金高取調 東海林弥太郎
佐伯菅雄宛 明治二〇年 山形治安裁判所裏
書 明治二二年

一通

4 訴訟入費受取簿同遣払 明治二二年

横半半

一通

5 東海林弥太郎事件出訴諸入費 計算書添
值質知雄 佐伯菅雄宛

五通
一綴
八枚

6 梨木書入金子借用証券(写) 東海林弥太
郎 天童佐竹照蔵宛 明治一六年

一通

拝借証文 崑野賢曹 佐伯菅雄宛 明治六年

一通

返地之儀ニ付陳述・猶子願 崑野福松 佐伯菅雄宛
明治二七年

一綴

開 墾

開墾請負証文 鈴木清蔵・小関浅治 佐伯菅雄宛
明治一〇・一三年

六通

北村山郡振業社々則
荒蕪地拝借之儀ニ付願 明治一三年
官地開墾拝借手続

一綴

境内・林野

境内上下附願

(地蔵町官林取調書) 絵図添 戸長江口内蔵外
累權令関口隆吉宛 明治七年

一通
一枚

元朱印地天童愛宕社領原由書上 佐伯菅
雄 累權令関口隆吉宛 明治八年

一通

佐伯菅雄旧境内上地内御下附願書 拾三戸 累權
令薄井竜之宛 明治八年

半

一通

屋敷境内原由之儀ニ付御伺 佐伯菅雄 累參事薄井
竜之宛 明治八年

半

二通

現旧境内原由上申書 佐伯菅雄

半

一綴

佐伯菅雄境内上地之内杉木立御下附願書 佐伯菅
雄 累權令関口隆吉宛 (明治八年)

一通

屋敷地等之義ニ付願書 佐伯菅雄 明治九年

半

一通

佐伯菅雄境内上地之内御下附願 佐伯菅雄外
累令三島通庸宛 明治九年

一通

佐伯菅雄境内上地之内御下附願(写共) 佐伯菅
雄 累令三島通庸宛 明治九年

二通

佐伯菅雄境内上地之内御下附願 佐伯菅雄
累令三島通庸宛 明治九年

一通

愛宕神社附属地上地之内御下附願書 佐伯菅雄
累權令関口隆吉宛 明治八年

一通

諏訪社附属地上地之内御下附願 佐伯芳男 累令
三島通庸宛 明治九年

一通

五ヶ所山林引戻申請

五ヶ所山林引戻申請書 証拠目録添 (控共)
佐伯椋子 農商務大臣 曾称荒助宛 明治三二年

五通 四九六

五ヶ所山林引戻申請書 (控共) 佐伯椋子 明治三二年

二通 四九〇

(五ヶ所山林下戻申請細々覚書) 明治三二年

一袋 四八三

答弁書
答弁書証拠目録 (控) 佐伯椋子 宮城大林区署長松本収宛 明治三三年

三冊 五三三

山林引戻申請関係書状・書類 明治三二一三三六年

一袋 四九〇

第二答弁書 佐伯椋子 農商務大臣平田東助宛 明治三六年

一冊 五二四

第二回答弁書添付証拠書類 佐伯椋子 明治三六年

一冊 五二五

農商務省山林局調査課書状 山形小林区署長今又十郎宛 明治三六年

一通 五二五

山形小林区署長今又十郎書状 佐伯宛

一通 五二五

第三回質問書 佐伯椋子 農商務大臣清浦奎吾宛 明治三七年

一綴 五二六

(五ヶ所山林引戻申請証拠書類写)

五綴 五二七

農商務省指令 (五ヶ所山林引戻申請却下) 証拠目録添 (写共) 農商務大臣清浦奎吾 佐伯椋子宛 明治三七年

二通 四九三

準備書面 佐伯椋子代理人長島鸞太郎外 行政裁判所第一部長官山脇玄宛 明治四二年

一通 五五二

裁判宣告書 (騰本) (山林下戻不許可処分ニ対スル訴訟) 行政裁判所長官山脇玄外 佐伯椋子宛 明治四二年

一通 四九三

長島法律事務所花岡敏夫書状 佐伯椋子宛 明治四二年

一通 五五三

訴訟費用額確定決定書・催告書・計算書・郵便送達証書 行政裁判所 佐伯椋子宛 明治四五年

一通 四九四

行政裁判所通知 佐伯椋子宛 明治四五年

二通 四九五

訴訟費用領収証書 農商務省山林局宮部文臣 佐伯椋子宛 明治四五年

一通 四九六

(五ヶ所山林引戻申請関係雜書)

一袋 五五五

東京市長嶋法律事務所書状 桑谷武一郎宛 明治四一年

一通 四九七

東京市長嶋法律事務所書状 佐伯椋子宛 明治四二年

一七通 四九八

東京市長嶋法律事務所書状 佐伯狹依子宛 明治四二年

四通 四九九

(佐伯椋子書状控) (長嶋法律事務所宛カ) (明治四二年カ)

二通 四〇〇

東京市桑谷武一郎書状 佐伯椋子宛 明治四二年

三通 四〇一

東京市桑谷武一郎書状 佐伯さより子宛 明治四二年

三通 四〇二

山形市庄司平吉書状 佐伯さより子宛 明治四二年

一通 四〇三

山林御松下願 佐伯菅雄 県令三島通庸宛 明治一〇年

国有原野下戻申請

土地証明願(写・下書共) 佐伯桜子 山形市長宛 明治三三年

下戻申請書(国有原野) 土地図面証明願添 佐伯桜子 農商務大臣曾称荒助宛 明治三三年

農商務省指令(国有原野下戻申請却下) 証拠目録添 農務大臣清野奎吾 佐伯桜子宛 明治三六年

国有原野貸付・払下

杉植付記録之抜書・同宝永五年日記抜書・境内杉植付原由書・同覚書・同図面(明治九年)

境内杉植付原由書 佐伯菅雄宛 明治九年

(杉立木払下ニ付差上申証文) 相沢富治外 佐伯菅雄宛 明治九年

佐伯菅雄宅地之内開墾坪数并図面 開墾請負人小川長橋林兵衛・同鈴木清藏 明治一〇年

徳川家光公御朱印ノ写 佐伯菅雄外 県令三島通庸宛 明治一〇年

(御朱印并証拠書類写外預証) 租税課 明治二二年

官有原野払下願并指令書類 佐伯菅雄 県知事長谷部辰連宛 明治二六年

官有地御払下願特別縁故理由書 佐伯桜子 明治三二年

国有原野并立木払下願・指令書 佐伯桜子 宮城大林区署長宛 明治三三年 一袋 四九六

国有原野杉損木払下願書類 佐伯桜子 宮城大林区署長宛 明治三五年一三六六年 一〇通 四九七

国有原野貸下願・貸付料領収書 佐伯桜子・正徳山形小林区署長宛 明治三五年一三六四年 一袋 四九二

領収証(指令書・証拠書類)(控) 佐伯桜子 山形小林区署長宛 明治三六六年 一通 四九三

貸付願 佐伯桜子 山形小林区署長宛 明治三七年 一通 四九三

不要存置国有原野売払願 佐伯桜子 宮城大林区署長宛 明治四〇年 一通 四九六

国有原野売払予約願 佐伯正徳 宮城大林区署長宛 明治四三年 二通 四九六

不要存置林野売払願書・払下料領収書・林野引渡通告書・土地所有権移転登記嘱託書 実測図添 佐伯正徳 秋田大林区署長宛 大正五年 一袋 四九〇

(国有不要存置林野払下関係雜記) 四六 一冊 五五五

官有地特別処分規付(写) 明治三三年 一通 五五〇

国有土地森林原野下戻法 明治三二年 一通 五四九

国有土地森林原野下戻法適用(写) 明治三五年 一通 五四八

その他 猪野沢村川原子村重複村界争論和解上申書写并裁許給図并借願書 川原子村・猪野沢村戸長外 黒橋本吉十郎・佐伯菅雄宛 明治一二・一三三年 一通 五五九

邸宅監守者ニ関スル規約 絵図添 佐伯正徳 大正五年 一通 四九五

租 税

去年ノ御取納米取調書上 蔵司 明治四年	横長半	一冊	三六四
御年貢石代金帳	地蔵町役元 佐伯菅雄宛	一冊	三六四
(御年貢納受取手形)	横半	四綴	五〇四
(石代金等受取手形)	二日町郷蔵 佐伯菅雄宛	二五通	五〇五
(石代金等受取手形)	上町郷蔵 佐伯菅雄宛	一九通	五〇六
(石代金等受取手形)	下条町郷蔵 佐伯菅雄宛	一綴	五〇七
(貢米等受取手形)	八日町(郷蔵) 佐伯菅雄宛	四通	五〇八
(石代金等受取手形)	横町郷蔵 佐伯菅雄・元徳性院宛	九通	五〇九
(石代金等受取手形)	蠟燭町郷蔵 佐伯宛	三通	五〇〇
(御年貢米請取手形)	七日町(郷蔵) 佐伯菅雄宛 明治四・七年	二通	五〇二
(御年貢諸役受取手形)	小白川村役元 佐伯菅雄宛	三通	五〇三
(地租金及諸上納受取通)	鮎洗村郷蔵 佐伯菅雄宛	八通	五〇三
(畑方貢金等受取手形)	灰塚村事務所 佐伯菅雄宛	八通	五〇四
(地方税・学費受取手形)	諏訪町地蔵町戸長役場 佐伯菅雄宛	三通	五〇五
(御年貢米外諸取手形)		七枚	五〇七
浄福院跡年貢(控) 明治五・六年		一通	五〇八

賜米請取書 佐伯菅雄 県役所宛 明治六年	半	一冊	三六二
去壬申年分御渡米石代金請取書 佐伯菅雄 山形県參事薄井竜三 明治六年	半	一冊	三六三
租税請取証 県租税課 佐伯菅雄宛 明治七年		二通	五〇三
租税通 灰塚中野目村事務所取扱所 佐伯菅雄宛 明治一〇年		一通	五〇九
判取帳 佐伯菅雄	横半半	一冊	四六四
所得金取調書 (明治三二年)		一綴	四〇三
警察巡查口達ニ付取調差出 明治三三年		一綴	四〇四
地価地租取調書 佐伯菅雄 明治三二年		一綴	四〇五
明治廿五年出納 佐伯菅雄 明治三二年		一綴	四〇六
段別及地価地租地方税市町費備荒儲蓄取調之下調 佐伯菅雄 明治三五年	美	一冊	四〇五
一箇年収入米取調并所得金明細取調之下調 佐伯菅雄 明治三五年		一綴	四〇六
雇人給料及食料日費委任状 (所得税賦課書類) 佐伯菅雄 明治三五年		一冊	四〇七
*所有地之畝歩及地価 佐伯菅雄 明治三六年	半	一通	四〇八
(所得届書ノ件ニ付呼出状) 山形直税分書 佐伯菅雄宛 明治三六年		一通	四〇九
所得申告(控) 佐伯桜子 官械管理局長清宮實宛 明治三二年		一通	四一〇
所得税法註解 今村長善 明治三〇年	四六	版一冊	四一一
所得税納人心得方備考	四六	版二冊	四一二
所得納税者申告方注意		版一枚	四一三
第三種所得申告方注意通知書共 佐伯桜子宛 明治三三・三八年		版一綴	四一三

第三種所得申告 佐伯桜子 明治三四・三五年

一綴 四三四

所得金額決定通知書 山形稅務署長 佐伯桜子・同正悌宛 明治三九—大正元年

一五通 四三五

(戶別割照合ニ付イテ返事) 稅務係 佐伯正悌宛 明治四〇年

一通 四三六

(地価修正登録稅ニ付通知) 山形市役所 佐伯桜子宛 明治四〇年

一通 四三七

市役所上納期限表

一綴 四三八

租稅上納領收証書 佐伯桜子・正悌宛 明治四五—大正一〇年

一袋 四三三

國役金請取覺 租稅局 佐伯岩尾宛 (明治四年)

一通 四〇五

石代金請取覺 竜福寺・佐伯岩尾宛 (明治四年)

繼一通 四〇五

(御年貢皆濟手形) 桶町 佐伯岩尾宛

一通 四〇六

(國役錢請取手形) 門前村藏元 矢野目村金右衛門宛 (明治四年)

一通 四〇三

明治四辛未之慶米御沙汰書 佐伯菅雄 明治四年 半

一綴 三六四

(御困取立皆濟上納請書) 館洗村門治郎 佐伯菅雄宛 明治四年

一通 五七五

家 計

収 支

(川口行遣払勘定取調書) 高橋彦兵衛 (明治三年)

横長半 一冊 五七七

(御藏米札頂戴証文) 又次 佐伯役人宛 明治三年

横長半 一通 五五三

(買物受取帳) 佐伯台所 明治四—大正五年

横長半 一冊 五九二

收入帳 佐伯 明治三二年

横長半 一冊 四六三

(賄料勘定書) 天童郷手代孫市 (酒井屋) (佐藤政藏・同円藏會計請取書類)

横長美 一冊 五九三

雜請取書類 佐伯岩尾方調 (金錢出入帳) (明治四年)

横長美 一袋 四三三

吳服太物之御通 長谷川商店 明治三五—大正元年

横長美 一冊 四六三

吳服太物御通 原田店 明治四一—大正三年

横長美 一冊 五〇七

鯨の通 中山直助 明治四〇—大正一〇年

横長美 八冊 四六四

收入簿・支払簿 中山店 大正八年

横長半 三冊 四六五

(中山店請取計算書) 大正六—一三年

横長半 一袋 五〇〇

萬乾物青物通 三嶽權藏 明治四〇年—大正二年

横長半 五冊 四六六

萬青乾物通・諸品通 八百權 明治四三・大正三年

横長半 二冊 五〇〇

酒諸品之通 美濃屋 明治四〇年

横長半 一冊 四六七

西洋料理 牛豚肉御通	明治四〇年	横美半	一冊	四六六
御通 小林	明治四三・大正三年	横半半	四冊	五四六
御通 丁字屋洋物店	明治四三・大正三年	横半半	三冊	五四九
御通 坂部店	大正二・三年	横半半	二冊	五四二
通帳	明治四〇・大正二年	横美半 横半半	八冊	五四二
別格官幣社小御門神社建築費寄附賞状 共 千葉知事藤島正健 佐伯菅雄宛 明治二六年	御請書	横半半	二通	三六三
東村山郡明治村役場建築費寄附賞状 長谷部辰連 佐伯菅雄宛 明治二六年	山形県知事	横半半	一通	三六三
火災保險証券	東京火災保險 佐伯正悌宛 大正五年	横半半	二通	五八六
繼續保險料受領証	東京火災保險 佐伯正悌宛 大正六・九年	横半半	六通	五八七
灰塚へ運送物品記	明治二六年	横半半	一冊	五九五
請取米送り米調書	福島治助 佐伯正悌宛 大正七・九年	横長半	二冊 一通	五九六 五九六
桑葉売定証	佐伯菅雄 各売主宛 明治三三・三二年	横半半	一綴	四八六
桑苗植付代請取証	佐藤善次郎 佐伯宛 大正八年	横半半	一通	五〇五
米豆蔵出納覚 雇人日記	佐伯台所・佐藤政蔵 明治二三年	横半半 横半半	合一冊	五〇四 五〇四
常雇日記	佐藤政蔵 明治二四年	横半半	一冊	五〇六
学僱雇日記	明治二五・二七年	半	二冊	四八九
僱雇日記	佐藤政蔵 佐伯宛 明治三〇年	横半半	一冊	五三三
雇記帳	柳原多吉 明治三一年	横半半	一冊	四八七
(女ミエ御奉公中家出御託証) 子宛 明治三二年	佐藤政蔵 佐伯桜	横半半	一通	五三三
名代人之儀ニ付御届 寄留届 雇人約定証書	野口彦助外 明治二六・二七年	横半半	一綴	四八四
宝道寺石垣人夫扣帳	双月荒井卯七 明治二八年	横長半	一冊	五〇一
工事請負金受取証 付荒井卯七書状 ・幹子・桜子宛 明治二八・三一年	佐伯菅雄	横半半	一三通	五〇二
日記・留書		横半半	一冊	四八六
博物志・書籍往来〔日記・万留書〕	(明治六年)	横半半	一冊	四八六
雜事雜記	佐伯 (明治八年)	半	一冊	三二七
萬事雜記	佐伯 (明治一七年)	半	一冊	三〇五
諸收入記		半	一冊	四八六
書籍〔雜書留〕	(明治二二年)	横美半	一冊	五〇七
日記	明治二五年	横長半	合一冊	四八六
補忘記	明治二七年	横長半	一冊	四八六
心留記	明治二五年	横長半	一通	四七〇
座右日記	(佐伯菅雄)	半	一冊	四八五
(諸作種蒔時覚)	佐伯菅雄	半	一冊	四八五

貸 借

貸 借

愛宕社地住居百姓一同歎願書 今野平治郎・相沢勘藏 佐伯役場宛 明治四年

半

一冊 四六〇

(貸付金元利取調帳) (明治初年)

袖珍

一冊 三六九

金員借用証書 豊嶋千代磨 佐伯菅雄宛 明治一五年

一通 五五六

金員借用証券 会田六助 佐伯菅雄宛 明治二〇年

一通 五九六

大豆預り証 東海林喜八 佐伯菅雄宛 明治三三年

一通 五九〇

品物売上証文 佐藤政太郎 物品借用証 池野つね 佐伯菅雄宛 明治二四・二五年

二通 五九六

(貸附金精算書) 佐伯菅雄・鈴木万次郎 明治二四年

一通 五七七

借用金帳・小遣帳 明治二八・二九年

横半半

一冊 五八五

訴 訟

○給料請求事件

*学階授与規則(写) 皇典講究所 明治三三年

半

一冊 四七三

永久依頼書〔醉川温泉神社永続保存〕 高湯村一同連印 佐伯菅雄宛 明治一一・二七年

美

一冊 四九六

竜山神社再興之趣旨 訓導石沢幸吉 明治一七年

一通 四九六

寄留人届証明願・同御届 石沢幸吉 山形市長浜村支払命令申請書(写共) 勘太郎・山形区裁判所工藤仙太郎宛 明治二七年

五通 四〇〇

新庄町三浦満記書状 佐伯菅雄宛

一通 四三三

支払命令〔石沢幸吉被雇給料〕 山形区裁判所判事工藤仙太郎 債務者 佐伯菅雄宛 明治二七年

一通 四三三

支払命令正本・判決送達状 山形区裁判所 明治二七年 期日呼出状

一綴 (三通) 四三三

石沢ノ件ニ付入費控 〔明治二七年〕

一綴 四九四

出頭御請書(控) 佐伯菅雄・代人佐藤政藏 山形区裁判所工藤仙太郎宛 明治二七年

一綴 (三通) 四九四

証拠調申立書(控) 佐伯菅雄代人佐藤政藏 山形区裁判所判事堀口文五郎宛 明治二七年

一通 四九六

判決正本〔石沢幸吉給金請求事件〕 仙台区裁判所判事堀口文五郎 原告石沢幸吉・被告佐伯菅雄宛 明治二七年

一通 四九七

民事訴訟記録閲覧願(控) 佐伯菅雄代理佐藤政藏 山形区裁判所書記課宛 明治二七年

半 一冊 四九六

控訴状(控) 〔石沢幸吉給金請求控訴事件〕 佐伯菅子 (明治二七年カ)

一通 四九六

東京市佐伯幹子書状 佐藤いし宛 明治二七年

一通 四九四

(石沢幸吉神道教導奉職証明書) 神道三山教会長 値賀知雄 明治二八年

一通 四九四

委任状(写) 〔石沢幸吉給金請求事件控訴代理〕 佐伯菅子 明治二八年

一通 四九四

弁護士小磯忠之輔書狀 佐伯棧子宛 明治二八年

八通 四九三

答弁書〔石沢幸吉給金請求控訴事件〕 石沢幸吉
山形県地方裁判所長代理岩崎直弘宛 明治二八年

一通 四九四

判決正本〔石沢幸吉給金請求控訴事件〕 山形地方裁判所民事部裁判長岡田清次外 控訴人佐伯棧子・被控訴人石沢幸吉宛 明治二八年

一通 四九五

〔石沢幸吉ニ付諸事書留〕 (佐伯菅雄) (明治二七年頃)

半 仮一冊 四九六

〔石沢幸吉給金請求事件雜書類〕

一一枚 四九七

○貸金請求事件

貸金請求之和解申立書 佐伯十三郎
佐藤周助所有財産差押目録謄本 山形県地方裁判所監判事原田務宛 明治二四年

一綴 四九八

連帯金員借用証券 揚妻リエ・登和 佐伯菅雄宛 明治二五・二六年

一綴 四九四

貸金請求事件判決正本・付訴訟費用確定決定 山形区裁判所 原告佐伯菅雄・被告揚妻リエ・登和宛 明治二七年

一綴 四九四

債務揚妻リエ・トワニ係ル請求額及訴訟入費取調支払命令 付仮執行執達関係書類 山形区裁判所 明治二七年

一綴 四九五

委任状〔被告奥山長太郎ニ対スル貸金請求訴訟代理〕 佐伯棧子 明治二八年

一通 四九六

事業・投資

日東捕鯨会社

日本捕鯨会社創立大意

半 版一冊 四九三

日東捕鯨会社定款 明治一五年

半 版二冊 四九七

日東捕鯨会社創立請願(写) 立木兼善外 東京府知事松田道之宛 明治一五年

一通 四九七

日東捕鯨会社進水式告辭 社長立木兼善・松原新之助 明治一五年

一通 四九八

日東捕鯨会社株式券狀 同社長立木兼善 佐伯菅雄名義 明治一五・一六年

五枚 四九七

受取金之証(控) 日東捕鯨会社 明治一五・一七年

14x23 二冊 四九八

日東捕鯨会社往復書類 佐伯菅雄 明治一五・一六年

一綴 四九九

山形県エ支社設立可否議案回議 山形県日東捕鯨会社 佐伯菅雄外 明治一五年

一通 四九八

御諭達請願書(写共) 立木兼善 山形県令折田平 宛 明治一五年

二通 四九八

社員心得方之儀ニ付御届(写) 日東捕鯨会社 派出委員心得書 明治一五年

一通 四九八

手当及交際費調・旅費調 日東捕鯨会社 (明治一五年)

一綴 四九三

株主募集委員辭令 日本捕鯨会社 佐伯菅雄宛 明治一五年

一通 四九一

(出納精算書) 日東捕鯨会社委員佐伯菅雄 古川清造 宛 明治一五年

一綴 四九四

日東捕鯨社金受取簿 佐伯留主中 明治一六年

横長半 仮一冊 四九六

弁事辭令 日本捕鯨会社 明治一六年

二通 四九六

監督補辭令 日本捕鯨会社 明治一六年

二通 四九六

日東捕鯨会社支社設置願 日東捕鯨会社支社設置願 畠田平内宛 明治一六年	社長代理飯田景武 郡長	五通	四九七
日東捕鯨会社電信・書狀	佐伯菅雄宛 明治一六年	一綴	四九六
日東捕鯨会社總合委任狀	佐伯菅雄宛 明治一六年	一綴	四九六
臨時總會決議錄	日東捕鯨会社 明治一六年	一綴	四九七
菅等理事辭令	日東捕鯨会社 佐伯菅雄宛	二通	四九三
第五等支社長辭令	日東捕鯨会社 佐伯菅雄宛	一綴	四九二
規則達書綴	日東捕鯨会社山形第五支社 明治一六——一八年	一綴	四九二
本社往復書綴	日東捕鯨会社第五支社 明治一六——一七年	一綴	四九三
本社往復通信扣綴	日本捕鯨会社第五支社佐伯菅雄 明治一六——一八年	一綴	四九三
株主往復書綴	日本捕鯨会社第五支社 明治一六——一七年	一綴	四九四
仙台区役所松倉恂書狀	菅克復宛 日東捕鯨会社 定款・創立大意添	一通	四九五
暗号電信文案	日東捕鯨会社仮事務所 第五支社長佐伯菅雄宛 明治一七年	一通	四九五
鮑海郡株主宿所簿	日東捕鯨会社	一綴	四九六
(山形弘込株主名簿)	日東捕鯨会社	一綴	四九七
日東捕鯨会社書類〔書狀・會計書類・印鑑届〕		一袋	四九八
捕鯨船写真		一枚	四九八

捕鯨之図	日東捕鯨会社第一支社	三枚	四九八
(日東捕鯨会社第五支社關係請取書)		一綴	四九八
第五支社長・同詰非職辭令	日東捕鯨会社 佐伯菅雄外宛 明治一八年	一通	四九三
大日本水産會			
大日本水産會主旨及會則	同會仮事務所 明治一五年	版一冊	四九三
大日本水産會通常會員之証	佐伯菅雄 明治一八年	一枚	四九四
大日本水産會會費金額領收証	佐伯菅雄宛 明治一八年	一通	四九五
大日本水産會報告	第五九・七一號・附錄共 明治二〇年・二二年	刊二冊	四九六
開國社主法	明治二三年	版一冊	四九八
開國社海業洪益說		版一冊	四九二
日本鐵道會社			
日本鐵道會社株主姓名簿	明治一六年	版一冊	四九八
(日本鐵道會社第一募集株式金弘込通知)			
郵便為替願書・書留郵便物請取証添	日本鐵道會社 佐伯菅雄宛 明治一八年	板三通	五〇〇
日本鐵道會社書狀	佐伯菅雄宛 明治一八年	一通	四九八
水 室			
守護員協議決定	佐伯菅雄外 明治二六年	一通	五〇四
借地証券〔水室地・大池〕	佐藤善藏・阿部佐七 佐伯菅雄宛 明治二六年	一通	五〇五

水室日記 佐藤・阿部 明治二六・二八年

橫長美 二冊 五〇七

(水室ノ事決定書) 明治二七年

橫長美 一冊 五〇七

水貯藏願 佐伯椋子 市警察署長宛 明治二七年

一通 五〇六

為取換約定書

佐伯椋子・渡辺久右衛門

半 一冊 五〇九

水雪販売取締規則(写)

佐藤政藏 明治二八年

水売上ケ金并ニ諸入費折半受取証 渡辺久右衛門 佐藤政藏宛 明治二八年

一通 五〇八

水雪検査証 水検査執行通知添 山形市警察署 佐藤政藏・佐伯幹子宛 明治二八―三一年

五通 五〇八

(水室雜書類)

三通 五〇三

政治・社会

選挙

衆議院員撰挙投票所入場券 市長浜村勘太郎 佐伯實雄 明治二五年

一枚 四八〇

懐旧同盟

懐旧同盟親睦会員組合名簿 明治二二年

半 一冊 三三〇

親睦社申合簿 明治二二年

橫長半 一冊 三三〇

懐旧同盟親睦会器具調簿 明治二二年

半 一冊 三三二

懐旧同盟親睦会會計簿 明治二〇年

半 一冊 三三三

懐旧同盟親睦会規定書 明治二六年

半 一冊 三三三

同盟諸規則 明治二六年

半 一冊 三三四

親睦会買物帳 佐藤寅藏 大正四年

橫長半 一冊 三六七

みたま 社祭費補助金受取帳 明治一七年

橫長半 一冊 四八六

祖靈祭講社会計簿 佐々木孝吉・曾根八十八 明治二二年

橫長半 一冊 三六六

献納

軍資金献納申出書・懐旧同盟親睦会々員名簿・從軍者家族扶助料及送別義金申込書并領收証・震災義捐金領收証 佐伯實雄 明治二七・二八年

一綴 四六六

献納金取扱手續中抜萃及注意

版一通 四六七

献納金申出者ノ心得 海軍省經理局 (明治二七年)

版一通 四六八

軍資金献納承認狀 海軍經理局長川口武定 佐伯實雄 明治二七年

二通 四六九

軍資金献納承認狀 陸軍恤兵監大藏平三 佐伯實雄 明治二七年

二通 四七〇

軍資金献納領收証書 中央金庫 佐伯實雄宛 明治二七年

二通 四七二

軍資金献納領收証書 中央金庫 佐伯實雄宛 明治二七年

二通 四七三

從軍者家族扶助料及送別費第貳回募集主意書 雄倉茂次郎外 佐伯椋子宛 明治二八年

版一通 四七三

從軍者家族扶助料及送別費義金領收証 雄倉茂次郎 佐伯椋子宛 明治二八年

一通 四七四

(歩兵第四旅団台湾征討概況告知) 山形市長雄倉茂次郎 佐伯椋子宛 明治二八年

版一通 四七五

從軍者家族扶助料精算書及報告 雄倉茂次郎外 佐伯椋子宛 明治二九年

版一通 四七六

軍資金軍用品・從軍者家族扶助金寄附賞狀 縣知事菊池九郎 佐伯椋子宛 明治三〇年

二枚 五八

山形市火災罹災貧民救助金寄附賞狀 縣知事木下周一 佐伯青雄宛 明治二八年

一枚 五八

貧民救助義捐金寄附賞狀 領收証添 知事押川則吉 佐伯椋子宛 明治三一年

一枚 五八

市有地買収費寄附賞狀 知事関義臣 佐伯椋子宛

一枚 五八

(第三十二聯隊兵營敷地献納行賞送達狀) 市長雄倉茂次郎 佐伯椋子宛 明治三三年

板一通 五八

日露戦争出征

陸軍出征 留守宅必携 生田目光 明治三七年

菊半 版一冊 四四

步兵第三十二聯隊 出征軍人留守宅之注意書 後備步兵第三十二聯隊 同聯隊補充大隊 (明治三七年)

四六 版一冊 四四

佐伯正悌宛送狀類 佐伯椋子 明治三七・三八年

一袋 四四

(佐伯大尉負傷通知) 補充大隊 佐伯椋子宛 明治三八年

一通 四四

井上大尉書狀 佐伯大尉宛

一通 四四

山形將校婦人会趣旨書 (明治三七年)

板二枚 四四

山形將校婦人会規則

板二枚 四四

出征第三十二聯隊 真綿募集趣旨 山形將校婦人会 下士卒追送物品 明治三七年

半 板二冊 四四

山形將校婦人会関係時類

一袋 四四

秋田補充大隊白井重士書狀 佐伯幹子宛 明治三七・三八年

三通 四四

步兵第四聯隊中村正明書狀 佐伯幹子宛 明治三七・四〇年

八通 四四

步兵第四聯隊中村正明書狀 佐伯正悌・中村長次宛 明治三七年

二通 四四

鶴岡町中村正氏書狀 佐伯椋子宛 明治三七・三八年

五通 四四

鶴岡町中村正氏書狀 佐伯幹子宛 明治三七・三八年

五通 四四

通常為替金・貨物受領証書 鶴岡中村正氏宛 明治三七・八年

四枚 四四

鶴岡町中村仙書狀 佐伯椋子宛 明治三七・三八年

一二通 四四

鶴岡町中村仙書狀 佐伯さより子宛 明治三八年

一通 四四

大阪市中村長次書狀 佐伯椋子宛 明治三七年

一通 四四

(陸軍少尉中村長次戦死祭文控) 佐伯椋子宛 明治三五年 (明治三八年)

一通 四四

步兵第三十二聯隊大沼直輔書狀 佐伯椋子宛 明治三八年

一通 四四

宮城県野蒜村大沼久子書狀 佐伯椋子宛 明治三七・三八年

三通 四四

宮城県野蒜村大沼十右衛門書狀 佐伯椋子宛 明治三七・三八年

一〇通 四四

東京市河村梅吉書狀 歩兵第三十二聯隊佐伯大尉宛
明治三十七年

東京市河村梅吉書狀 佐伯桜子宛 明治三十七年

歩兵第三十二聯隊佐藤専次郎書狀 佐伯桜子宛
明治三十七年

大阪市佐藤専次郎書狀 山形いはふち安次宛
明治三十七年

歩兵第三十二聯隊志賀直方書狀 佐伯桜子宛
明治三十八年

東京市志賀直道書狀 内国通運会社送状添 佐
伯桜子宛 明治三十七—三十八年

東京市志賀直道書狀 佐伯狭依子宛 明治三十七年

高橋とし書狀 佐伯桜子宛 (明治三十七年カ)
一〇月

歩兵第三十二聯隊本田清助書狀 佐伯桜子宛
明治三十八年

山形湯浅秀一書狀 佐伯大尉宛 明治三八・三十九年

山形湯浅千代書狀 佐伯桜子 (明治三十七年) 一一
月

雁之跡〔書狀控〕 桜子 明治三七・三十八年

歩兵第三十二聯隊ノ弔魂祭 同隊長高山公通
明治三十八年

書 狀

佐伯菅雄書狀

佐伯菅雄書狀〔村山郡神職触頭被仰付ニ付〕
岩井五位右衛門嶋寛外宛

佐伯菅雄書狀控 千家尊福宛 明治一四年

佐伯菅雄・白田秀直賀狀控 大教正千家尊福宛
明治一四年

佐伯菅雄書狀〔控〕 古川・大畑宛

佐伯菅雄書狀 幹子宛

佐伯菅雄書狀 佐伯幹子宛 明治一九年

佐伯菅雄書狀 佐伯桜宛 明治一七—一九年

佐伯菅雄書狀控〔上地・戸籍關係〕〔佐伯広林
家戸籍書類〕添

佐伯菅雄書狀控

佐伯菅雄宛書狀

沼山村荒木芸夫書狀

石神喜平次書狀 明治三二年

市村書狀

入間昇書狀 明治一一年

大富村植松字書狀 明治二六年

農商課氏直直總書狀 明治一八年

宇色光海書狀 明治一八年

遠藤司書狀	三通	五〇〇	庄司平吉書狀	二通	五三〇
大畑弘國書狀	一通	五三三	淡江村東海林源次郎書狀 明治一二年	一通	五五五
高湯温泉場岡崎代吉・忠兵衛書狀 明治二六年	一通	五三三	淨俊書狀	一通	五三一
金華山奥海正書狀	一通	五〇六	上山白田秀直書狀	二通	四八〇
加藤英利書狀	二通	五〇二	神保哥賀書狀	一通	四七五
久米幹文書狀	一通	五〇三	千家尊福書狀 佐伯菅雄書狀控添	二通	四四八
藏田國治書狀	四通	四四四	千家尊福書狀 明治一三年	一通	四四九
桑野真微書狀 明治八年	一通	五〇三	千家尊福書狀 明治一三年	一通	四四〇
山口桑野真澄書狀 明治九年外	二通	四三七	米沢大乘寺広觀書狀 明治一九年	二通	四六一
高野山北室院書狀 明治一六年	一通	五〇四	高木彬書狀	一通	五三三
小島周作・騏三郎書狀	一通	五三三	東京忠愛社書狀請取証添 明治一七年	三通	五五五
東京後藤書狀	一通	五〇五	豐嶋千代丸書狀	一通	四九六
崑野賢曹書狀 明治一四年	一通	五五五	中山某書狀	一通	四六〇
志津村今野太郎右衛門・戸田忠宝書狀	一通	四七六	畠山義章書狀 明治一八年	一通	五五七
齋藤清澄書狀	一通	四四五	半沢久次郎書狀	一通	五五八
酒田齋藤清澄・飽海郡齋藤鈴藏書狀	一通	四五六	東京府古川嘉平治書狀	一通	五三三
柳永直書狀 明治一九年	一通	五〇六	逸見興造書狀	一通	五五九
佐藤芳男書狀 明治二七―二八年	六通四枚	四四〇	宝珠山主書狀 未(明治四年)	一通	五〇四
沢田総右衛門書狀	一通	五〇七	高橋榮春書狀	一通	四六三
沢田総平書狀	一通	五〇六	松野勇雄書狀	一通	五六〇
志戸田学校書狀	一通	四七九	軍報社松本書狀	一通	五〇五
會計課庄司永受書狀	二通	五〇元	丸山有晋書狀	三通	五三四

三浦満記書狀 明治一三年
毛利千秋書狀 明治一八年
元博物館書狀
武州森山策次郎書狀
山宮半四郎書狀 明治一九年
權少教正湯沢義路書狀 明治一九年
湯田中温泉在湯本五郎治書狀
和田十郎書狀 明治八年
渡辺淳良書狀
佐伯幹子宛書狀
佐伯三十郎書狀 明治二九・三〇年
ロンドン在佐伯美津留書狀 明治二九年
佐藤芳男書狀 明治二八・二九年
東京市新川丑太郎書狀 明治三一年
足利町田部井猪子書狀 明治三〇年
東京市中山吉樹書狀 明治四〇年
佐伯桜子宛書狀
木下三〇書狀 明治四三年
東京市飯島タケ書狀 明治四三・四四年
東京府巖本清子書狀 明治四二年
佐賀市うすのぶ書狀 明治四一・四二年

一通 四三三
一通 四六三
一通 五〇五
一通 五〇七
一通 五〇三
一通 五〇七
一通 四六三
一通 五〇六
一通 五〇六
一通 五〇六
三通 四八四
一通 四八五
九通 四三三
一通 四三六
二通 四三七
一通 四八六
一通 四八六
二通 四九〇
一通 四九一
二通 四九二

谷地町工藤千和子書狀 明治四一年
東京市ニテ小嶋さく書狀 明治四一年
旭川佐伯はま子書狀 明治四三年
東京市佐伯みつる書狀 明治四四年
東京市佐伯もと書狀 明治四四年
東京市佐藤さく書狀 明治四五年
佐藤芳男書狀 明治二八年
明治廿八年以降金員受取帳 佐藤いし 明治二八・二九年
足利町田部井とき書狀 明治四一・四二・四四年
千葉町中村晃子書狀 大正元年
仙台市中村てる子書狀 明治四五年
朝鮮歩兵第三十一聯隊中村正明書狀 明治四五年
東京市中山都子書狀 明治四四年
西野慎一書狀
薬師堂再建入仏式案内狀 柏山寺住職富樫有晃外 明治四五年
佐伯正梯宛書狀
津山村赤塚善太郎書狀 大正五年
山形市大石泰正書狀 昭和一三年
東京市外佐伯照明書狀 昭和五年
東京市佐伯美津留書狀 明治四二年

一通 四九三
三通 四九四
一通 四九五
一通 四九六
一通 四九七
一通 四九八
七通 四九二
一冊 四九四
三通 四九六
一通 四〇〇
一通 四〇一
一通 四〇二
一通 四〇三
一通 四〇四
一通 四〇五
一通 四〇六
一通 四〇七
一通 四〇八
一通 四〇九

鎌倉町志賀直方書狀 (大正元年)	一通	四三〇
東京市中村剛吾書狀 明治四一年	一通	四三二
山形市中山直助書狀 大正七年	一通	四三三
日本棋院書狀 昭和五年	一通	四三三
山形市福島治郎書狀 大正八年	一通	四三四
東京市吉井幸藏書狀 明治四一年	一通	四三五
酢川温泉神社領収証 昭和五年	一通	四三六
東京土地改良株式会社清算事務所書狀 大正二年	一通	四三七
中央刀剣会本部書狀 大正二二年	一通	四三八
淀橋稅務署書狀 大正二二年	一通	四三九
(利息入金願通知) 山形銀行 大正五・九九年	六通	四四〇
受払報告 兩羽農工銀行 大正六・七七年	三通	四四一
○南蛮屏風關係書類		
東京帝室博物館高橋健自書狀 明治三九年	一通	四四三
東京帝室博物館書狀 明治三九・四〇・四三年	五通	四四三
横浜商業會議所書狀 明治四二年	三通	四四四
文部省書狀 明治四二・四三年	二通	四四五
建築工芸協會書狀 大正三年	二通	四四六
史料編纂掛事務主任三上參次書狀 大正五年	二通	四四七
明治三十九年特別展覽會列品目錄 東京帝室博物館 明治三十九年	刊五冊	四三八

嘉永以前西洋輸入品及參考品目錄 東京帝室博物館 明治三十九年	刊一冊	四三九
佐伯狹依子宛書狀		
東京市飯島タケ書狀 明治四二年	一通	四四〇
東京市橋本八重書狀 明治四一年	一通	四四二
兩角たが書狀	一通	四四三
佐伯十三郎宛書狀		
札幌区佐伯收書狀 明治二八年	一通	四四三
東京市公国公使館内佐伯その書狀 明治二六年	三通	四四四
埼玉県佐伯正雄書狀 明治二九年	二通	四四五
東京市・札幌佐伯美津留書狀 明治二七・二八年	四通	四四六
東京市佐伯ミ子書狀 明治二九・三〇年	七通	四四七
佐伯芳男書狀	一通	四四五
高等商業學校成瀬隆藏書狀 明治二二年	一通	四四六
矢野二郎書狀 (明治二三年)	一通	四四九
その他書狀		
植松學書狀 神道事務分局庶務課宛	一通	四四五
佐伯十三郎書狀 (下書) 佐藤芳男宛	一通	四四三
佐伯收書狀 宮城利久治・曾根匡太郎・崑野賢曹宛	一通	四四三
埼玉県佐伯正雄書狀 金鑽神社堀越弥三郎宛 明治二七年	一通	四四〇
曾根勝翁書狀 佐伯收宛	一通	四三八

東京市精英堂書狀 神道大成教神遍講社宛 明治一八年

桐生市中野清書狀 大間々町盛蓮堂宛

細矢磐山書狀 曾綱勝平宛

山本道言書狀 古川清造宛

学 芸

詠 草

詠草 佐伯菅雄

詠草 (佐伯菅雄)

詠草 醉狂舎吐溜

詠草〔四段雲泥引〕 千家尊福

神 道 書

日本 祭天神於弘鬼城記 菅根雄心和氣(佐伯菅尊) 明治二六年

小白川庄弘鬼神社縁起 金剛峯寺遍照金剛(明治二六年)

日本 武尊祭天神於弘鬼城記 明治二七年

可美加勢 (佐伯菅雄)

神教要語

神隨・尊皇

旧夷紀九(写) (佐伯菅雄)

神教要旨略解(写)

山形県丑寅教誌略 明治一二年

神道大意 明道会 明治四〇年

縁 起 書

生国魂神社御神徳略記 松下隆和 明治八年

小御門神社御由來記 沢田総右衛門 明治一四年

上記山陵実地考 大分県吉良義風 明治九年

開成山太神宮記

雑 書

大和錦襦記〔宝物什器〕 佐伯菅雄

山形県道駅村略記

かな づかひたものかどみ 宮崎蘇庵著 明治一九年

潜中記地 清河正明著 明治一八年

報徳訓(写) 二宮尊徳・中井弘書

所得税法註解 中村信次郎 明治二〇年

登記請求備用 片山庸作 明治二二年

大日本武徳会設立趣旨及規則 明治三一年

雑誌・新聞

神道報告 第一―四輯 值賀知雄編 明治一八年
三一六月

朝陽新報 一三九・二四一號 大東社 明治一 六年五月	半	刊板二冊	五〇二
山形大同新聞 三三三九號 明治三三年一二年		刊一枚	五〇六
書籍目録			
(購求書物受取書) 万箋閣他 佐伯宛 (明治三 年)		二二通	五〇六
平田大人並門人著述書入費目録 (明治六年)		板一枚	五〇三
(書籍出納帳) (明治初年)	半	一冊	五〇三
書籍貸借明細帖 明治二八年	横長半	一冊	五〇四
書籍授受名簿	半	仮一冊	五〇〇
能組		一卷	三三七
能組			
繪 図			
境内絵図			
佐伯境内			
佐伯菅雄境内龜絵図面 佐伯菅雄 明治四年	80×120	一鋪	四六七
佐伯菅雄上地絵図面 明治五年	112×56	一鋪	四六六
(佐伯菅雄居宅地分間絵図) 佐伯菅雄 県役 所宛 明治五年	80×38	一鋪	五三六
(佐伯菅雄地中絵図)・反別立附米記 明治六 ・七年		一枚	五三三
(佐伯菅雄地中入札絵図) 地蔵町戸長江口円蔵外 明治七年	74×54	一綴鋪	五三九
佐伯菅雄現旧境内図面〔測量図〕 明治八年	88×58	八鋪	四七九
佐伯菅雄上地元境内之図 佐伯菅雄 明治九年		一枚	四七四
佐伯菅雄現旧境内図面	106×83	一枚	五三三
佐伯菅雄上地絵図面	106×83	一鋪	五三〇
(佐伯菅雄境内囲地・墓所囲地分間絵図)	50×110	一鋪	五三一
(佐伯菅雄境内除地上地関係絵図)			四八六
1 除地上地外門前坪数取調図控 佐伯菅雄 山形県宛 明治五年		一枚	
2 佐伯菅雄朱印外住居井上地絵図面控 山形 県宛 明治五年		一枚	
3 官林樹木取調書 曾根匡太郎・江口円蔵 県宛 明治七年		一通	
4 (上地分立附米取調書) 明治六・七年		一枚	
5 墓地反別書上写 明治七年		一枚	
6 佐伯菅雄現旧境内図面 佐伯菅雄 明治七 年	80×76	一鋪	
7 除地上地門前等取調書上写 明治七年	80×74	一鋪	
8 佐伯菅雄上地元境内之図写共 明治九年		二枚	
9 山口村ノ内上組字菅ノ原一円分見図		一枚	
愛宕社			
愛宕社地并天童社龜絵図面 佐伯菅雄 明治四年	80×80	一枚	四六八

(北目村愛宕社境内其外分見絵図面控) 佐伯収・佐藤庄治外 県役所宛 明治五年

5×72

一鋪 五三四

城山・水晶山等図 佐伯櫻子 明治三二年外

三枚 五三九

天童愛宕社地図・愛宕山背之図 (明治四五年頃)

二枚 四七九

貫津村三社

(貫津村熊野社・羽黒社除地分間絵図) 荒沢六郎 県役所宛 明治五年

二枚 五三五

(貫津村熊野神山除地絵図) 貫津村荒沢六郎

一枚 四〇〇

貫津村宝幢寺領赤引内絵図 (明治二〇年代)

一枚 五四二

貫津村羽黒神社清水神社境内除地之図

一枚 五三九

その他

水晶山絵図 梅本四郎外 未九月 (明治四年)

一枚 五四〇

(大和神社境界分間絵図控) 佐伯菅雄代 佐伯収 県役所宛 明治五年

一枚 五三六

(若木神社境内図)

一枚 五〇三

田畑絵図

元朱印地 地坪限絵図面控 鮎洗村 明治五年

横半半

一冊 四〇五

元朱印山形西田表現地絵図面 佐伯菅雄 明治九年

一綴 四六〇

明治村大字灰塚地田地絵図 (明治三三年頃)

二六枚 四八三

字東原絵図写

三枚 四八三

下条田地図 (青字真)

80×115

一鋪 四八四

(佐伯菅雄小作地田畑絵図)

一〇枚 五三四

建物絵図

(元宝幢寺神殿図并木割帳)

四七三

1 神殿正面図

52×82
56×80 二枚

2 神殿妻面図

40×56 二枚

3 神殿断面図

80×56 二枚

4 神殿断面図

80×111 二鋪

5 平面図

56×80 二枚

6 石据及床力伏ノ図

56×80 二枚

7 小屋伏ノ図

56×80 二枚

8 神殿建具及欄間図

40×167
38×155 二鋪

9 神殿建具外天井ノ断面図

40×152
37×155 二鋪

10 神殿軸割図

80×56
38×155 一鋪一枚

11 神殿木割

半 二冊

出雲大社神殿之図
付御内殿・御神座丈量図

30×155 一鋪 四七五

再建築師堂式百分一縮図并諸費総額

板一枚 四七五

『史料館所蔵史料目録』 第九集補遺

16 三意

佐藤・平松書狀 曾根・平松宛

灰塚村之内宝幢寺領御繩帳 寛文二二

普請場庭絵図面 灰江村永小作人源次郎 安政三

御朱印地絵図面 灰江村源次郎 宝幢寺地方役所宛
明治一

元朱印地坪限絵図面 灰江村東海林源次郎 明治五

社寺領上地跡処分規則(写)〔内務省達〕 明治七
・九

(元朱印地ノ地主間違ノ調書江奥印仕候自訴狀)
佐伯菅雄 明治八

元朱印地之儀ニ付願書 佐伯菅雄 山形県参事薄井
竜之宛 明治九

出頭御届書(下書) 佐伯菅雄 明治一〇

羽前国村山郡灰塚村地内元朱印地証抛物総目録
佐伯菅雄 明治一〇

証抛物之写 佐伯菅雄 明治一〇

証抛物之写 第四号附録・第八号附録 佐伯菅雄
明治一〇

証抛物 第十三号 佐伯菅雄 明治一〇

(証抛物之写下書)

天童之内灰塚村御繩水帳宝幢寺分拔書・天童之
内灰塚村御繩打水帳御前帳之写(写) 元和九
(証抛物之写下書)

(証抛物之写下書) 第九・十・卷・式号
(往古觀蓮院支配田畑今般支配被仰付ニ付請書写)
(証抛物之写下書)

半半

一綴 二冊 二六〇

山形県第一大区十三小区羽前国村山郡灰江村東
海林源兵衛外宅名ヨリ被相係同国郡灰塚村地
内元朱印地之事件ニ付訴訟入費手録 明治一〇
訴訟入費一覽表 金請取証添 佐伯菅雄 東海林
源兵衛宛 明治一一

横半半

一綴 二綴 二八〇

作徳金訳書 東海林源次郎 佐伯菅雄宛 明治一一
耕地小作証書 東海林源次郎外 佐伯菅雄宛 明治
一一

半

一冊 二八四

田畑支配約定証券 灰江村阿部幸八 佐伯菅雄宛
明治一二

灰塚田畑手作雇人等日記 明治三三

半

一冊 二八六

(灰塚村耕作雜記) 明治二四

半

一冊 二八七

灰塚村田畑覚 宝幢寺外末寺 延宝四

一通 二八八

(灰塚村兵部正善院追放申渡書) (漆山代官) (延
宝四)

一通 二八九

為數金并米請取書 漆山村八右衛門等八人 宝幢寺
内和知庄兵衛・平松弥兵衛宛 延宝四

一通 二九〇

灰塚村之内宝幢寺領田畑領り証文 漆山村庄右衛
門 宝幢寺内和知金右衛門外宛 延宝九

一通 二九二

灰塚村之内宝幢寺知行田地領り証文 灰塚村觀行
院・左京 徳性院外宛 宝永五

一通 二九三

(年貢米上納高意得違ニ付御詫口上書) 灰塚村
觀蓮院 宝幢寺役場宛 文化八

一通 二九三

(觀蓮院支配田畑取上御下金被下置ニ付請書) 洪
江村源次郎 宝幢寺役場宛 慶応三
(往古觀蓮院支配田畑今般支配被仰付ニ付請書)
江村郎 宝幢寺役場宛 慶応三
畑質敷放証文(写共) 觀蓮院 源次郎宛 天保一〇
田畑質地証文(写共) 觀蓮院 源次郎宛 弘化二
永小作申渡券証 雙宮門前庄屋今野真作・稻葉泰八
源次郎宛 弘化四
取替シ申田畑証文 源次郎 觀蓮院宛 弘化四
為取替申田畑証文 觀蓮院 源次郎宛 弘化四
畑質敷放証文 觀蓮院 源次郎宛 弘化五
金子借用田地書入証文 觀蓮院 源次郎宛 嘉永三
(先祖之科御赦免願書) 灰塚村左京外 徳性院宛
(宝永四)
(立谷川洪水仕田畑多分押流ニ付御手当被下置度
願書) 觀蓮院 宝幢寺役場佐藤用助宛 寛政九
(新山権現若宮八幡宮打泥両院支配御請書) 觀修
院・觀蓮院 徳性院宛 弘化二
(橋木朽損ニ付御神木宅本被下置度杉苗奉納植継
願書 觀修院・觀蓮院 宝幢寺役所宛 弘化二
(灰塚村御朱印田畑書類持参日延願書) 源次郎
宝幢寺地方役所宛 安政五
傍庁願 北目村佐藤今内 明治一〇
灰塚中ノ目村里正保書状 佐伯菅雄宛
灰塚村元小作人一同ヨリノ諸受取書類并同地植
付桑木買受代金受取書 佐伯菅雄宛 明治二一
二三

一通 二六四
一通 二六五
一通 二六六
一通 二六七
一通 二六八
一通 二六九
一通 二七〇
一通 二七一
一通 二七二
一通 二七三
一通 二七四
一通 二七五
一通 二七六
一通 二七七
一通 二七八
一通 二七九
一通 二八〇
一通 二八一
一通 二八二
一通 二八三
一通 二八四
一通 二八五
一通 二八六
一通 二八七
一通 二八八
一通 二八九
一通 二九〇
一通 二九一
一通 二九二
一通 二九三
一通 二九四
一通 二九五
一通 二九六
一通 二九七
一通 二九八
一通 二九九
一通 三〇〇

山形西田表之内御城之水帳抜書之写 宝幢寺領
(写) 貞享元
御朱印高附帳(写) 宝幢寺亮弁 寺社奉行所宛
貞享元
判取 弘化二
大疏第四 空玄之訳 頼譽房写 明暦二
(神曼荼羅カ) 有雄 天正一六
伝法院流印可前行所作
疏ノ二通
(灌頂道場図)
成就院書状(伝法灌頂噴徳可勤ニ付) 宝幢寺宛
(愈伽之勸行修法祈願文)
(平塩寺年行夏之訳ニ付覚)
(広範栄蔵平塩寺江之出入訴状差出候ニ付覚下書)
(平塩山泉蔵坊呼出之宝幢寺役院差紙) 平塩寺
主席宛
(平塩寺書上ニ付覚)
(書付印判ニ付一札) 宝幢寺役者 平塩寺衆徒宛
(明日印判持参可仕念書) 寺津村教乗院 延命院
宛(正徳四)
(寺津村一乗院父子出入一件書類目録) 弁応・
重栄
(理不尽ニ金蔵打擲仕疵為負候儀御有免願書)
慶吉重吉・下門前常吉 役所宛 寛政一〇

半 飯一冊 二八三
横長美 一冊 二八三
横美半 一冊 二八三
半 一冊 二八四
一枚 二八五
一通 二八六
一通 二八七
一通 二八八
一通 二八九
一通 二九〇
一通 二九一
一通 二九二
一通 二九三
一通 二九四
一通 二九五
一通 二九六
一通 二九七
一通 二九八
一通 二九九
一通 三〇〇
一通 三〇一
一通 三〇二
一通 三〇三
一通 三〇四
一通 三〇五
一通 三〇六
一通 三〇七
一通 三〇八
一通 三〇九
一通 三一〇
一通 三一〇

(野火消火仕末口上書) 門松坊・門竹坊 役場宛 文化九	二通	二六五	久能寺書狀 岡田勘兵衛・同役人宛	一通	二六六
(山口村兵藏借金一件済口証文) 庄治郎外 平松 右源太宛 文化一〇	一通	二六五	成就院書狀 宝幢寺宛	一通	二六七
(地中吉兵衛物置小屋の出火ニ付吟味口上書控) 徳性院 志村万右衛門・平吹易十郎宛 文政元	一通	二六五	正六書狀 平松弥總太宛	一通	二六六
(木挽職安孫子広八立木伐倒候節虚空蔵尊拜所破 壞中唯今迄之通職分被仰付度願書) 三条五郎 兵衛外 院代宛 天保八	一通	二六五	大謙書狀 月山寺宛	一通	二六六
金子借用田地書入証文 [宝幢寺台所要用品] 奈 貴村五郎兵衛 新吉宛 嘉永七	一通	二六五	大日寺書狀 崑野省吾宛	一通	二六七
質鋪放田地証文 門前村喜八 塚野目村金十郎宛 万 延二	一通	二六五	平松某書狀 延命院宛	一通	二六七
(渡戸地付漆木実失申候ニ付弥七郎計不申出候儀 口上之覚) 上山口村作右衛門 今村才兵衛宛 戌九月	一通	二六五	本間口助書狀 崑野謹司宛	一通	二六七
(御城御礼ニ付差紙) 羽州宝幢寺宛	一通	二六五	藥王寺書狀 新山寺外宛	一通	二六七
(御初尾神納ニ付口上之覚) 高城孫四郎内加藤半 太夫 賢貞坊宛	一通	二六五	役方書狀 国次郎宛	一通	二六七
(天童領等領庄名ニ付伺書案)	一通	二六五	筒井明俊書狀 佐伯宛 明治二三	一通	二六七
院主書狀 院内一同宛	一通	二六五	(天童愛宕山下絵図写) 東根役所宛 天和三	一通	二六七
院内一同書狀 崑野謹司宛	一通	二六五	(藥師山絵図力)	一通	二六七
真福寺内法明書狀 宝幢寺宛	一通	二六五	(天童御供所并八楯絵図)	一通	二六七
飯田周防守経明・北村長門守季保書狀 勝俱胝院宛	一通	二六五	(畑地新川絵図) 道清村善兵衛・久野本村安助 宝幢 寺門前役場宛 元治元	一通	二六七
遠藤金兵衛書狀 徳性院・平松忠吾宛	一通	二六五	(地蔵町分冊入絵図)	一通	二六七
観宝書狀 [勸獎金大仲金等元利滞ニ付] 照洲宛	一通	二六五	(竜興寺附近絵図)	一通	二六七
観宝書狀別啓 (照洲宛)	一通	二六五	(普請柱割図)	一通	二六七

宝幢寺文書追加解題

文書の伝来と特色

文書の伝来

本文書は、昭和三四年度に旧蔵者東京都練馬区関町四丁目六二〇番地佐伯狹依子氏から当館へ移譲を受けて収集し、同三十七年三月、『史料館所蔵史料目録』第九集に収めた宝幢寺文書の残余分であり、昭和四三年に当館が収集したものである。同年たまたま調査研究のために佐伯氏宅を訪れた整理担当者である筆者が、前記昭和三四年度収集分（以下前収集分と略す）以外にも、まだ大量の文書が同家に残されているのを知り、狹依子氏令孫和雄氏の好意によって、本文書の譲渡を受けて当館が収集するに至ったものである。

前収集分をも含めた全宝幢寺文書は、出羽国村山郡山形地藏町に所在した新義真言宗摩訶迦羅山（大黒山）宝珠院宝幢寺に伝来した戦国期以降の寺院史料であるが、安政六年（一八五九）三月第四〇代住職となった浄珊が、明治三年（一八七〇）一月に復飾して佐伯菅雄と改称し、天童愛宕神社等に奉仕して以来の神社・神道史料と、大正末期までの佐伯家の私文書を含むおよそ一万点にのぼる龐大な文書群である。この文書が佐伯家の東京転居とともに山形より全てひき移され、同家の倉庫に保管されていたのであるが、昭和三四年・四三年に二度にわたって当館に移譲されたわけである。

本文書の特色

本文書は、前収集分もそうであるが、文書を伝来した旧蔵者から直接に収集したために、分類・整理上いくつかの規定も受けざるをえない特色を持っている。すなわち文書の原型が比較的良く保存されている点である。

本文書はその個々の史料の成立の時点から、旧蔵者の必要に応じて幾度かの整理が加えられている。それは近世後期・末期に及ぶ天童愛宕山・山口村水晶山（大和神山）の山論において、その証拠書類として必要なものが抜き出されてまとめられたこと、明治初年以來、同四五年に及ぶ旧寺領五ヶ所山林、旧境内附屬地の下戻申請訴訟によってさらに大量の証拠書類が引き抜かれてまとめられたこと（この整理は大部分狭依子氏の姉佐伯桜子氏によってなされた）、そして狭依子氏が多分転居のさいと思われる整理を一部施しているのである。従ってそれらの文書は封筒・袋・紙包および紐などによって一括され、その多くは文書内容が簡単に注記されているのである。

分類・整理に当たっては右の原型をなるべく生かすことを考慮して行なったが、何分にも訴訟の必要という観点からのみの仕分けられていることと、実際には原型がだいぶ崩れてしまい、全く関連がない文書が混在していることから、それを破棄して独自の整理を行なったものがむしろ大部分である。

史料の配列に当たって、証文・書状・絵図・簿冊等でその表題のみでは無関係と思われるものが同所に配列されているものは、右の文書の原型のうちに明らかに関連性があると思われるものを一括配列したからである。またとくに第二部において、関係書類・雜書類等と表記したものは、右の一括文書のうち葉書大から半紙大寸法のもので、関連はあると思われるが、下書・反故に類する史料の価値の低いと思われるものを選択せずに数枚ないし十数枚まとめて角封筒に入れたもので、数量は一袋と表記した。

前収集分が、寺院文書のうち、仏教や僧侶に関するもの、朱印地の支配・收納、寺家の経営に関する史料が多いのに対し、本文書は第一部では、由緒・縁起や院家兼帯に関する形式の整った文書、伝法印信類や経論疏類、山論関係文書、書状ならびに宝幢寺再建関係および林野関係絵図が多いが、これは佐伯家で大切に保存されていた文書が残されて前収集分から除外されたからである。また第二部の神社・神道および佐伯家関係文書が多いのも特色あり、これによって山形県下における神仏分離・神道運動の様相が十分究明されうるものと思われる。

宝幢寺の概略

宝幢寺の由緒・興廃は目録第九集所収解題に詳述してあるので参照されたい。以下は最低必要に応じて略述しよう。

摩訶迦羅山（大黒山）宝珠院宝幢寺は、天平三年（七三二）行基が出羽国最上郡滝平に草創したと伝える真言寺院であるが、最上氏の祖斯波兼頼は、延文元年（一三五〇）山形入部と同時に醍醐より道助を招請し、滝平より山形地蔵町に寺宇を遷して中興し、鎮護国家の祈願所とした。これ以来宝幢寺は兼頼以後の最上氏歴代の保護を受けてきたが、天正年間の最上義光・天童城攻伐に際して、同寺住職尊海がその法力により城中妖気を攘い退けたためをに同城が陥落し、この奇功に感賞した義光が新たに寺領千七十石加え、道助以降の三百石に併せて千三百七十石にしたと伝えられる。同一二年（一五八五）義光は、天童山頂に愛宕権現社を建立したが、尊海はその導師となり、以後宝幢寺は、愛宕権現社の別当寺に位置することとなった。

（註）「宝幢寺興廃録」〔三〇五〕によれば、宝幢寺は古く動首寺または瑜伽寺と呼び、滝平に在ったとされる。吉田東伍『大日本地名辞書』の滝之平の項には、「今、大曾根村の管内にて、古館の西一里、山麓の孤村なり、瑜伽寺の廃址あり。○新風土記云、貞観八年出羽国瑜伽寺、預定額〔清和実録〕、瑜伽寺は、今東村山郡滝平村に旧址あり、其塔頭宝塔院は、後移りて山形城下の地蔵寺と為るといへり」とあって、瑜伽寺すなわち旧宝幢寺の所在が認められるようである。『日本三代実録』卷十三、貞観八年九月八日項参照。

出羽国は古くから出羽三山を中心とする信仰——修験道の歴史をもち、村山郡の白鷹山系は真言系の道場であった。時代が下るに従って、その山麓に寺宇がひき遷される事実が多く認められるが、滝平もまさに白鷹山系中にあり、南北朝期に村山盆地の中核山形の地に宝幢寺宇が遷降したものと考えてよい。

道助以降の歴代住職法名から類推すると、天正頃まではその法流は意教流願行方と思われ、関東に広まった同流の慈猛意教方（下野難足寺）、伊豆流（伊豆走湯山密蔵院）等と何らかのかかわりがあったものと推測しうる。それが近世に入り、恐らく元雅の代・元和期に醍醐の法流（ここでは地蔵院流・玄方）に連なり、光台院を本寺とする支配体系に引き入れられ、ついで寛永期の有俊の代に及んで京都智積院の支配下に入って新儀派となるに至ったと考えておきたい。

このことから、宝幢寺は最上義光の時代には、出羽国領内真言一宗の惣録寺（触頭の性格）たる位置を与えられ、元和八年（一六二二）最

上義俊が改易されるまで、山形城内の祈禱に際して法頭の役を勤め、また領内真言宗僧侶は、最上氏の命によって宝幢寺に集会し、制戒を受けるを例とした。

最上氏改易後、宝幢寺に対する同氏の保護は失われたが、寛永一四年（一六三七）同寺住職となった有俊は、徳川將軍家とつながりをもち、同一八年宝幢寺へ退隠してから、正保元年（二六四四）越前大野より山形へ転封された松平大和守直基を介して、最上氏黒印状の寺院安堵方を願い出、慶安元年（二六四八）に至って、將軍徳川家光の朱印状が下附された。^註同時に有俊を頼って出願した宝幢寺門末や、他宗寺院に対しても、同年または翌年のうちに朱印状が交付され、爾余の寺社に対しては、貞享三年（二六八八）再度山形入部の松平大和守直矩（直基の子）の添状をもって下附された。これより最上氏旧領の寺社は幕府の統制・保護に服し、宝幢寺は諸色触事について領内寺院筆頭の地位を確保するに至り、山形城年礼に当たっても、ひきつづき初礼の待遇が与えられることになった。

宝幢寺は近世に入り、新義真言宗寺院として京都智積院・大和長谷寺小池坊両本山の支配下に属し、かつ本寺山城醍醐光台院の直末寺であった。そうして村山郡などに末寺・門徒を有し、延宝三年（二六七五）の本末帳作成を契機とする末寺支配の確立によって、三十二か寺の本寺として位置することになった（第1表参照）。また天童・中野・山形を中心とする村山郡二十五か村に散在する朱印地千三百七十石と（第2・3表参照）天童愛宕山など五か所の山林を支配して年貢を收取すると共に、寺内・末寺や天童愛宕社と山形宝幢寺の門前、その外いくつかの寺領村に居住する僧侶・修験・百姓らを従属せしめていた。

〔註〕「寛文度御朱印留」（史料館所蔵）所載の朱印社領のうち、ほぼ五〇石以上の出羽国内の寺社について、朱印状発行の最初の年月は慶安元年七月であり、陸奥国もほぼ同様であるから、奥羽においては慶安元年になつてはじめて朱印状発行すなわち幕府による寺社領の保護・統制がなされたといえよう。そしてこのことに対して宝幢寺有俊が一つの役割を果たしたと考えられるのである。なお、寺社領石高に石以下の端数のある寺社に対する朱印状は、例外なく翌慶安二年一〇月に発行されているのであるが、その理由は明らかではない（近刊『山形市史』第二巻参照）。

宝幢寺は朱印地をもつ朱印寺、学僧を交衆させて夏・冬の報恩講を常時開催する常法談林所、將軍年礼を許される独礼寺格であり、また

第1表 宝幢寺門末寺院一覽

	三 号 (延享3年)	所 在	本末(延宝3年)	本末(天明6年)
	大黒山宝珠院宝 幢 寺	村山郡山形地蔵町	醐光台院末寺	醍醐光台院末寺
1	弘鬼山神聖寺威 德 院	〃 小 白 川 村	宝 幢 寺 末 寺	宝 幢 寺 末 寺
2	熊建山長学院平 塩 寺	〃 平 塩 村	〃 末 寺	〃 末 寺
3	無量山遍照院誓 願 寺	〃 山形三日町	〃 末 寺	〃 末 寺
4	弥勒山慈尊院竜 福 寺	〃 山形諏訪町	〃 末 寺	〃 末 寺
5	延命山薩埵寺地 蔵 院	〃 山形地蔵町	〃 末 寺	〃 末 寺
6	大日山最勝院新 山 寺	〃 山形小性町	〃 末 寺	〃 末 寺
7	五仏山如来寺吉 祥 院	〃 山形十日町	〃 門 徒	〃 門 徒
8	正湯山遍明院月 山 寺	〃 山形皆川町	〃 門 徒	〃 門 徒
9	——— 常 福 院	〃 山形五日町	〃 門 徒	〃 門 徒
10	金剛山蓮華院長 慶(正法)寺	〃 長 崎 村	〃 門 徒	〃 末 寺
11	欣求山真如院安 養 寺	〃 上 反 田 村	〃 末 寺	〃 末 寺
12	等持山智泉院常 明 寺	〃 常 明 寺 村	〃 門 徒	〃 門 徒
13	衆縁山引攝寺宝 寿 院	〃 山 野 辺 村	〃 門 徒	〃 門 徒
14	谿水山法喜寺満 性(照)院	〃 杉ノ下村	〃 門 徒	〃 門 徒
15	法流山宝性寺宝 積 院	〃 鮎 洗 村	〃 門 徒	〃 門 徒
16	万徳山十輪寺宗 覚 院	〃 和 合 付	〃 門 徒	〃 末 寺
17	諏訪谷山修善寺清 光 院	〃 小 清 村	〃 門 徒	〃 門 徒
18	医王山花光院聚 師 寺	〃 東 根 村	〃 門 徒	〃 門 徒
19	仏日山利生院竜 興(光)寺	〃 〃	〃 門 徒	〃 門 徒
20	医王山東光院養 運 寺	〃 野 田 村	〃 門 徒	〃 末 寺
21	宝亀山歆喜寺喜 福 院	平鹿郡角間川村	〃 末 寺	〃 末 寺
22	池沢山究竟院広 福 寺	村山郡上ノ山城内	〃 末 寺	〃 末 寺
23	秀覚山称光寺清 浄 院	〃 楯 岡 村	〃 門 徒	〃 門 徒
24	雨宝山福聚寺多 門 寺	〃 天童村田町	〃 門 徒	〃 門 徒
25	——— 大 光 院	〃 貫 津 村	〃 門 徒	〃 門 徒
26	青色山円光寺本 覚 院	〃 飯 田 村	〃 門 徒	〃 門 徒
27	——— 一 乘 院	〃 寺 津 村	〃 門 徒	〃 門 徒
28	伏熊山護真寺阿 弥 陀 院	〃 伏 熊 村	平 塩 寺 門 徒	〃 門 徒
29	——— 善 性 院	〃 小 立 村	誓 願 寺 門 徒	〃 門 徒
30	水岸山慈眼院観 音 寺	〃 上ノ山十日町	広 福 寺 門 徒	〃 門 徒
31	——— 順 行 院	〃 上ノ山	〃 門 徒	〃 門 徒
32	金宝山一乘院高 仙 寺	〃 上ノ山仙石村	〃 門 徒	〃 門 徒

第 2 表 宝幢寺末朱印地一覧

朱印宛先社寺	所 在	別 当	所 在	朱印石高	内 訳
愛宕権現社	天 童	宝 幢 寺	山 形	1370. ^石	天童1144. 山形36. 中野190.
天 神 社	小白川	威 徳 院	小白川	270	小白川240. 妙見寺30.
熊野権現社	平 塩	平 塩 寺	平 塩	144.9余	平塩149.9余
阿 弥 陀 堂	山 形	誓 願 寺	山 形	24	山形西田表14. 南館10.
諏訪明神社	山 形	竜 福 寺	山 形	20	中野20.
地 蔵 堂	山 形	地 蔵 院	山 形	14	小白川10. 山形西田表3. 南館1.
新 山 寺	山 形			10	山形西田表10.

寛政六年（一七九四）、醍醐三宝院より三宝院門主院家勝俱胝院永兼帯の令旨が下されるなど、田舎本寺として寺格の高い寺院であった。けれども年代が下るに従って、歴代山形城主の保護も次第に失なわれ、この間愛宕山・水晶山の山論や後住紛争が起こって、財政窮乏も甚しくなる。こうして明治維新を迎えて上地令と神仏分離令に際会し、時の住職浄瑠が、明治三年（一八七〇）山形藩庁から復飾を命じられ、佐伯菅雄と改称して天童愛宕神社に奉仕するに及んで、同時に宝幢寺も廃絶をみるに至ったのである。

なお、佐伯菅雄の、神社祠官・神職触頭・神道事務分局長としての活動については、第二部の配列と概要（一一一―一二四頁）に記したのでここでは割愛する。

第3表 宝幢寺領田畑石高・反別表

	寺領石高	同 田 高	同 畑 高	村 高	寛文9年反別	同 田	同 畑	貞享1年反別	同 田	同 畑
山形西田表	石 36.000	石 36.000	石	石	反畝 35-507	反畝 35-507	反畝	反畝 38-913	反畝 39-913	反畝
中野村	190.000	165.000	25.000	.	172-815	108-207	64-608	180-821	106-322	74-429
中野村	51.347			5703.5321						
船内船	63.556			2125.0247						
野表洗	17.696			1330.619						
江志陣吉	38.216			710.178						
俣田新宿	1.413			1718.716						
戸場野	1.695			2953.1638						
天童	9.9122			231.0495						
	2.1643			607.6738						
天童	1144.000									
北目沢村	322.333	303.230	19.103	966.2602	136-926	122-708	14-218	136-925	122-708	14-217
奈良野津	177.093	168.020	9.073	2569.8895	104-608	70-428	34-110	104-526	70-416	34-110
矢貫	136.008	129.678	6.330	1151.3213	69-504	59-311	10-123	69-313	59-120	10-123
山田山久	131.880	114.010	17.870	1244.5209	62-100	47-500	14-600	61-509	46-909	14-600
山口野村	83.265	52.555	30.710	2183.2666	198-113	21-429	176-614	199-316	21-209	178-107
麦家本	2.808	2.200	.608	406.7516	4-102	2-424	1-608	4-102	2-424	1-608
山田山久	8.762	7.290	1.472	966.1211	22-306	7-111	15-125	22-206	7-111	15-025
老野森	99.952	19.000	80.952	771.7595	81-520	13-401	68-119	81-520	13-401	68-119
老小高押	47.912	23.312	24.600	682.5839	27-017	10-001	* 17-016	47-021	10-005	37-016
関木切	43.502	39.842	3.660	341.1363	32-908	25-225	7-613	32-0985	25-2255	7-613
成窪寺灰	7.814	5.344	2.470	880.2193	12-715	7-506	5-209	12-715	7-506	5-209
	.780	.780		1-000	1-000	1-000		1-000	1-000	
生目村	33.050	20.800	12.250	1092.5273	41-321	9-826	31-425	43-3225	10-102	33-2205
野津塚	12.193	1.360	10.833	734.757	19-028	1-013	18-015	19-028	1-013	18-015
	21.640	7.500	14.140	1908.220	30-000	3-824	26-106	30-001	3-8245	26-1065
	15.008	9.000	6.008	1334.874	22-512	10-907	11-605	21-214	10-009	11-205
総計	1370.000	1104.921	265.079		1074-422	557-818	516-604	1108-812	559-529	549-213

(注) 寺領石高は江戸時代を通じて不変、ただし中野各村および総村高は天保5年石高。*印は原文書のまま、計算は合わない。

文書の配列と概要

配列の方針

利用の便宜のために本目録においても分類項目をたてて史料を配列した。分類基準は内容分類方式を採ったが、とくに第一部においては目録第九集との参照を考慮したため、『書状』『絵図』『法令』等の史料形式表示の項目をも採用した。第二部では別個の分類項目をたてて配列したが、やはり『書状』『絵図』は項目名として採用した。このことの理由のもう一つには、これらが比較的多量なことから、これら史料の性格上内容不明なものが多いことにもある。但し、『書状』は第一部においては公用状が多いこともあって差出人別に、第二部は私書状が大部分であるために宛名別に整理配列した。第一部中三〇〇番代書状は山論文書中の束より出たものであるので大部分山論に関する往復書状とみて支障なからう。『絵図』は内容に即して配列したので関連事項を相互に参照されたい。

以下、順を追って主要な項目についてのみ配列および概要を説明し、併せて主要史料について若干解説することとしたが、第一部収録史料の全般的な概要は、大部分目録第九集の解題と重複するので省略し、それに委ねたい。なお引用史料表題は略記するか、整理番号「」を示すにとどめた。

第一部の配列と概要

『寺家・寺僧』において『由緒・縁起』では、宝幢寺および末寺門徒のそれを配列したが、前収集分に比して『宝幢寺由緒』は本文書の方が古くかつ良質のものが多く、なかでも〔四七〕〔四八〕は第二二代住職有俊が記した最も古い由緒である。〔三〇〕（口絵参照）は最も整備された縁起で、第二四代住職亮弁の依頼を受けて、山城国紀伊郡竹田村（現京都市伏見区）安楽寿院専戒が記した紙本墨書の卷子一軸で、

「最上宝幢寺縁起」と金泥文字で記した墨漆塗箱に納めてある。また〔三七〕は、やはり亮弁が貞享五年（一六八八）に本尊五如来および弘法大師像を彫刻し、七月晦日開眼供養を行なったさいの由緒を記したものであり、これは智積院能化瑞応山運敝の書で絹本墨書の卷子一軸、「五如来等記」と記した桐箱に納めたものである。『末寺門徒由緒』は前収集分の方がはるかに多い。

『住職』は、前収集分に比して多くはないが、本文書では伝法灌頂印信・口決大事類が極めて大量なので、これを別に中項目『伝法』とし、別に配列した。『事歴』の中で、「当山権輿以降世代略集」〔三〇四〕は歴代住職の事歴を集成した良史料であるが、さらにこれをもとに作成したと思われる「佐伯家譜・宝幢寺興廃録」〔三〇五〕は中興道助以来廃寺までの歴代住職の最も詳細な事歴であるので、前収集分および本文書の利用の便宜を考慮して、全文を参考資料として末尾に掲げたので参照されたい。ただし、〔三〇六〕〔四三三〕でも明らかなように、第二八代住職有喜は元文三年に退隠し、後住として智田（智弁）が同年入院し、同五年には一切経金等の寺有財産を引き継いでいることから、同史料記載の宝暦元年住職は誤りであろう。この点注意されたい。『僧位・僧官』『色衣』の免許状は、明治期山林下戻申請の証拠書類となった三点を除いては「本山留学修了免許状」とともに、前収集分に完結している。

『院家兼帯』の文書は前収集分には全くなかったもので、寛政六年（一七九四）醍醐三宝院より三寶院門跡院家勝俱胝院永兼帯免許の令旨〔三〇七〕（口絵参照）が第三四代住職喬岳に下され、それ以後栄厳（亮岳）・有慶と引きついで免許された関係の文書を示す。〔三七〕〔三三三〕の三通は大増紙に記され、〔三五〕〔三六〕は壇紙折紙に記され、菊桐金紋黒漆箱に納められている。

『伝法』は歴代住職、子院・末寺住職、所化等の伝法灌頂印信類を中心に配列したが、極めて多量であるので、師資の伝授関係およびその法流を基本として纏め、ほぼ年代順に配列した。密教では、秘法を授けて我すなわち大日如来たる自覚を起こさせる作法として灌頂を行なった。現今、伝法灌頂・受明灌頂・結縁灌頂の三種が行なわれるが、真言行者にとって最も重要なのは伝法灌頂である。通常、得度僧の

うち四度加行を終り、本山や談林所に修学中に伝法灌頂を行なう。四度加行とは、密教の伝授を十八道・金剛・胎藏・護摩の四についてそれぞれ二百日ずつ行ない、伝法灌頂の前行二百日と合わせた千百日をもって終了するが、のち簡略化されて百九十九日で終るようになった。伝法灌頂が終ると灌頂執行者との間に終生師資関係が結ばれる。師からは伝法灌頂を受けたしである印信、許可状である紹文、法流相承の血脈、そして口決や大事などと称する多くの秘印明を授けられて阿闍梨となる。

真言秘密の流派には、山城小野に曼荼羅寺をはじめた仁海を祖とする小野流と、山城広沢遍照寺の寛朝の門流である広沢流の二流ある。広沢流が文献を重んじるのに対し、小野流は口伝を重んじたので分派が多く、小野三流・醍醐三流（両者合わせて小野六流）に分れ、さらに分派して五十一流を数えるに至っている。末尾に小野・広沢両流の血脈を付したが、そのうちゴチャックを示したものは、本文書中の印信類の属する流派の祖を示したものである。また目録においてはその流派を、印信記載や血脈などを頼りに調査して、表題の下に八ポイントをもって注記した。なお印信類が余りに老大であり、過半のものは本文書中に個々に入っていた関係上、人名、筆跡、料紙等を頼りに師資関係ごとにまとめ、『密教大辞典』の事項によってさらに流派を細分し、一つの整理番号を附したが、四度加行等の諸大事・作法等とはつきり区別できず、同一人の印信で同一法流のものを十分一つにまとめきれなかった。また印信類内部の各通の順序（小番号をもって示した）は、伝授目録等によってそれが判明するものはその順序に『真言宗全書』および『密教大辞典』編者相承印信と同種のものはその事項記載順序に配列し、（第一通）等と明記した。順序不明のものについては適宜配列したが、配列順が必ずしも正当ではないものもある。諒とされたい。なお「鑲慧授秀慶印信」〔六六〕は余りに多量であり、伝授目録〔二七〕に記載されないものが多いが、筆跡・料紙・作成年とも同一であり、他流とする証拠のものもないので、同一番号に整理した。

宝幢寺歴代住職の印信では第一八代有雄の印信〔七五〕が最も古く天正二〇年であるが、宝幢寺で「御法流」と称している「亮濟授元雅印

信」〔圖三〕（口絵参照）が地藏院流房玄方のそれであり、つまり醍醐光台院における宝幢寺第二〇代住職元雅への伝法灌頂執行を示すものであるが、これを契機に光台院が宝幢寺本寺となり、房玄方をほぼ相承していくことになったと考えられる。

密教教義は秘密を旨とするところから、他人に見せずまた他人が読むことを恐れて、符号を用いたり、故意に脱文・誤字を作ったりしてその理解を困難にし、面接口訣によってそれを師から弟子に授けるという方法がとられた。本目録中にみえる作字・異字の例を掲げておく。

灌頂Ⅱ水丁・湏・汀 報恩Ⅱ幸心 意教Ⅱ心文 醍醐Ⅱ西西 瑜祇Ⅱ玉示 結縁Ⅱ糸象 菩薩Ⅱ井

なお第四〇代住職浄珊は自ら水玉・水王と略記していることもある。

第二部の配列と概要

第二部の配列は、公的なものを先に、私的な家文書を後にした。

まず『神社・神道』では、『神仏分離』において、明治三年一月浄珊復飾前後の史料を配列したが、これは第一部『復飾廃寺』の項と相互に参照されたい。『神道伝授』は、佐伯菅雄が両部神道を廃して、明治三年四月武蔵一宮（現埼玉県大宮市氷川神社、明治元年明治天皇の行幸・親祭が行なわれた）神官門人となり、改正神拝式（『祭式』〔図三〕）を伝受して神道を拡める経過の史料である。『祠官』では、愛宕神社のほかに、明治六年山形鉄砲町県社八幡神社の祠官を兼務したので、その史料を『八幡神社』に配列した。なお『愛宕神社』の末尾に配列した配当縁関係史料は、社寺領土地後の旧配当を公債証書で配分されたものと思われる。

『触頭』においては、佐伯菅雄が明治四年五月山形県より神職触頭に命ぜられるが、同じく触頭神保吉人とともに、同四年から六年まで山形県村山郡管内全神社の除地境内、現収納、社領・家来、神事式、創立修覆、神社社人、その他の取調を山形県役所に命によって行なっ

たさいの写類であつて、極めて多くの取調書が残されており、本文書の特色の一つとなっているものである。

『神道事務局』では、神道教導職、山形の中教院・神道事務局関係史料を配列した。

明治三年正月、大教宣布詔が發布され、宣教師を置いて惟神の大道を広め、人民に対して神明を敬し人倫を明らかにし、誠忠以て朝廷に仕えるべきことを諭させた。宣教師は神祇官中に置かれ、教官としては正権大中少博士、大中少講義生を置いてその任務に当たさせたが、五年三月神祇省を廃して教部省を置き、四月太政官布告を以て教導職を置き教部省の管轄とした。その等級は大中少の教正、大中少の講義、訓導（いずれも正権の区別あつて一四級とする）とし、教則三箇条（『触頭』『教憲』項参照）を定めて教義を宣布することに改められた。

これは宣教師の博士を教正、講義生を講義と改め、その下に訓導を設けたものである。教導職は全国の神官・僧侶および篤志の士より任命されたが、統一機関がない故、東西に區別して管長を置いて統轄することとした。六年五月、神仏各派の教導職連合して大教院を芝増上寺に設立することになり、神殿を本堂の後に建築・奉祀したが、十二月放火によつて全焼した。霊代は芝大神宮に奉遷し、七年一月芝東照宮に遷座した。翌八年四月、神仏別個に大教院を設けることとなり、神道は日比谷に設けて霊代を芝東照宮より遷し、全国の神官共同で神道事務局を設けることとなった。教義宣布の道場として中央に大教院、地方に中教院・小教院を設け、その事務は中央に神道事務局、地方に神道事務分局を置いて処理した（『三七一三〇』参照）。なお教部省は一〇年一月廃止され、従前事務は内務省新置の社寺局へ引き継がれた。

明治一三年、大教院神殿の祭神についての論争が起こり、大教正千家尊福は従来の天御中主神・高皇産霊神・神皇産霊神・天照大神の四柱以外に大国主神を加えて五柱とすることを提議し、大教正田中頼庸はこれに反対したことから、教導職は東西に分れて対立・論議した（『書類』〔四三六—四三八〕参照）。

一四年二月の大会議の結果、勅裁によって従来の祭神を昇神し、宮中三殿を遙拝することとなり、有栖川宮一品熈仁親王が総裁に、岩下方平が副総裁に就任し、各自誓って協同一致大教宣布に尽すことを宣言したが、一五年一月内務省達を以て神官教導職の兼務を廃し、葬儀に関係することを停止されたために、教導職は俄かに勢力を失ない、一七年八月太政官布達を以て神仏教導職が廃されて、布教は各派管長に委任せられ、大教宣布は全く有名無実となった。

佐伯菅雄は明治六年六月神道教導職・訓導となり〔三九二〕、県内教導職の取り締まりを命じられたが、七年九月中教院庶務課長〔三九六〕、一〇月中講義〔三九七〕、八年一〇月大講義〔四〇〇〕と昇進して同時に山形県下神道事務分局長に任じた〔四〇一〕。一二年二月権中教正〔三九〇〕、一七年一〇月権中教正〔三九六〕（口絵参照）に昇任して教義視察のため一八年まで畿内・東北・北海道・新潟・東関東の各地に派出された。二〇年二月神道本局幹事となったが〔四〇七〕、翌二年本局幹事・分局長とも辞職し〔四一六・四一七〕、二三年一月には権中教正をも辞任している〔四二二〕。八幡神社・愛宕神社の祠掌を辞職したのも二一年であるから〔四二九〕、脳溢血にかかって倒れたのはこの頃と思われる。佐伯菅雄が死去したのは明治二七年一月三〇日であった。

『皇典講究所』は、佐伯菅雄が明治一五年同所委員として山形県下分所詰となつてからの史料である。同所は国学院大学の前身として有名な神職養成・学階検定試験の機関である。

なお『神社・神道』は最も多量の文書を配列してあるので分類困難な史料も多く、相互に関連項目を検索されたい。

『学事』は、佐伯菅雄が明治七年、山形県によって学区取締に任命された関係史料である。

『身分・戸籍』では、『身分』は佐伯菅雄が明治六年無禄士族に編籍された関係、『戸籍』は隠居広林（第三八代住職朝海）およびその三男三女の佐伯家入籍関係史料である。

『家』の中で最も特色あるものは『境内・林野』であろう。上地された境内附属地および旧寺領五ヶ所山林の国有林野下戻・引戻申請は、佐伯椋子が最も力を入れたものと思われ、明治三三年と三二年にそれぞれ農商務省を相手どって訴訟が行なわれたが、ともに敗訴し、五ヶ所山林については四二年に行政裁判所に提訴したがやはり敗訴している。第一部に山論関係文書が多いのは右の関係で保存されたためと思われる。

『政治・社会』のうち『懐旧同盟』は旧譜代家来と共に結成した相互扶助団体であり、とくに日清戦争に当たって軍・市への献納運動を行なっているので『献納と』並べて配列した。『日露戦争出征』は佐伯椋子夫正悌の出征、正悌実家と思われる鶴岡市中村正明・長次出征、山形第三十二聯隊出征、および同聯隊将校婦人会関係史料を配列した。

史料の表題について

各史料の表題については、当館における従来の慣例に従って表記したが、若干の改変を加えた点もあるので注記しておく。

一つは、本文書が寺院文書であることから、綸旨（号）、令旨、奉書等および印信類の前代からの文書形式を踏まえた史料が含まれているので、これらの表題はまず従来の古文書学の表記法に従って、作成者または差出人に文書様式を加えて表記した。これに史料内容と文書形式を以て、いわば近世史料の慣例的な表題表記を加えて「」内に併記した。この場合「」内は九ポイント活字で示した。また印信類の別表題もこれになった。

もう一つ、すでに第十五集でも一部実施したが、表題の内容説明を「」内に注記し、これは八ポイント活字で示したのである。いまだ近世史料をも含めた古文書学が体系的に確立していない以上、過途的措施としてご諒承いただきたい。

参考資料 [1004]

佐伯家譜

羽前国村山郡山形地蔵町佐伯家之権興者、同町真言宗宝幢寺ハ同郡天童愛宕神社創立天正十二年甲申十二月以降ノ別当職ナル故、王政復古ノ朝旨ニ因ヨリ神仏混淆被廢、該寺現住職淨珊、明治三年庚午正月廿六日山形藩庁之命ヲ受ケ、復飾シテ佐伯菅雄ト改称シ、該社ニ奉仕ス、於是宝幢ノ寺号消滅シ、佐伯ノ新家初メテ立ツ矣、然則将来当家之門葉支流者ハ、元始タル菅雄ヲ目指シテ太祖ト称謂ス可キモノ也、玆ニ繇テ後昆ノ為メ予シメ勃興ノ縁由ヲ記シ、且系譜ヲ創起シテ其経緯ヲ明カニシ、伝々繼承シテ不朽ニ垂レ、兼テ夫ノ探湯万一ノ証明具タラ令ムト云爾

明治三年庚午三月二日

佐伯菅雄手記

佐伯家元祖

○菅雄 天保十年己亥三月二日誕生、小字春日子、名広吉、武蔵国

埼玉郡東久米原村森山竜策一男、母安藤氏、嘉永二年己酉三月十五日祝髪、字敏純、名淨珊、安政六年己未三月五日宝幢寺住職被命、慶応元年乙丑六月准任洛東智積院第一座、明治三年庚午正月廿六日於山形藩庁、復職被命、改称佐伯菅雄、奉仕羽前国村山郡天童愛宕神社、同六年十月廿五日士族編籍

長女

○桜子 明治四年辛未九月十一日出時、

生母藤幹子

二女

○桂子 明治七年二月廿一日午前第一時、

生母同桜子 同九年六月十二日飯幽

三女

○狭依子 明治九年九月十九日午後第五時三十分、

生母同桜子

四女

○春日子 明治十二年三月廿二日午前第五時

生母同桜子 同年五月十九日飯幽

長男

○尊朝 明治十三年五月廿九日午前十時、

生母同桜子 同年八月八日午前第十一時三十分飯幽

○女子 明治十四年六月廿三日午後第八時卅分生、

早世

同裏書

後昆ヲシテ當時ノ事実ヲ識得セシメ、且懷旧ノ情ヲ失ハサシメン
為メ、表書之趣ヲ併セテ保証連署仕候也

明治四年九月朔日

佐伯菅雄家来

羽前国村山郡山形地藏町居住

同上

宮城 利久治

同国同郡天童北目村居住

曾根 匡太郎

山本 三五郎

崑野 賢曹

今野 村治

平松 弥惣太

相沢 勘藏

三条 五郎兵衛

今野 喜六

岩井 文五郎

渡辺 伊兵衛

高橋 彦兵衛

稲葉 作治

岩井 重吉

工 辰治郎

佐々木 作治郎

稲葉 八兵衛

安孫子 彦藏

今野 権七

斎藤 勇助
佐藤 善藏
相沢 富治
小山 惣助
森谷 民藏

高橋 吉兵衛

戸長

同上下社人

明治十三年二月二十日

黒木 丑蔵

同国同郡同村居住

羽前国東村山郡北目村

竹田 五郎

戸長

梅本 四郎

明治十三年三月六日

佐藤 今内

松峰 三郎

右之通相違無之候

表書之通相違無之候条、裏書証印候也

羽前国村山郡山形地藏町

三等副戸長

(中原表紙)

明治五年壬申九月廿四日

江口 円蔵

羽前国村山郡山形

依願表書之趣及調査候処相違無之三付、後証ニ備フル為裏書

宝幢寺興廃録

捺印候事

明治六年十月廿四日

出羽国宝幢寺興廃記

社寺兼戸籍掛

山形県史生 荒木 芸夫

山形地藏町

聖武天皇勅願所出羽国村山郡山形宝幢寺亦名動首寺
亦名瑜伽等者、天平三辛

未年行基菩薩所草創也、始在本郡滝平地、蓋本邦東陲一大道場也、
中葉法綱漸弛矣、正平十一丙申年出羽按察使修理大夫源兼頼招請

大僧都道助於醍醐山、遷構寺宇于山形、以為鎮護國家之祈願所也、於此旧廢之勝区再興起矣、以上所記拠于瑞林集並宝幢寺縁起及旧記以下亦爾

中興第一世勅大僧都道助

道助者平安城人也、父者花山院内大臣、母者常磐井氏也、幼而為孤、聰敏英邁、十有三歲觀世幻仮、且追慕亡親、登于醍醐山而難染勤苦、受三密之法藏、伝兩部之蘊奧、振錫於東方歷巡闕左之旧蹟、適到出羽国、因大守兼頼之懇請、為護衛師、失其終焉干支、但八月八日示寂云

第二代道海 四月廿六日

道海之至日雄並失履歷、盖依兼頼乃至源五郎家信合戰数度、為古記旧書權兵燹也、故今記其忌日而已

第三代有海 八月十八日

第四代道快 未詳

第五代尊快 二月七日

第六代快雄 未詳

第七代俊快 未詳

第八代尊憲 七月十一日

第九代寛惠 三月朔日

第十代義快 十一月五日

第十一代有快 七日

第十二代定雄 四月十三日

第十三代尊賢 七月十九日

第十四代有運 八月廿四日

第十五代日雄 未詳

第十六代尊海

越後人也、山形城主最上出羽守少將義光責天童城、々兵剛強且有怪異、師現脩術力攘妖氣城終落去天正十二年甲申十月十日、義光感賞其奇功

附与千七拾石、与道助以降寺座合、計千三百七十石、天正十二甲申年十二月廿四日天

童山頂立愛宕神社、師為安鎮導師、同十三乙酉年四月宮宇炎焼、同十一月仮殿立、元和元乙卯年八月晦日向東飛去云

第十七尊清

越後国柏崎人也、天正十六戊子年住職、同十八庚寅年転住出羽国米沢毘沙門堂

第十八代祐雄

常陸国水戸佐竹人也、三十八歳天正十九年而董当寺、国主少將義光

飯敬勝他礼遇最厚師、登城日乘輿到玄關太守送迎于大広間、

便記成就院下乗於城門際、柏山寺・威徳院下乗於門外、城内祈禱中席位正面宝幢寺左成就院右

柏山寺第三威徳院、若唯真言宗席位正面宝幢寺左成就院右威徳

院、毎年三月廿一日最上家領内同宗僧侶応国主命集会於当寺承制

戒、是旧例也、慶長八癸卯年天童愛宕神社再建師為慶讃師、同十

五庚戌年愛宕山石灯籠四基立矢口左衛門・角川小源太・同治、同十部奉納之、是六月二十四日也

六年辛亥年六月二十四日示寂、師是法門碩学道德高聞云云

第十九代尊雄

慶長十九甲寅年正月十八日少將義光逝寿七、号光禪寺殿玉山道白

大居士、同年師化、失其月、但廿九日

第廿代元雅

武蔵国足立郡大宮郷加茂宮神職某子也、幼稚入於隣邑加村万福寺

薙染、負笈遊学於南紀根来寺、後住于鎌倉雪下我覚院兼務等覚院、

元和元乙卯年応国主駿河守義親請而來住于当寺、攀雍州翻峰繼

法脈為後鑑、同八壬戌年悲最上家之没収、感義親之恩義、托寺於

祐貞退隠于常陸国寒郡普門寺、寛永十四丁丑年二月十五日実二十一日也

示寂、師擢高祖大師入定之式取十五日云云、全自十五日入棺説經

連声門徒至廿一日、此日自立棺中現熙怡相示衆人曰、埋蛻骸上可

建五輪石塔、々若傾則当知絶息云云、果期三日而塔傾文、当寺之

使僧俊海親見其入滅之詳云云、嗚呼奇哉異哉

第廿一代祐貞

岩城人也、初住新山寺後釣威徳院、元和八壬戌年住当寺、寛永十

三丙子年正月廿一日化、師也宗学研究論議問答絶群碩徳云云

第廿二代有俊

岩城人白土氏某子、字承善房、寛永十四丁丑年董當時住職、憑祐

貞遺書法護於俊海其先住岩城隆真院、後釣水戸佐竹一乗院、亦住

同所宝鏡院猶釣当寺、于時智積院第一座也、東照神君御在世於駿

江両城法門台聴之日度々侍論筵、台徳院殿秀忠公御在世毎年三月

登城拝顔、其後及大猷院殿家光公御代、蒙台命住于江府弥勒寺之間、令俊海為当寺之院代、同十八辛巳年以老病辭弥勒寺皈住当山、其与先松平大和守直基有祈檀之約、正保元甲申年松平直基從越前大野転封于山形城、有俊乞以少將義光之黒記^{千三百七十石}換幕府之朱券、直基深嘉此举誓加紹介、於是門末寺院及其他寺社託有俊乞變黒記換朱券、師告之直基、々々亦諾而請願于幕府、同二乙酉年八月二日化於水戸

第廿三代俊海

水戸産、字頼言房、正保二年住職、慶安元戊子年七月十七日拝受社領朱印、寛文元辛丑年七月十七日化、于時六十一歳

第廿四代亮弁

有俊之資也、寛文元年七月住職、同三癸卯年虚空蔵堂再建落成、同八戊申年城主転封、延宝六戊午年天童愛宕神社幣殿拝殿並廊下建立、同七己未年八月從寺社奉行松平山城守垂問、因致捧呈由緒記^{但二十一个条}、天和元辛酉年愛宕社玉垣成、同二壬戌年天童御供所兼宿大輪寺再建^{或云此寺往古水晶山大輪寺云、即水晶山之別当也}、同三癸亥天童養恩寺屋敷

図面因尋出東根庁、貞享元甲子年天童口愛宕長坂創成、同四丁卯年正月廿日当寺本尊五仏並不動及弘法大師再彫刻初企之、元禄元戊辰年城主大和守直矩臣寺社役仲忠右衛門、依公明監督寺社来因、八月上書、同五壬申年城主転封、同十丁丑年亮弁退職、同十三庚辰年十月十二日化、字曰覚言房

第廿五代隆弁

字意諱房、元禄十一戊寅年春住職^{移転於威徳院}、享保二丁酉年八月廿六日入寂

第廿六代亮長

字更言房、享保二年住職、同十七壬子年四月十三日掩化

第廿七代弁応

字太円、享保十七年住職、師代一切経整備及経庫建築落成、元文二丁巳年退隠北目門覚院、宝暦八戊寅年十月十六日化

第廿八代宥喜

字春善、元文二年住職、寛延三庚午年十一月廿一日化

第廿九代智弁

字智田、宝曆元辛未年住職、同二壬申六月廿二日天童愛宕社洪鐘供養、同四甲戌年八月六日鐘鑄成、先是二月十三日乃至三月十三日當寺虛空藏開扉、同五

乙亥年愛宕社華表成、同七丁丑年天童愛宕社洪鐘樓建焉、同八戊

寅年六月廿三日愛宕社鳴鐘樓供養矣、十月廿二日寺務所土生田

村藥師堂往古称藥師神祠即是也燒失、奇哉藥師尊躰自避猛火於堂後神容安然

矣、同十三癸未年十二月廿一日化

第三十代高弁

字乘音、明和元甲申中年住職、同四丁亥年六月廿六日化

第三十一代弁格

明和四年住職、此年山県大式・藤井右門蒙制誅、織田八百八君以

天童六箇郷改封家領、安永八己亥年十二月廿二日化

第卅二代岳弁

安永九庚子年住職、天明四甲辰年九月十日化

第卅二代頼弁

天明四年住職、同七年退職、享和三癸亥十月十四日寂

第卅四代喬岳

天明七丁未年住職、寛政五癸丑年蒙醍醐山院家勝俱胝院跡永兼帶及朱網代與並菊桐御紋・紫幕・(符)絵府・前後金紋狹箱免許、同七乙卯年六月十七日寂

第卅五代亮岳

本郡大久保村小山某子、寛政八丙辰年住職、文化五戊辰年天童神社額成、同八辛未年四月最上監物要求斯波家譜、調査旧記呈家譜一帖、七月廿八日愛宕山論癸、文政元戊寅年九月廿四日寂

第卅六代有慶

文政三庚辰年二月十八日住職、先是住威徳院、三月五日執行前往亮岳之葬

式也、師者当国庄内人也、亀田藥王寺及庄内井岡寺等之法脈也、

若年而來住当寺門下、久住于上山仙石高仙寺、後住小白川威徳院、

文政元年亮岳沒後当寺緇素一同協議而招待師於当山、於是亮弁以

来法脈廃絶矣、同四辛巳年愛宕山論和議成、同五壬午年三月三日

寂、四月將地藏院弁阿為住職、然有平塩寺啓津者、兩僧確執終仰

公裁、六月逆臣佐藤雅右衛門上書於寺社奉行松平伯(俗云)、弁懸込

阿弁解遲滯故審訊中入監倉時語揚屋、十一月十二日弁阿病死、於是亮弁

之法脈全斷絶矣、啓津非其器之旨弥勒寺下知弥寺者江府本所、則一宗触頭四箇寺之隨一

第卅七代昭洲

字鈍如、智積院第二座、武藏国足立郡倉田明星院真言宗十一檀林之一之門

葉之某資生於下総国、文政六癸未年八月当寺緇素連署請住職人於智積院、同七申申年閏八月四日師釣当寺、天保十四癸卯年七月朔日遷化

第卅八代朝海

字淨舜、武藏国足立郡滝馬室村加藤惣十郎長男也、從同郡川口

馱錫杖寺淨円先此住長宮林大光寺、天保十四癸卯年十一月廿二日釣当

寺、于時廿九歲文化十二乙亥年正月廿四日生、當時江府触頭真福寺役者勤務、

同十五甲辰年五月八日入院、安政六己未年三月三日辭職、明治三年自復飾而改名広林

第卅九代海旭

字悦腫、山形藩秋元但馬守、関口源太夫二男也、從当寺卅七代昭洲薙

染、嘉永四辛亥年十二月三日病死於洛東智積院享年廿四、因曾約為朝海之後職故雖死在朝海寺務中加之代数矣

第四十代淨珊

字敏純後更、大慧、武藏国埼玉郡東久米原邸森山竜策二男也、天保十己

亥年三月二日生、嘉永二己酉年三月十五日從同国足立郡川口宿錫杖寺淨円薙染、安政六己未年三月五日於江府弥勒寺而当寺住職被

命、同四月廿二日入院、慶応元乙丑年七月任本山智積院第一座

格、明治三庚年正月廿六日於山形藩庁復飾被命、当寺者天正十二年以降天童愛宕神社

別当職故改称佐伯菅雄奉仕天童愛宕神社、於是乎宝幢寺廢絶矣、

自行基草創至明治三年一千百四十閏年、自道助中興之天至寺号消滅之日計五百十五年也、終始同因朝旨興廢、一奉皇命可謂令終也矣

右為供他日考証略記、旧紀及目撃中之枢要如是

明治三庚午年三月二日

佐伯菅雄

佐伯菅雄家来

宮城 利久治

曾根 匡太郎

崑 埜 賢 曹

平松 弥惣太

三条 五郎兵衛

岩井 文五郎

高橋 彦兵衛

岩井 重吉

佐々木 佐治郎

安孫子 彦藏

斎藤 勇助

佐藤 善藏

相沢 富治

小山 惣助

森谷 民藏

山本 三五郎

今野 村治

相沢 勘藏

今野 喜六

渡辺 伊兵衛

稲藤 作治

工 辰治郎

稲葉 八兵衛

今野 権七

高橋 吉兵衛

竹田 五郎

梅本 四郎

松峰 三郎

右之通相違無之候条、奥書証印候也

羽前国南村山郡山形地蔵町

明治十三年二月廿日

戸長 黒木 丑藏

同国東村山郡北目村

戸長 佐藤 今内

右之通相違無之候

明治廿五年五月十六日

佐伯 菅雄

○聖王 親賢

淳祐
元果
仁海
成尊

一定
定助
法藏
仁賀
真興
利朝
太念

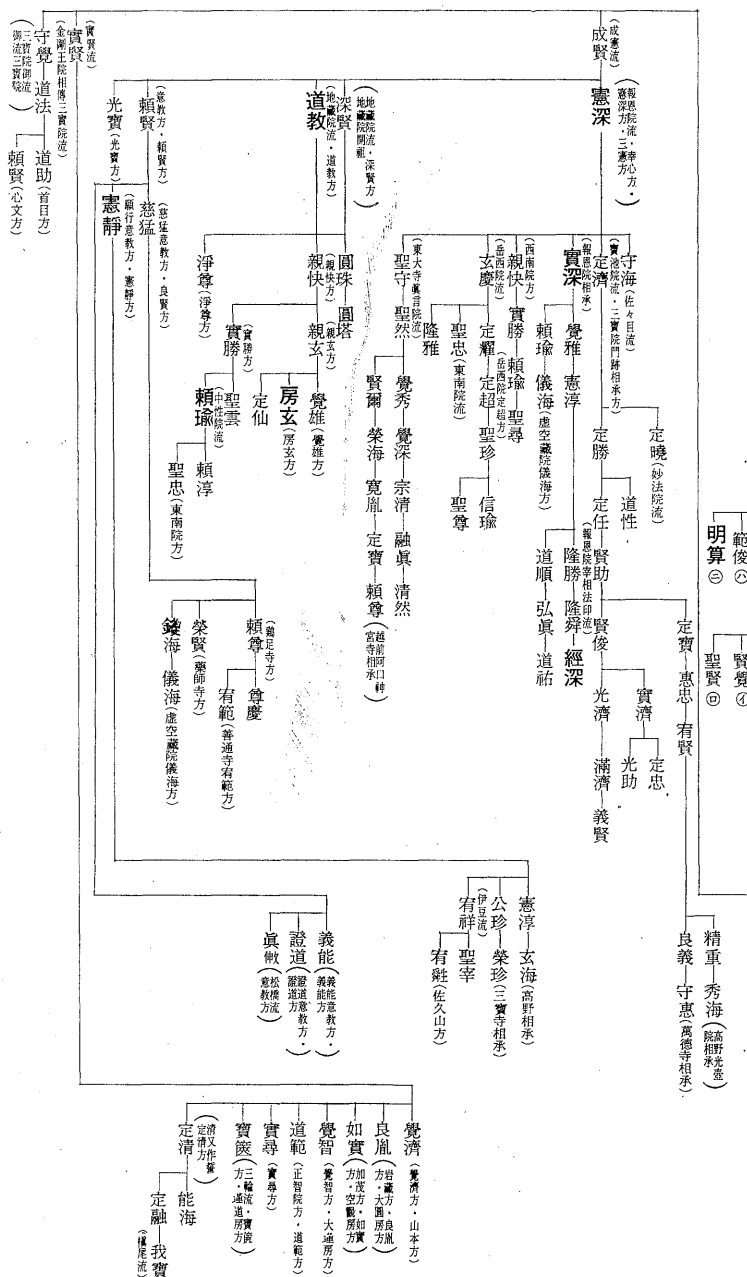
(小島流・愛宕流)
能尊
維範
叔尊
俊尊
実範
圓善
慶圓
覺心(安徳引継院方)

寛忠(石山流主方)
眞頼(石山人師方)
明観
覺源
定賢
勝覺

(實院開祖)
義範
勝覺
定海

(立川流)
覺鏡(通邦院流)
一海
実運
勝賢
雅海
全賢

(秋篠流・無量壽院流)
靜慶
叙尊
西大寺流・善藤流



④ 賢覺 (理任院流)
 寶心 (寶心方)
 宗命 (宗命方)
 賢信 (賢信方)
 淳寬 (淳寬方)

檜尾流 (又云三寶慧流) 法脉準 淳寬方也

但血脉除三真雅二加三寶慧一除義範加範俊一。

⑤ 聖賢 (金剛王院流)
 源運 (宋海方)
 呆海 賢海 實賢 (勝尊 勝尊方)
 亮惠 (內山 實賢方)
 雅西 (中略) 聖忠 (東南院方)

⑥ 範俊

③ 明算 (中興院流)
 良禪 (慧持院方) 兼基 (兼基院明算流、真信院流)
 行惠 宗惠 兼紹 法性 (實性院院家相承)
 兼賢 覺基 觀心 惠深 信日 (大樂院方)
 教真 (龍光院方) 定賢 道範 賢定 仁然 (心南院方)
 房光 覺善 良任 祐通 定範 (智莊嚴院方)

實性院院家相承之中院流者雖三寶性院開祖法性相承之法流一其後同院玄海相三承引攝院・心南院・大樂院三方一後有快更加二傳智莊嚴院方一合揉四方一法流也。

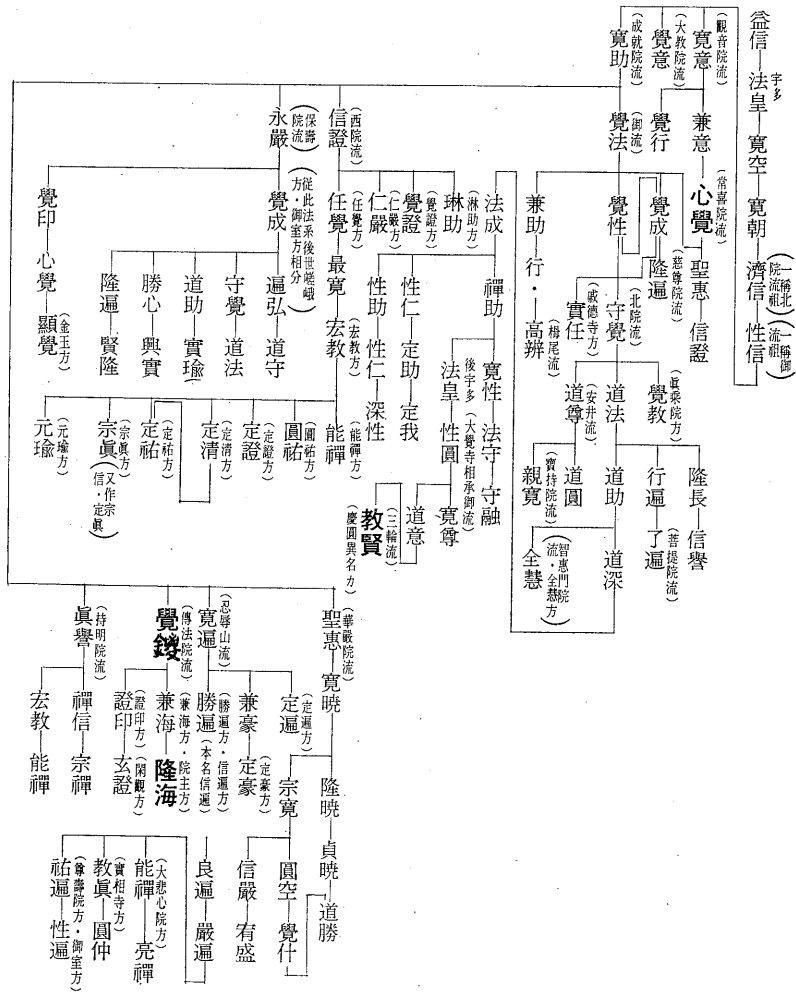
覺法 覺性 守覺 道法 道助 道深 法助 (勤修寺靜覺院流)
 良雅 (小野良雅流、良雅流)
 靜菩 (勤修寺小野靜覺方、靜覺方、光明山流)
 良勝 實任 興然 (良勝方、勤修寺良勝方)
 榮然 (慈尊院相承)
 高辨 (梅尾流)
 寬典 靜瑜 長遍 了遍 (菩提院流)

實範 (實範方、勤修寺中川方、中川方、中川實範方)
 靜譽 (石山靜譽方、勤修寺靜譽方、石山流)
 寬信 (勤修寺流、行海方、慈尊院方) (長吏方)
 行海 雅寶 成寶 (長吏相承)
 仁濟 (仁濟方)
 興然 榮然 榮尊 聖濟 榮海 呆寶 (宋寶方)
 念範 興然 榮然 榮尊 聖濟 榮海 呆寶 (宋寶方)

宗意 (安祥寺流)
 實嚴 賴真 成賢 寬海 兼慧 寬伊 成慧 光譽 隆雅 興雅 有快 (院相承性)
 實圓 (實圓方)
 慶親 信慧 光譽 隆雅 興雅 有快
 理海 有祥 (伊豆流相承)
 全考

淳觀 增仁 仁禪 尊念 親嚴 (唐隆正觀院方)
 念範 仁濟 成寶 榮然 勝信 (勤修寺相承安祥寺流)
 顯嚴 親嚴 親泉
 增後 (顯心院流)
 道淳 隆經 朝遍 (二云智莊嚴院方祖)

広沢流血脈



〔付記〕

本文書の整理および目録の作成には大野瑞男が当たった。担当者はもとより宗教制度史専攻ではないので、なおかつ錯誤があることを恐れる。作成に当たっては多くの関係者の方々から御教示、御協力を賜わったが、とくに、宝月圭吾（東洋大学教授）、斎藤明道（醍醐寺三宝院）、菊地勇次郎（東京大学史料編纂所助教授）、今枝愛真（同上）、笠松宏至（同所員）、長谷寺、護国寺の諸氏・諸寺にはたいへんお世話になった。末尾ながら記して深甚の謝意を表する。

1131

史料館所藏史料目錄 第十六集

昭和四十五年三月三十一日印刷
昭和四十五年三月三十一日發行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号

編輯者 文部省史料館
發行者

印刷所 依田印刷株式会社

東京都江戸川区西小岩三ノ六ノ三
電話(六五九)〇二二番(代表)